

70  
NO.9  
¥100

安保フンサイへ人間の渦巻を!!

# 渦巻アート

3・9

昭和45年3月9日(隔週月曜日発行)通巻第9号



■里地静子さんの場合

里地 困ったね。私なんか何もやっていないんですよ、電話番だけなの。みな精力的に活動してはるから、ついていけないんですよ。おこがましいわ。

開口一番他の人にしてくれたいよ、と言われたが、雑談しているうちに、話がはずんできた。息子さんの成長とともに行動してきた教育の場での關いをずっとたどってくれる。

里地 一番下の息子が中学に入った時が学力テスト反対運動が始まった頃で、地域のお母さんたちもそれにまき込まれて、学テがなにかよくわからないうちに感情的に対立していたんですね。それでとにかく自由に意見を述べることのできる場を、ということで婦人学級を作つたんです。

その頃から勤評闘争、学テ反対運動、全入運動、PTA民主化、強制寄付、強制謝恩金反対運動等々に参加し、現在では立命全共闘の息子さんが謝恩基金、自治会費不払いで除籍になつてのこと、友人が事実無根のリンク事件で告訴されたことについて大学全職員に質問状を郵送したことなど、戦後教育闘争史を聞く思い。

里地 平連運動はいつ頃から。  
——べ平連運動はいつ頃から。



この人と語る  
さわやかなお母さん

政治についてもつと突込んだ話合いをし

たいというので婦人民主クラブを作つた

んです。そして日米反戦市民条約に署名したり、小田さんの講演を大阪で聞いたりしているうちに、実際に行動しなければと思いつめて、息子の中学の時の先生や、婦人民主クラブの友人、近所の人など六人で六八年の初め頃伏見へ平連をつ

くろうということになつたんです。

——どんな活動をしているんですか。

里地 最初は毎月一回定例デモを七人十五人くらいですとやつてしまひたけど、あちこちで闘争が激化して参加者が減つたこともあって、デモをやめて、今定例

伏見は京都の中心からはずれているし、なかなか大きな行動もできないんですけど、学習会を続けているうちに、皆ビラの原稿が書けるようになつたり、ガリ切りなんかも皆でやるなど小さいいけれど活

発にやつていると思いますね。

始めた頃はできるだけわかりやすく、やさしい言葉を使つたほうがと思つていてんですけどね、若い人たちに、食いついていく気があれば少し難しくてもやつていけると言われて、今はその線で学習会も毎回十人十五人程集まっています、わかりやすくということを気にして大事なことをほかしてしまつよりはそのほうが多いかも知れないって最近思ひはじめたんですけどね。

——最近特に考えさせられた、ということは。

里地 チエコ問題と大学闘争ですね。チエコでは、それまでの私が持つっていた保守革新といった単純な図式が打壊わざれてしましました。よく、ソ連に行つて

でしているのは脱走兵カンパ（月二回）と学習会（週一回）です。そのほか、入

管法粉碎や大久保自衛隊基地へ向けての行動などけど、週一回の学習会、脱走兵問題、基地闘争、入管法などについ

てやつてるんですが、なかなかかたいへんで、もうついて行けなくなつて、今は本当に電話番だけなんですよ。

伏見は京都の中心からはずれているし、なかなか大きな行動もできないんですけど、学習会を続けているうちに、皆ビラの原稿が書けるようになつたり、ガリ切

りなんかも皆でやるなど小さいいけれど活

発にやつていると思いますね。

始める頃はできるだけわかりやすく、やさしい言葉を使つたほうがと思つていてんですけどね、若い人たちに、食いついていく気があれば少し難しくてもやつていけると言われて、今はその線で学習会も毎回十人十五人程集まっています、わかりやすくということを気にして大事なことをほかしてしまつよりはそのほうが多いかも知れないって最近思ひはじめたんですけどね。

——これからどういうことを。

里地 具体的には思ひ浮ばないんですけど、ベ平連的原理は非常にいいものだと思つてますから、そういうところから、できることをやつていくつもりです。

（京都アンボ社S）

伏見平連・京都市伏見区深草西伊達町一ノ四九 里地方 電話〇七五—六四一—七〇七四

3月9日

私はやるから君もやれ…………… 3  
アンボ街へ…………… 5

〈特集〉

教育を問い合わせよう

「教育」はどこで終るのか ……小田 実… 8
教育ってなんだ……佐藤 忠男…10
これが教育だといふけれど……編集部…13
①小学生よ、日の丸に注目せよ！
②コンピューターは国を守る
③進学・Oh ソーレツ
④女工哀史は昔のことじゃない
座談会・反戦派教師は語る……… 19
造反中学生との対話……… 24
教育なんてどうでもいい……… 28
資料・静岡県教委の見解……… 32
アルカトラス島のインディアン…市井 三郎…34
『スバルタ教育』批判………編集部…43
〈三面戯評〉 海外雄飛は大ハヤリ……… 47
〈詩〉 ギロギロギッちゃんの生活真摯 鈴木志郎康…48
〈小説〉 菓虫は何によって生きるか 三浦 浩樹…50
〈マンガ〉 ヘルメット……ジョージ・秋山…52
「声なき声」の声 ……グループ・海…54
日米反戦共同行動は なぜ必要か……F・シャーマン…60
出入国管理法の本質は何か……小野 誠之…63
三島由紀夫批判………真継 伸彦…66
〈アンボ講座〉 ■封じこめられるか 侵入するか…68
■新入社員にも チャンスはある
■努力して「式」をやめる法
奇妙な数字・驚く数字・戦慄の数字……… 70
〈外信デスクダイアリー〉C B兵器討議と日本…71
〈新日本案内〉 金沢……… 72
〈市民運動入門〉
ピラ配りについての三つの立場…吉川 勇一…74
〈グラビア〉 岸根反戦放送局……… 35
〈表紙〉 池田稔
〈この人と語る〉 里地静子さんの場合……… 2
〈フォーク・ソング〉 全共闘ブルース……… 75

「万博」の出バナをくじ  
こう

会社へ勤めたり学校へ行った  
りして普通に暮している私たち  
にとって「万博」とは何かとい  
うことを考えてみました。それ  
は世界の国家の中の巨大な企業  
(資本)の見本市にすぎないこ  
とです。ベトナム、日本の東南  
アジアへの経済・技術援助の名

による新植民地政策、部落のこ  
となどを考えるとき、それは現  
資本主義体制を承認するかしな  
いかという問題として私たちに  
ことばを使っていますが、彼ら  
の人類の「調和」とは「秩序」  
でありその「秩序」はベトナム  
人民虐殺戦争へ協力することで  
あり、又「進歩」とはあくまで  
も資本の「進歩」にすぎないの  
です。「万博」を文化的側面か  
らみると、それは上からの与え  
られた文化であり本来の文化、  
つまり私たち一人一人がつくり  
進歩と調和」という氣のきいた

歩きであります。資本は私たちを  
支配しつづけるために甘い甘い  
幻想をいだかなければならな  
いのです。「繁榮国日本」を私  
たちの中にしみこませようし  
ているのです。そして「人類の  
進歩と調和」という氣のきいた

私は「万博」にYESとはも  
あがしていく文化とは異っていま  
す。過去の支配者たちは支配の  
ために文化をも手段としてきま  
した。そして「万博」はいわゆ  
る「70年対策用」であることで  
す。すなわち「万博」とは①企  
業の国際見本市②支配体制の強  
化の一環③私たちの文化ではな  
いこと④「70年」から眼をそら  
せるためのものであることで  
す。

もちろん言えない。私は今、会場  
内かその近くでのピラミキを考  
えています。それも「万博」の  
最初の三月十五日にピラをまく  
ことを考えています。三月十五  
日としたのは出バナをくじくた  
めです。ピラまいただけでは本  
当に反対したことにはならない  
と思うのだけど、私のイメージ  
の貧困のため今はこのことしか  
頭の中におもいかびません。

他にいい考え方があつたら教えてください。この意見に賛成で一緒にやろうという人、何かいい考えがある人。連絡してください。討論して考え方を煮つめたいのです。

連絡先 名古屋市中区新栄町二  
の一 高木ビル内「アンボ社」

堀 淳子

### 万博とは何か

万博が近づいています。私たちはこれを見すこしていいのか?

私が言いたい事は、單に「万博よりも金を使うべき事が

ある」にとどまらない。誰がい

う事なの。思えば万博が国民

に宣伝されはじめたのは、オリ

ンピックの直後だった。それか

ら今日までに私たち日本人はどう

いう道を歩いてきたか。

ある有力新聞は一月のある

日、社説に「万博は成功させね

ばならない」と述べた。その中

に私たちひとりの国民党に

とっての万博の必要性は何ら見

い出し得ないばかりか、「万博

は見すごして通るにはあまりに

魅力的だ」などという権力への

主体性のない追従の姿勢が述べ

られていた。

そもそも私たちにとって万博

とは何か? それを私たちとはそ

してマスコミは、どれほど語り合ったのか。人類の進歩と調和——いったいこの今の世界に進歩があるのか、調和があるのか。私たち平和を願う者にとって。

万博を日本のアジアへの再侵略の記念碑としてはならない。

具体的には何を為すべきか。まず自分に万博は何なのかを問い合わせるのだ。そしてそれを人と語りあうのだ!

豊島区 嶋田 健(浪人)

### 万博第二会場を造ろう

わたしは、ここに一つの提案

をしたい。それは、千里丘陵に

独自の建造物を造ることだ。世

界の真実を語る、資本家のもの

でも国家のものでもない、われ

われの館をわれわれで造るの

だ。名前は、「アンボ館」でも

「ベ平連館」でも、また他にあ

つたら考えてほしい。とにかく

あの小西三曹の事件でもされ

てあるが、先日の二月七日の定

例デモの際、労務課の人間が三人張り込んでいるのでつくわ

した。私が地下鉄赤坂見付から清水谷に歩いていた時、ちょうど橋を渡ってちょっとといったところで会つたのである。五メー

タ間隔くらいはなれていて、市民のみなさん一緒に歌お

に労務課のヤツだった(一人は

Kという男で、以前から悪名の

う! それを妨害する権力が職

場での抑圧のもと同一である

に、歪められた真実、平和を知つてもらおう。

ところで一部には、万博をつぶす動きもあるらしいが、それ

だから、われわれがやるべき

ことである、ですね。

諸君のいっそうの活躍を期待します。

(元自衛隊員A)

### 投稿その後

諸君、千里丘陵にわれらの世界を!

(三重県松阪市・林茂・十七歳)

元自衛隊員からのアッピール

五号に私の「状況はあまりよくないが仲間をふやすよう努力している」の文がでて以来、入局チェックの厳重さ加減の方は、私の文がショックだったのか、あまり表面上はきびしくなくなつた。しかし、その反面労務の方の動きが活発になつています。

べ平連の諸君、私は君たちの活躍に対して強く賞賛の意を表します。

ところで私は先日、陸上自衛隊を中途退職し、それを正当なる人間としての行為であると信じております。

あの小西三曹の事件でもされ

友よ西口に来たれ! そこで

来たりて見よ!

新宿西

口のチエコを!

君は特高を、ゲシュタポを、ゲーベーイーを見るだろう。とにかく今の警察がどんなものかを知ることができる。

市民のみなさんと一緒に歌お

う! 我々のもつ自由はオリ

中の自由だ。解放の場を西口に

つくろう。

労働者のみなさんと一緒に語る

う! それを妨害する権力が職

場での抑圧のもと同一である

ことを一緒に確認しよう。

学生の諸君一緒に楽しもう!

に、歪められた真実、平和を知つてもらおう。でも、われわれ国民はエゴで加者が多くてその効果がなくなつたので、交通機関である地下鉄の駅で張り込むべく場所を移動しているらしかった。このようなことがこれからあるなら、気の弱い人間はデモに参加できなくなる。我々が人間としてあるかぎり当然である表現の自由、デモへの参加を脅かすこのような犯罪的な行為は絶対に許せない。火に油をそぐがごとく、この一事は私の闘争心、人間としての怒りをますます燃え上がらせてくれた。この次には必ず動かぬ証拠をおさえつもりである。

(台東区・大竹茂)

で張り込んでいたらしいが、参加者が多くてその効果がなくなつたので、交通機関である地下鉄の駅で張り込むべく場所を移動しているらしかった。このようなことがこれからあるなら、気の弱い人間はデモに参加できなくなる。我々が人間としてあるかぎり当然である表現の自由、デモへの参加を脅かすこのような犯罪的な行為は絶対に許せない。火に油をそぐがごとく、この一事は私の闘争心、人間としての怒りをますます燃え上がりさせてくれた。この次には必ず動かぬ証拠をおさえつもりである。

(台東区・大竹茂)

学生の諸君と一緒に楽しもう!

安保フンサイへ・人間の渦巻を!

消耗回復の場、カンパの場、討論の場を勝ちとる。

アマ・カメラマンの同志よ一緒に闘おう！ 今や権力は警視

庁発行の統一「報道」腕章のあらぬして我々を虐殺しようとしている。自からの犯罪行為を隠し、真実を闇に葬りさろうとしている。

野次馬の諸君よ來られ！ 君達は我々の強大な味方だ。

※西口解放目標時間、毎週土曜6PM～8PM

なんだかんだ

私たち、映画を作る

私たち、映画を作る  
私たち、映画を作る  
私たち、映画を作る

過去百二十回全国で上映され、約三万人を動員してきました。

現在第二作目として自主記録映画、仮題「七十年代・叛乱と革命」という作品を制作中です。69年秋、小西元三曹によつて提起された問題、軍事とは、軍隊とは、武装とは、といった

根本的な問題から、自衛隊の存在の是非、軍隊内叛乱等に至るまで一を映像表現をとらして一層純化し進化させていくべく準備を整えております。

しかし、ござんじのよう映画制作には膨大な資金を要します。この作品も前回同様すべてカンパによって制作したいと考え、私たちの力量を十分發揮できる、という形で自主記録映画「奪還そして解放」を制作し、

九月以来、十五人ではじめた私たち、毎回定例デモ（第一

・第三土曜日・清水谷公園）を行なってきました。しかし、そこに結集した各校べ平連あるいは個人の間での本質的討論を行なわず、情性的行動としてデモをしてきたのではないでしょ

か。

また、水曜日に行なっている会合に参加する人も極めて少数で、デモの意味づけすら行ない得なかつたのではないか

多くの労働者、学生、市民のカンパ一金錢、食糧、労働等をとわづどのような形をとるにせよ、意識の物質化として一を要望します。

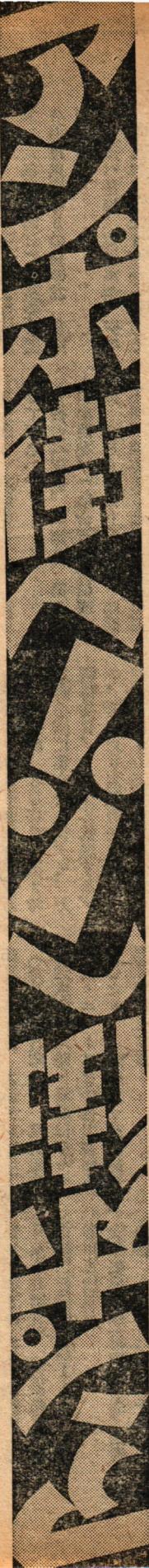
なお、「奪還そして解放」の貸出しも同時におこなっています。

モを、私達は二二日に延期しなければなりませんでした。それは事務的な申請が遅れた為です。しかし、その様な事が起きる根本的な理由を再考しなければなりません。

私たち、まず、前記の失態を自己批判すると共に、再び皆様に訴えます。現在の高校べ平連運動の重要性、そして討論の必要性を再考して下さい。その意味で、水曜の会合（四時から神楽坂べ平連事務所）に参加される事を訴えると共に、三月末に懇談会を開く事を提案します。

君の主体的・独創的な反戦運動を！ ヤンベは私・私たち、そして君が参加して作るのであります。

（東京ヤンケベ平連 T・S）



☆旭川べ平連。週刊アンボ読者会 3月20日午後6時より旭川労働会館にて（毎月隔週の金曜日）連絡先：旭川市春光町一区十条 滝浦功一気付

☆青森べ平連。定例デモ 3月15日午後2時より市役所前に集

合その後デモ（毎月第3日曜日）連絡先：秋田市千秋城下町7の53号

日）短信ビラ配付 每週日曜日午後場所不明。連絡先：青森市本町五丁目6の13 西村方井沼章氣付

☆市川・松戸べ平連。定例集会 3月9日、16日午後7時からオーラ集会 3月14日、21日午後5時より岡山駅前にて（毎週月曜日）連絡先：千葉県市川市南

八幡4の4の15 山田英男氣付 大西宿舎Cの2の2 日下部文夫氣付

☆岡山べ平連。定例デモ 3月21日午後5時30分岡山駅前より（毎月第1、第3土曜日）フ福岡駅前広場にて集会、午後1時より行動自由（毎週日曜日）連絡先不明、知らせて下さい

5

い。

☆小金井反戦市民行動委員会。

定例集会 3月14日午後6時 小金井市民会館にて（毎月第2土曜日）連絡先 小金井市本町5の38の3 野口英次方 小金井

反戦市民行動委員会 ☆国分寺べ平連。定例集会 3月12日、19日午後7時より場所不明（毎週木曜日）連絡先 国分寺市東元町3の14の22 宮野孝氣付

☆埼玉べ平連。定例集会、デモ

3月21日午後4時から集会そ

の後デモ場所不明（毎月第3土曜日）連絡先 埼玉県浦和市領家49 小林方 埼玉べ平連気付

☆茅ヶ崎ANPAN共闘。フォーク集会

3月14日、21日午後6時婦人会館にて（毎週水曜日）定例カンパ

3月14日、21日午後5時ま

で古町にて（毎週土曜日）連絡先 新潟西郵便局私書箱145号

☆自由を我らに／筑豊市民学生

3月14日、21日午後1時30分より公民

連合雑談会 3月14日、21日午

後2時より5時まで（毎週土曜日）連絡先 福岡県飯塚市飯塚郵便局私書箱25号

目抜き通りデモ（毎月第1、3、5土曜日）連絡先 国分寺市東元町3の14の22 宮野孝氣付

☆「戦争に反対するデモの会」

ヤンケベ平連チバ。定例集会、デモ

3月21日午後2時千葉中央公園にて集会、3時より市内

央公園にて集会、3時より市内

目抜き通りデモ（毎月第1、3、5土曜日）連絡先 国分寺市東元町3の14の22 宮野孝氣付

☆仙台べ平連。「第2、第3、の小西を！」仙台行動委員会

3月9日市立公会堂、時間不明。連絡先 仙台市同心町通30 武田アパート内青柳純一気付

☆雜司ヶ谷べ平連。定例集会

3月14日、21日午後3時鬼子母神にて（毎週土曜日）連絡先 東京都豊島郵便局留 中川龍之輔氣付

☆中野反戦行動。定例デモ

3月22日午後2時中野新井薬師公園に集合その後デモ。そして討論会。（毎月第4日曜日）連絡先 中野区南台2の35の2 高田方 石川たか子氣付

☆長野べ平連。定例デモ

3月11日、18日午後4時から6時婦人会館にて（毎週水曜日）定例カンパ

☆茅ヶ崎ANPAN共闘。フォーク集会

3月14日、21日午後6時から7時から茅ヶ崎駅北口または市立公園内平和塔前にて（毎週土曜日）連絡先り不明、知らせて下さい。

☆新潟ヤングべ平連。定例集会

3月11日、18日午後4時から6時婦人会館にて（毎週水曜日）定例カンパ

☆中野反戦行動。討論会

3月11日、18日午後4時から6時婦人会館にて（毎週水曜日）定例カンパ

☆ペトナム反戦姫路行動 討論会

3月15日午後1時より5時まで姫路労働会館。定例行動

☆長野べ平連。定例デモ

3月21日午後3時より古町にて（毎週土曜日）連絡先 新潟西郵便局私書箱145号

☆自由を我らに／筑豊市民学生

3月14日、21日午後1時30分より公民

連合雑談会 3月14日、21日午

館2階の相談室。連絡先 長野県飯田郵便局私書箱46号 飯田郵便局私書箱98号

日場所、時間とも不明

☆浜松べ平連。定例デモ

3月15日午後2時より新所沢緑町公団集合後デモ（毎月第三日曜日）連絡先 所沢市久米1234所沢高校内

「形而上学研究会」

☆札幌べ平連。定例デモ

3月15日午後1時20分、大通テレビ塔下（毎月第3日曜日）定例集会

☆反安保キリスト者連合・反万博市民共闘

3月15日午後3時扇町公園に集合その後デモ、万博初日／万博に抗議するデモ。連絡先 大阪府高槻市富田町3丁目7の25 日本キリスト教団摂津富田教会 桑原重夫気付

☆ベトナムに平和を非暴力反戦市民の会。定例デモ

3月15日午後3時30分 中央線吉祥寺駅南口武藏野公会堂前に集合（毎月1日、15日）連絡先 三鷹市井の頭5番4四条寺町下る東入労働会館

☆三鷹反戦ちようちんデモの会

3月15日午後6時30分 中央線吉祥寺駅南口武藏野公会堂前に集合（毎月1日、15日）連絡先 三鷹市井の頭5番4四条寺町下る東入労働会館

☆三鷹反戦ちようちんデモの会

3月15日午後6時30分 中央線吉祥寺駅南口武藏野公会堂前に集合（毎月1日、15日）連絡先 三鷹市井の頭5番4四条寺町下る東入労働会館

☆反戦反安保市民行動委。定例会議

3月10日、17日午後6時30分四条寺町下る東入労働会館

☆反戦反安保市民行動委。定例会議

3月10日、17日午後6時30分四条寺町下る東入労働会館

☆京都北地区反戦市民の会。定例学習会

3月14日、21日午後6時30分烏丸上立売同大学生会館会議室（毎週火曜日）連絡先

☆京都北地区反戦市民の会。定例学習会

3月14日、21日午後6時30分烏丸上立売同大学生会館会議室（毎週火曜日）連絡先

☆砂川ワーキャンプ

3月14日夕刻から16日まで立川市砂川町1232の8砂川反戦塾

☆砂川ワーキャンプ

3月14日夕刻から16日まで立川市砂川町1232の8砂川反戦塾

☆砂川ワーキャンプ

3月14日夕刻から16日まで立川市砂川町1232の8砂川反戦塾

☆砂川ワーキャンプ

3月14日夕刻から16日まで立川市砂川町1232の8砂川反戦塾

☆砂川ワーキャンプ

3月14日夕刻から16日まで立川市砂川町1232の8砂川反戦塾

☆砂川ワーキャンプ

3月14日夕刻から16日まで立川市砂川町1232の8砂川反戦塾

☆横浜べ平連絡会議 3月20日場所、時間とも不明

☆リトルベ平連アーバー。フオーリ集会

3月1日より毎月曜日午後1時より小田原城跡公園連絡先 世田谷区船橋3の11の16美濃路莊森田忠氣付

☆徳島べ平連。定例デモ

3月15日午後3時より徳島駅前（毎月第3日曜日）連絡先 徳島駅前（毎月第3日曜日）連絡先 世田谷区船橋3の11の16美濃路莊森田忠氣付

☆リトルベ平連アーバー。フオーリ集会

3月1日より毎月曜日午後1時より小田原城跡公園連絡先 世田谷区船橋3の11の16美濃路莊森田忠氣付

※3月23日から4月5日までの行動日程、公判日程をお知らせ下さい。締切りは3月11日です。

## ■特集

# 教育を問い合わせかえそう

大学闘争はあらゆる問題が未解決のまま行方不明となり、今や教育全体が本来的意味を問われつつ混迷を重ねている。その実態と原理を見つめよう



# 教育はどう一終るのガ

小田

実

(+) ときどき、いや、このところ、ちょっと  
ちゅう、私は考えている。「教育」はどう  
こで終るのか――。  
と言つても、私はここで年齢のことを  
言つてゐるのではない。何歳になつたら  
「教育」はおしまいになる、学校教育は  
そこで終つてあとは成人教育に移す、と  
いうようなことをことあたらしく言つて  
いるわけではない。

私の言つてゐるのは、次のようなこと  
だ。

たとえば私が社会科の教師だとする。  
日本の社会のことについて私は教える。  
当然のことながら、私は日本の社会のさ  
まざまなムジュン――いや、もっと強い  
ことばを使って言うべきだろう――不正  
にふれざるを得ない。

そこまではいい。問題はない。私はと  
くとくとして、これまでの学者たちの研  
究成果にふれながら、しゃべりまくるだ  
ろう。生徒の眼が輝き出す。私はそれを  
見ながら、自分の「教育」は成功だ、と  
考え方始める。自画自讃する。

あくる日、生徒の数人が連れだって、  
私のところにやつて来る。  
先生のお話はよく判りました。

一人が言う。

私はうれしさをかくしながら何気ない  
表情でうなずく。

昨日は眠れなかつた。  
ほかの一人が言う。

私はますますうれしくなる。

何か言い出したくなる。不正について  
て、さらには席ぶちたくなる。

と、ふいに横からそれまで黙つていた  
一人が言う。

で、今日はこれから弾薬庫のまえに坐  
り込みに行くんです。

先生はどうですか、というふうな眼で  
彼は私を見る。

私はギョッとする。なぜ、ギョッとす  
るのか。

こうしたことが私に実際にあったとい  
うわけではない。ただ、こうした場合を

私はいくらでも想定できる。根本的問題  
は、一つある。それは「教育」は、いつ  
たい、どこで終つたことになつてているの  
か、つまり、「教育」は、弾薬庫のまえの坐  
り込みまでふくむか、ということだ。  
三つの場合が考えられるだろう。  
まず、教育はそこまでふくまないとい  
う立場をとる場合である。

「教育」はなるほど社会の不正につい  
て教えはする。それをことこまかに分析  
してみせる。しかし、それをきいた学生  
がどう考へよう、何をしよう、あと  
は知つたことか、というわけである。

あるいは、Aという事象について、さ  
まざまな学説を紹介する。  
αという学説によると、Aは困った事  
象だ。一刻でも早く消滅させなければな  
らない。

Bによると、ことはさように簡単ではない。Aにもいいところはある。と言つてすべてが万歳だというわけでもない。

それがAの学説では、Aはまったくすばらしいことになる。日本中、いや世界中がAでうずまればよい。

「教育」はもの判りよく、α、β、γの学説を紹介する。そして、学生がどれをとるか、そんなことはおれの知ったことではないと開きなおる。

一番目の立場は、坐り込みなんかやめろ、という立場である。と言つても、坐り込みよりもデモ行進のほうが効果がある、といったふうなことを言うのではない。たとえば、坐り込みなんかは学生の

することではないと言つてやめさせようとするのである。

こういうことを言い出すと、学生はこ

とばを返して来るにちがいない。

そうすると、先生が教えて来たことは

あれは、いったい、何なのですか。不正

はある。しかし、黙っている。つまり、

そういうわけなのですか。それじゃあ、

「教育」に何の意味があるのでですか。

さて、こうした学生のことばに何と答

えればよいのか。

もちろん、こうした立場は、坐り込みまで「教育」の領域のなかにふくみ込むことを前提にしている。それを前提としているからこそ坐り込みなんかやめる、学生は学生らしく黙って勉強しろ、と言えるのだろう。

同じように、今度は、坐り込みは結構だ、大いにやりたまえ、と先生が激励する場合を考えることもできる。そのときにも、坐り込みまでが「教育」のなかに入っているのだろう。さて、先生がそんなふうに言い出すとなると、学生のほうがことばを返す。

先生はどうするんですか。坐り込みするんですか。

話をさきに進めるまえに、ここで一つ言つておかなくてはならない。それは、たとえば世の中の不正をおおいやすくする

うな「教育」があるということである。

このごろ政府が必死にやらせようとしている「教育」はこうした教育だから、そんなものは「教育」の名に値しないもの

だと一蹴し去るわけにいかない。それはうようなきまり文句はバカげている。それより、私はどうなのか。

私は、たぶん、第一の立場をとっているのだろう。と言つても、α、β、γの

学説を紹介するというようなことをやつ

ているわけではない。私はただ、おそらく、次のようなことを言っているだけな

い。伝えっぱなしだら同じことでは

ないか。坐り込みをとめるとなると、も

っとわるいのではないか。あるいは、先

生自身が坐り込みしないとなると、これ

もまた同じではないか。

私は、ここ一、二年来、学生たちがあつたように思われる。すくなくとも、

戦後教育は、社会の不正を指摘することにおいてはかなりなことをして来たよう

に思う（ここで、「教育」ということは

の代りに、「学問」ということばを使つてもよい）。そして、まさに、それゆえ

に、学生たちは直接、間接にそうした疑問を口に出して来ているのだろう。

私は一部の学生たちが言うように、戦

後教育がまったくのインチキのどうしよ

うもないものであつたとは思わない。多

くの欠陥はあつたにしても、それは決し

ていンチキなものではなかつた。あくま

でマジメだった。そして、それゆえに、

まさに、学生たちによって根本的な疑問

が出されて來たのにちがいない。

教師も学生も根本的に考えてみるべき問題である——いや、こんな評論家が言ふよなきまり文句はバカげている。それより、私はどうなのか。  
私は、たぶん、第一の立場をとっているのだろう。と言つても、α、β、γの学説を紹介するというようなことをやつているわけではない。私はただ、おそらく、次のようなことを言っているだけなのだ。坐り込みをとめるとなると、もとわるいのではないか。あるいは、先生自身が坐り込みしないとなると、これもまた同じではないか。  
私は、学生にそれだけ告げるだろう。あと彼らがどうするか、私は知らない。知つていることは、私が実際それをするかどうか、ということだけである。もちろんそのとき、私は教師としてそうしていられるわけではないだろう。一人の人間としてそうしているだけのことで、しかし、そのとき、私は「教育」の外にいるのか、なかにいるのか。ここで、私が言つているのは他人に対する「教育」ではない。自分自身に対する教育である。

私は学生にそれだけ告げるだろう。あと彼らがどうするか、私は知らない。知つていることは、私が実際それをするかどうか、ということだけである。もちろんそのとき、私は教師としてそうしていられるわけではないだろう。一人の人間としてそうしているだけのことで、しかし、そのとき、私は「教育」の外にいるのか、なかにいるのか。ここで、私が言つているのは他人に対する「教育」ではない。自分自身に対する教育である。

## ■全ページをあなたがつくる！ 安保をつぶす意志のある人すべて

に、「週刊アンボ」は開放されています。安保・沖縄・ベトナム・朝鮮

人問題・高校教育問題、あるいは権力の腐敗について、あなたの手持ち

の情報のすべてを送つてください。

(四百字原稿用紙2~20枚程度)

◆送り先：週刊アンボ社編集部投稿

# 佐藤忠男

## 都合がいいからだ。

もういろんな人が言っていることで、いまさらとも思うが、念には念をおす懶昧でいわせてもらうと、近年の学園闘争があきらかにしたひとつの根本的な問題は、学問ってなんだ、教育ってなんだ、それはつまり、国家が既存の体制に都合のいい技術や人間をつくるための仕掛けでしかないのではないか、そして、それは間違っているんじゃないいか、というところだと思う。

### 「科学を人民の管理下に！」

これまで、学問とはなにか、教育とはなにか、ということは、ちょいちょい、問題にはなったと思うが、いまのよううに、大衆的な規模で、鋭く問題が出され、深刻に考えられている時代というのは、やはり、かつてないことだと思う。どうして、いま、そういうことがこんなに重大になってきたのか。原因はいくつか、考えられるだろう。いろんな面で、これまで無条件に信じるようにしむけられてきたことが、疑わしくなっている。まず、学問についていえば。

科学が原水爆を生み出したということが、科学というものに対するこれまでの人間の無条件的な信頼というものを打ち碎いたと思う。科学は人間を進歩させ、幸福にするものだ、と、いわれるままに、なんとなくこれまでの人間はそう思つてきたが、どうも、そうとばかりはいえないことが、はっきりわかつてきただ。科学

スローガンのもう一步手前ぐらいいが、『帝国主義大学』解体という叫びをあげたのだ。帝国主義大学など洒落たことをいうから、ちょっと意味がとりにくいか、「科学を人民の管理下に！」と、もうひとつはつきり言つてもらえば私にはすっきりわかるし、ぜひそうでなければと思う。

もちろんこれまで、学問の自由、といふ考え方があるが、政治家に支配されが行うべきであり、科学の管理は学者はならない、というところまでは考え方として確立していたわけであるが、産学協同というような事実が出てきたり、原子力や宇宙開発や海洋開発など、いわゆる巨大科学で、どうしても国家予算のなかの相当なパーセンテージの研究費をつぎこまなければならない研究部門が重要なになってきて、政府の仕事として科学研究ということが出てきたりして、学問の

人民の管理下に」という要求に発展してゆくべき性質のものなのだと思う。

だいたい、学問の自由ということは、資本主義国であっても、大学でマルクスの思想を研究したり講義したりすることはない。こう差支えないというようなことである。そして、その意味では、この自由は現在の大学では慎重に守られてきていると言えるし、なおいっそう、力をつくして守つてゆかなければならぬものである。がしかし、思想的研究、イデ

# どうして、英語や数学が それは、エリートの選別

オロギー的研究、社会科学的研究では学問の自由は守られていても、自然科学のほうでは、大企業の意志にもとづく研究体制というものが着々と進行し、やがてそれが、アメリカで産軍複合体と言われるようになりかねないのである。そうすれば、たとえ社会科学者がマルクス主義を研究する自由を確保していたところで、学問の自由なんて、自然科学の面では実質的にはたいした意味がなくなってしまうだろう。

## ■ 人民の側の教育原理

教育の問題も、私は、大学闘争で出てきた以上のような問題点との関連で考える。将来、人民は科学を管理しなければならない。科学研究のための国家予算を、人類絶滅兵器の開発に使うか、それとも公害駆除のために使うか、というような根本的な大問題からはじまって、さまざまな科学上の問題を、ある程度、大衆討議で議論できなければならないと思う。もちろん、科学の中味までは、大衆討議でどうこうするわけにはゆかないけれども、少くとも、科学行政に大局的なにらみをきかせるぐらいいことは、大衆的なレベルで出来なければならぬ。人民は、その素養を持たなければならぬのだ。そういう素養をつちかう作業として、国民教育というものが位置づけられるべきである。

いま、私は科学のことだけを言い、それも主として自然科学のことだけに問題をかぎった。しかし、社会科学系の学問でも、たとえば法学なんてのは、学者だけが勉強していればそれでいいものの東大裁判とか、テレビ局のフィルム提出問題とか、肖像権の問題とか、国民的な注目をあつめる事件や、社会の変動にともなって起つてくる、人々の生活に関係の深いややこしい問題がたくさん起つてくる。国家権力は、エロの取り締り強化、というようなときには、PTA的世論を奨励してそれを支えに行動をおこし、新宿西口広場の集会のような青年たちの反体制運動のばあいはカメラの撮影妨害したりして世論を小さくしようとする。人民は、これらの問題に対し、相当レベルの高い議論ができなければならぬと思う。そして、そのためには、ある程度、法学上の素養ももたなければならぬと思う。

そうした素養を得る場、として国民教育というものを考えるとき、それは、これによっては一生高等数学などとは無縁にすごすし、英語も、それを生活に役立てる立場の人間はかぎられていく。にもかかわらず、なぜ、それを学ぶのか？ まず、そんなところから考えてみる必要がある。よく言われることに、高等数学や英語を教えられるわけであるが、職業によっては一生高等数学などとは無縁にすごすし、英語も、それを生活に役立てる立場の人間はかぎられていく。にもかかわらず、なぜ、それを学ぶのか？ まず、そんなところから考えてみる必要がある。よく言われることに、高等数学なんか実生活とはなんの関係もなくても、ものごとを理づめに考える思考力を養ううえにはたいへん役に立つ、という説明がある。がしかし、こんな説明が

出世のため、あるいは就職のため、といふことになる。従つて、国家の側からすれば、従順な大衆であるために必要な知識以外、批判精神などという余計なものを持たない人間をつくるために、教科書検定を徹底的にやつたり、學習指導要領で教えることとの枠をきっちりきめたりする。また、そういう教育を受けた若ものたちのなかから、少數のエリートを選び出すために、いちばん能率的で公平な方法だということで、暗記本位・受験技術本位の教育内容になる。そして人民の側は、その教育競争で頑張る以外に出世の道はないというので、その教育を必死に追う。

## ■ 人間選別に都合がいい学問

しかし、じっさいのところ、その教育はなんの役に立つのだろう？ たとえば数学や英語。高等学校でかなり高度な数学や英語を教えられるわけであるが、職業によっては一生高等数学などとは無縁にすごすし、英語も、それを生活に役立てる立場の人間はかぎられていく。にもかかわらず、なぜ、それを学ぶのか？ まず、そんなところから考えてみる必要がある。よく言われることに、高等数学なんか実生活とはなんの関係もなくても、ものごとを理づめに考える思考力を養ううえにはたいへん役に立つ、という説明がある。がしかし、こんな説明が嘘っぽいであることは、一流の数学学者だ。

上、たぶん専門の数学では筋の通った理づめの考え方が出来るのだろう。しかし、日本文化論などというものになると、べんに分る。この人は数学者である以上、たぶん専門の数学では筋の通った理づめの考え方が出来るのだろう。しかしながら、日本文化論などというものになると、デタラメもいいところで、ただ思いつきを羅列しただけの空想的なものにすぎなくなる。その思いつきに、ときには気の引きいたものもあるが、吹き出したくなるほどバカバカしい部分のほうが多く、とにかく、理づめ、なんてものではない。数学を学ぶと論理的な思考ができるようになる、などという思いつきの妄説を身をもってふきとばしてくれたことを、私は、岡潔に感謝しているくらいだ。おなじような意味で、英語などで、たとえ一生英語を使う機会などなくとも、英語の文法を知ることは西洋人的なものへの考え方を知るうえに役に立つ、などという効能論もある。しかし、こんなのもすいぶん無理した言いまわしである。理づめの考え方を学ぶためなら論理学か哲学でもやればいいし、西洋的なものの考え方を知りたければ西洋思想史を学べばいい。

のを教えても直接的には体制批判などにつながる危険性がないことがひとつ、そしてもうひとつは、これなら試験でエリートの選抜をするのが容易だ、ということであると思う。哲学だの思想史だのということになると、考え方が達成点をつける基準も違ってきてどうしようもないが、数学や英語は、その点、おなじ基準で万人をふるいにかけることができる。ところが、数学や英語が人間選別にもっとも都合のいい学問だということが分ると、人間には他に学んだら有意義だと思われるものがたくさんあるにもかかわらず、そこにみんなが全精力をかたむけて勉強するので、自ずから、そのレベルもあがり、したがって試験もいつそう、重箱の隅をつつかせるような、受験生のアラさがし本位のものに堕してゆき、それに合わせてまた、教育の内容そのものが暗記本位になつてゆく。悪循環である。

などという考え方が、もしあつたとしたら、むしろ、もっと中国語を、朝鮮語を、マレー語を、と言うべきである。

などという考え方が、もしあつたとしたら、むしろ、もっと中国語を、朝鮮語を、マレー語を、と言うべきである。  
■我々に出来る教育とは  
さいしょに書いたように、これからは、人が科学を管理しなければならない。そのためには、われわれは科学に強くなければならぬ。そのためには数学が必要だというのであればそれもやろう。一般に科学教育振興といったことが言われるときには、国民に広く理科や数学を教えこめば、そのなかから何人か、優秀な学者や技術者が育つから、将来的産業の発展に有利である、という考え方があり、イギリスのウイルソン首相の言っている科学教育重要な政策や、アメリカなどが英才教育に熱を入れていることなどは、みんなそういう考え方にもとづくものである。が、それではあんまりさもしい。それは優等生中心主義というものである。ひとにぎりの科学的秀才を発見するため、科学教育のレベルを上げることをするのを看視するために科学教育のレベルを上げる必要があるのだ。ただし、そうなると、科学教育の内容そのものも、いくらか違つてはくるだろう。

家の演説などをテキストにして、論理的なアイマイさとはどういうものであるか、演説の主旨と美辞麗句との関係がどうなっているか、などを文章的に批判する力を身につけることが重要だし、基本的人権ということを抽象概念として教えることももちろん必要だが、法律では具体的にはどうなっていて、どういうときに入権侵害を主張することができるか、ということを学ぶ必要がある。それらは、あくまで国語教育、社会科教育として行なわれることであって、べつにイデオロギー教育だなんてことわがることはない。そういうふうにやってゆかなれば、受験本位ということが骨がらみになっている現在の学校教育面白いものにしてゆくことはできないし、面白いものにできなければ学校は内部から崩壊していく以外はない。なぜなら、昔のように中学や高校へ行くだけでエリートとしての誇りがもてた時代はもうとうに終り、いまでは大学を出てもその多くは必ずしもエリートではないのだから。エリート選抜を目的とする教育体系は必然的に非エリートには面白くないものである。面白くなくともそれを我慢しなければちょっとした職にもつけないなんて、バカげた話である。教育を、一握りのエリートの選抜に都合のいいものから、この一握りの連中のやることを管理する大衆にとって必要で興味あるものへと再編成せねばならぬ。

これが教育だといふけれど

「学校教育」は、人間を変えることはできない——そんなふうに、わたしは考えたい。原理的に、それは正しい、とわたしは思う。わたしを教育するのは、わたしじしんにしかできない、きわめて原則的に、こう考えたい。

しかし、はたして、現実にそ  
うなっているだろうか？

うちに、わたしの眼に映ったものは、「学校教育」は、確実に、人間を変えているということであつた。さまざまな場所で、「教育」はわたしたちを変えつた。そしてそれは、どのように、わたしたちを変えつたのである？

教師たちは、多くを語りたが  
らなかつた。かれらにもまた、  
どのように変えつあるのか、  
定かではないのかもしれない。  
巨大なわく組みのなかで、その

機構の頂点に向けて収斂していくような、そんな現代の「教育制度」のなかで、教師たちも頂点を見上げながら、教え子たちを「教育」している、というのが実情のよう見えた。

教師たちは、いちょうにうつむきかけんであった。日本の教師たちの、この暗さの理由を、たぶんわたしたちは、かれらの背後にある幾萬――それは

権力と呼んでもいいのかもしれない——との関係のなかに見いだせるのかもしない。

教師たちはほとんどこの構のわく組みのなかから、抜け出でていなかつた。そうして、このわく組みをそのまま、自己の学校や教室のなかに持ち込んでいるのも事実であつた。

人間を変えるために、「教育」は、ひとつ「制度」でなければならない、「制度」は「力」でなければならない、具体的にも抽象的にも——権力は、そし

てそれに意識的にも無意識的にも連なっている日本の教師たちは、こんなふうな方程式を組み

の「教育制度」に、あるときはあからさまに、あるときはひそかに、連なつてゐる。

うやくつかみ始めたばかりだ。

うやくつかみ始めたばかりだ。  
荒野をほりおこしはじめたのは、まさに「紛争」をおこした人間たちにほかならない。

の「教育制度」に、あるときはあからさまに、あるときはひそかに、連なっている。

荒野ということばがある。奇妙ないい方をするなら、日本の「教育」の現状は豊かな荒野ともいいうべきものなのかも知れない。その豊かさが、どこに向いているのかを、わたしたちはよ

荒野をほりおこしはじめたのは、まさに「紛争」をおこした人間たちにほかならない。

「紛争」ということばをつかうなら、紛争のおきない学校ほど、救いがたいたい荒野なのだ。わたしはそう思う。

小学生よ

卷之三

# 小学生よ、 日の丸に注目せよ！

——一宮市立神山小のばあい——

名古屋駅から名鉄電車で一五分のところに尾張一宮駅がある。

丸のはるか向こうに、一宮市立  
神山小学校がある。紀元節

二月一日、"紀元節"の日

庭の国旗掲揚塔に日の丸が高々とひるがえっていた。

家々ののき下にならんだ日の

川光夫氏。職員數約四五名。生

上にはためいていた日の丸を、

児童会副会長が静かに降ろして

いく。

一六〇〇名の生徒たちは、そ

の間、直立不動でいなければな

らない。

こうした国旗掲揚式や国旗降

納式が行なわれるようになつた

のは七年ほど前の花木鳶雄校長

の時からである。

当時の池田内閣の高度成長経

済を背景に、文部省は、国旗「日

の丸」や国歌「君が代」を、各

学校で敬うよう通達を出した。

それに呼応するかのように、

一宮市にあってかなり積極的な

活動をくり広げている元軍人た

ちの組織「郷友会」が一宮小学

校と、それに隣接する中部中学

校に、国旗掲揚塔と国旗を寄付

した。

以前から自民党の強力な地盤

であった愛知県では、こうした

文部省や「郷友会」の動きに抵

抗を感じたり反対したりする人

たちは、ほとんどみんなどなかつた。

国旗掲揚式や国旗降納式に、

いく分でも異議を申し立てたる新

任の若い教師などがいたりする

ところ、PTAや学校側から、白い

眼で見られたり、目に見えない  
が入るようになった。

姿勢が悪いと、先生はいつもど  
なるんだもの

各生徒に、「紀元節」の「意  
義」を説いたプリントがくばら  
れる。

兄弟のいるクラスで、先生が  
小学生たちに、朝の国旗掲揚に  
賛成するひとは、といつて手を  
上げさせた。すると、クラスの  
ほとんどの小学生が手を上げた  
という。その次に、生徒たちに  
話をしてくれた小学生の兄弟は  
眼をつぶらせて、同じ質問をし  
た。と、クラスのほとんどが手  
を上げなかつたのだという。

「きょう、国旗を上げた?」  
「うん、上げた。だって、先  
生がまわってくるんだもん。上  
げなかつたら、明日、注意さ  
れるんだよ」

小学生たちに、教師たちは、  
国旗を上げるのは、小学生たち  
の仕事なのだ、と教えていた。

もし、家に国旗がなかつたら  
どうするか?

「学校で、文化祭というのが  
あるの。そのときには、学校で、  
国旗のない家には売るんです。  
だから、ほとんどみんなの家に  
日の丸はありますよ」

日の丸を上げることに、小學  
生たちは何の抵抗も感じていな  
いのだろうか。

「朝ね、校庭にするすると日  
の丸があがるとね、とっても氣  
持ちがいいじゃない」

他の小学生が、別のことについて  
いた。

「なにも、日の丸が上がって  
いくのを見ているだけが、気持  
ちいいっていうわけじゃない  
のね。他のことをやって、気持  
ちがいいんなら、そのほうがい  
いと思うんだけど……。でも、

そんなこといつても、いまの学  
校じゃ、そんなのないもんね」

小学生たちは、ふたたび、バ  
レーボールに熱中はじめた。

日々ののきに掲げられた日の  
丸は、ボールとほぼ同じ高さに

あつたのだが、小学生たちは、  
日の丸ではなく、バレーボー

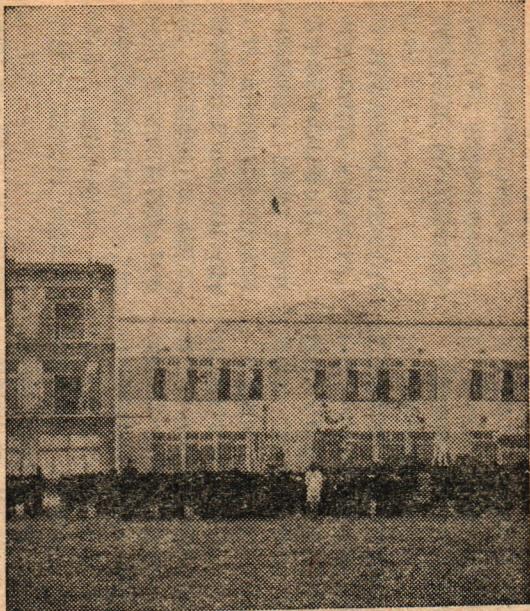
の号令がかかると、小学生たちは  
は一斉に深く頭を下げる。

こうした光景は、雨が降らな  
いかぎり、毎朝、くり広げられ

る。「注目!」  
生徒たちは黒板の上に、額に  
おさめられて、掲げられている  
日の丸に注目する。そして、  
「注目直れ!」の号令とともに  
しばらくの後、「注目直れ!」  
この他に、国旗降納式という  
のがある。月、木、土曜の三日の一  
子供会の式次第の中にも必ら  
ず、国歌の齊唱と国旗への注目

がある。月、木、土曜の三日の一  
下校時に小学生たちは校庭にな  
らぶ。一日中、小学生たちの頭  
に、深々と敬礼する。

「でもね、あんなのつまんな  
いよ。日の丸が上がっていると  
あつたのだが、小学生たちは、  
日の丸ではなく、バレーボー



朝礼に日の丸を掲揚する神山小

ルに「注目」していた。自由な姿勢で、自由な動作をくり返しながら。

## コンピューターは 国を守る

千代田学園のばあい

千代田学園という学校が、ナを集めてくれた。五人いて、五代田写真専門学校と千代田デザイン学園、それに千代田学園を構成している。

情報化時代、コンピューター時代というかけごえとともに、この種の専門学校は最近とくに増えている。

それぞれの科目定員は、一番多い科で二五〇名、少ない科で五〇名であるが、実際は毎年、この倍以上の学生が入学しているといふ。

この種の学校では、どのような教育が行なわれているのだろうか。

都内のある予備校で、千代田テレビ技術学校を中退して、ある大学に入ろうとしている学生に会うことができた。

彼は、すぐに、千代田テレビ技術学校にいたころの友人たち

会に対し反対する

赤旗をふったり、デモをやつたりして、学校や会社や、社会

たりする「不公平をもつた者」が出てぐるのを防ぐために、この学校は、かなり「意欲的」な試みを行なっている。

そこで、身分証明書をかねて「学生必携」を見てみよう。

「禁止事項」という項目がある。「(1)本学学生は、政治団体への加入および政治活動を行なうことを堅く禁止する。(6)学校前の道路上において、交通妨害となる行為があつてはならない。(11)学校には、新聞、雑誌の持込みを禁ずる」

また「校友会規定」には、「学校新聞、校内放送等、全生徒を対象とする文書、原稿は事前に学生課の承認を要する」

去年の夏の初め、全国の大学は、「赤旗をふしたり、デモを行なつたりする」学生であふれた。

そのとき、千代田学園には、ひとつの組織が生れた。その名も「防衛隊」。

いったい何から、何を守るのか。

自信のある学生が、「機動隊」を名のり、校内外を巡視して歩く。とにかく、「交通妨害」という理由で、千代田学園の敷地の外においてでもビラをまくものがいたら、追いはらおう、と行なつてはいる。あるいは行なつてはいる。あるいは行なうとしている人々のことであつた。

これら防衛隊員となつたのは、千代田学園の学生たちであつた。

「日本歴史はいつも正しい」「土曜作文」というのがある。毎週土曜日に、たとえば

「民族的な感情が、民衆精神とか同胞愛とか、あるいは民族魂とかであり、他民族に対する排他的になり、同一民族は固く結束する精神となって」  
「献身的な精神にまで高まってゆく」、「日本は大和民族と

たた。もしこの「防衛隊」に入らない学生がいると、「教職員会議により選出され、任命された」、「学生必携」全校委員によつて、「防衛隊」に入隊しない理由をはげしく問われるのであつた。

したがつて、「防衛隊」に入らない学生がいると、ただそれだけで、その学生は「防衛」の対象とされていく。だから、ほとんどの全学生が、「防衛隊」に入隊せざるをえなかつた。

隊員たち(といつても、もちろん学生なのだが)は、左腕に大きな黄色の腕章をまいて、校内外を巡回する。腕章には、大きく「防衛隊」。

さらに、この「防衛隊」のなから、「機動隊」がつくられた。「機動隊」といつても、警察の機動隊ではないが、役割りはほとんど同じであつた。

ヘルメットをかぶり、体力にここうとしているのか?

「立派な日本人となれ」といふ項目が「本学園の教育方針」のなかにある。

「民族的な感情が、民衆精神とか同胞愛とか、あるいは民族魂とかであり、他民族に対する排他的になり、同一民族は固く結束する精神となつて」  
「献身的な精神にまで高まってゆく」、「日本は大和民族と

というタイトルを与えられて、作文を提出しなければならない。

「学生生徒に学園内で厳重に規則を守らせ、学則、就学規定に反したものびしりし处罚する」(「本学園の教育方針」)ためであるとする方針に反する内容の作文を提出すればどうなるか。

あるいは、提出日が少しでも遅れると、どうなるか。全校委員のはげしい質問が待つてゐる。それだけでなく、やがて、退学、ということにもなりかねない。

そして、優秀と認められた作文は、学校の主催による弁論大会で発表される。もちろん発表員のはげしい質問が待つてゐる。それだけではなく、やがて、退学、ということにもなりかねない。

こうした環境のなかで教育される学生は、いったいどこへ行こうとしているのか?

「立派な日本人となれ」といふ項目が「本学園の教育方針」のなかにある。

「民族的な感情が、民衆精神とか同胞愛とか、あるいは民族魂とかであり、他民族に対する排他的になり、同一民族は固く結束する精神となつて」  
「献身的な精神にまで高まってゆく」、「日本は大和民族と

れ歴史も古く、ことに明治維新

以来の目ざましい発展は、日本人のすぐれた国民性、とくにう盛なる愛国心によるものである。それなのに、「戦勝国が日本を占領し、「民族精神のとばしい」方向に仕向けてしまった。そこで本学園は「学生・生徒の民族意識の高揚をはからうとしている。

日本の歴史は、「大東亜戦争が罪悪であったばかりでなく、明治維新以来みな侵略の歴史であって、たくさんの民族を苦しめた、たいへん恥しいものだと

考へておるおろかな者がいる。「日本人がたくさんの大罪を犯したように考へるのはすでに日本人の考へ方ではない。日本人としての民族精神、国家意識がかけている」

こうした考へ方の上に、未来のコンピューター技術者は養成されていく。「本学園の建学の精神を信じ、教育方針に服し、自分の眼を開け。諸君の明日も開かれる」

さて、「開かれた明日」それほどどんな明日なのだろう?

慶應組は、「慶應の普通部または中等部の志望者」と、「特に競争のはげしい有名な私立中学志望者」のクラスである。

生徒数は、現在二六〇〇名である。各クラス五〇名から一二〇名。

二六〇〇名といつてもピンとこないかもしれないが、次のようにいふたらどうのよな数字かおわかりいただけると思う。

中学校は義務教育であるため、ふつう入学試験は行なわれないが、なかには試験を受けなければ入学できないところがある。

その数は、生徒数にしておよそ三〇〇〇名である。二六〇〇名という数字は三〇〇〇名のほとんどに当たるわけである。

またなんに、三〇〇〇名と

いう数字は、都内の中学校へ進学する小学校六年生の二パーセントに当たる。

的」はこういっている。

「進学教室はエリートですよ」

授業は、男子組と女子組に分けられていて、それぞれ国公立組と慶應組にまたそれ分けられている。

国公立組は、「国立大学附属中志望者と、都立高専中または有名公立志望者」と、「特に競争のはげしい一流の私立中学志望者」のクラスである。

慶應組は、「慶應の普通部までは中等部の志望者」と、「特に競争のはげしい有名な私立中学志望者」のクラスである。

生徒数は、現在二六〇〇名である。各クラス五〇名から一二〇名。

二六〇〇名といつてもピンとこないかもしれないが、次のようにいふたらどうのよな数字かおわかりいただけると思う。

中学校は義務教育であるため、ふつう入学試験は行なわれないが、なかには試験を受けなければ入学できないところがある。

その数は、生徒数にしておよそ三〇〇〇名である。二六〇〇名という数字は三〇〇〇名のほとんどに当たるわけである。

またなんに、三〇〇〇名と

いう数字は、都内の中学校へ進

学する小学校六年生の二パーセントに当たる。

いわゆる進学塾、進学教室には二種類あるといわれている。

ひとつは、試験の必要な中学に入学するための「進学教育」であり、もうひとつは、「補導教育」と呼ばれているものである。

（会社員、実業家、社長、自由業などがあつとも多い）、この

近の交通のはげしさや、誘拐事件に子供をうばわれることをおそれたり、狭い部屋や家に子供たちが騒いでいるのをきらう母親たちが、いわば「託児所」的に利用するものである。

したがって、「授業中、三分の二くらいの子供たちは、マンガを読んでますよ」ということ

に、「進学教室」の先生によれば、なる。

ある日、日本進学教室の事務所を訪れてみた。

窓口には、選抜試験の申込みに子供といっしょにきた母親が

「学校の成績は、オール4ですか……そうですねえ、まあなんとかついていけるでしょう。でも、すこしがんばってください」と事務員にいわれて、困惑した表情をしていた。

事務所の壁には、「優良児生

活意識調査——中学校進学六年」という表がはってあった。

それによると、「優良児」の

勉強時間は、多いもので一日六時間から七時間、平均で四時間

前後であった。このほかに、小学校での授業時間があるわけで

あるから、この数字は「ソーレンツ」である。

また父兄の職業をみてみると

（会社員、実業家、社長、自由業などがあつとも多い）、この

進学教室にかよわせている家庭の経済状態はかなりいいことに気づく。

『スバルタ教育』の著者石原慎太郎氏、俳優小沢昭一氏、フランキー堺氏の子供や、社会党議員の子供なども、ここにかよっていたことがある。

「じょせん、人の一生は……」

最近、東京都では学校群制度が採用されてから、私立中学への進学率は急速に高まっている。また、この二、三年私立中学校の学費の値上げが押さえられているので、どこでも進学塾や進学教室への志望者（母親であるばあいが多いのだが）は急増しているという。そして、その大多数が日本進学教室に入ってくる。

「はつきりいってしまえばねえ……」日本進学教室の事務員は次のようなことを話している。

（成績のよい生徒だけを集めて教えるわけですから、こちらとしては必ずいぶん楽なんですよ。全校で一〇番以内の生徒

## 進学・Oh Son-レッスン

——日本進学教室のばあい——

日本進学教室は、本部が千駄ヶ谷にあって、教室は都内の数カ所に散らばっている。生徒は都内だけでなく、近県の多数の学校から集められている。

この進学教室は小学校六年生だけを対象にしたものである。

「小学校における学習が、国立や私立の有名中学の入学試験の上にも、いちばん基本になる

ことはいうまでもありませんが、その基本の上に、あるものが加わるのでなければ、合格の栄冠をかちとることがむずかしいのが、最近の中学校入試の実態であります。児童の才能を伸ばす優良児教育によって、そのためのものを与えようとしているのが、日本進学教室であります」

受験申込書にそえられた「目

ることはいうまでもありませんが、その基本の上に、あるものが加わるのでなければ、合格の

栄冠をかちとることがむずかしいのが、最近の中学校入試の実態であります。児童の才能を伸ばす優良児教育によって、そのためのものを与えようとしているのが、日本進学教室であります」

受験申込書にそえられた「目

その数は、生徒数にしておよそ三〇〇〇名である。二六〇〇名

名という数字は三〇〇〇名のほとんどに当たるわけである。

またなんに、三〇〇〇名と

いう数字は、都内の中学校へ進

学する小学校六年生の二パーセントに当たる。

（成績のよい生徒だけを集めて教えるわけですから、こ

ちらとしては必ずいぶん楽なんですよ。全校で一〇番以内の生徒

だけですよ、きているのは

年八千百円也の受講料を毎日

曜日だけの授業に納める母親たち

ち。たぶん、この金額は父兄たちにとってたいした金額ではないかもしない。

「中学入学の、

当初に行なわれる各中学の組分け

の優良児教育によって養つてお

くことが、その後の中学校と高校

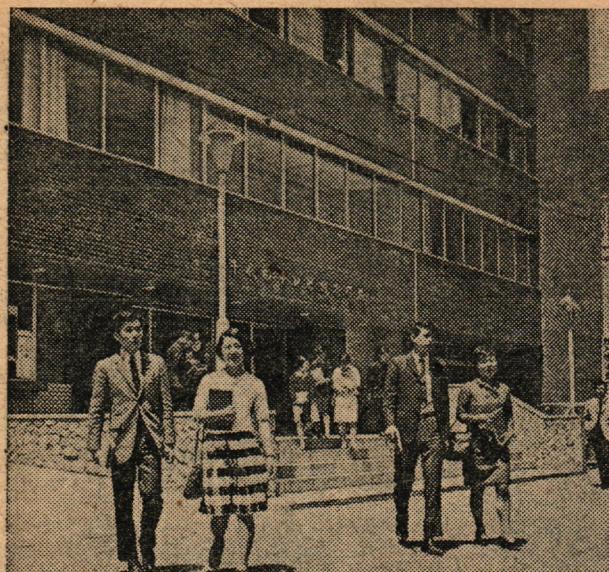
時代の成績に、さらに一流の大

学へストレートで入学する上

に、極めて必要にして、かつ効

果的である」という呼びかけに、あんがい父兄たちは弱いのかかもしれない。「とにかく最近の小学校教育はカッティングを奨励していますからね。カッティングって、まあ小学校じゃ、グループ学習などと呼んでいますけど。できない生徒とうちの子供がいっしょにやっていたんでは、ほんとうの実力なんつませんもの」母親のひとりは何気なくいつのけた。

中学校の教師のアルバイトで授業が行なわれているこの進学



千代田学園の建物正面にて

## ■ 女工哀史は 昔のことじやない

——倉敷紡績のばあい——

岐阜県一宮市、名鉄新木曾川駅から歩いて二〇分あまり、聖徳学園短期大学の三部の、一クラス九〇名の学生のうち、約半数は、すぐ近くの倉敷紡績木曾川工場の女子社員である。

「わたしと一緒に入った六〇人のうち、二五人がやめました、ウェイトレスや店員になつて」

倉敷の仕事は二交替制である。彼女たちは、二部（夜間）の授業には出席できない。そこで二年前、二交替制の間に授業を作られた。保育科と家政科。

木曾川工場の総従業員一二〇〇名あまり。そのうち、男子社員が一〇〇名。毎年の新入社員は二〇〇名弱。そのうち聖徳には、一学年で一二〇名通っている。従業員のほとんどは四つある寮に入っている。一部屋は十畳で七、八人が一緒に生活する。彼女たちは寮から学校に通う。

二交替制のそれそれは、先番、後番と呼ばれていて、一週間ごとに交替する。

社員を募集する時、二交替制の変形の三部の短大ということを、倉敷は言っていない。

彼女たちの生活は後番の場合、七時に起きると、八時二〇分にスクール・バスが来て、寮から学校へ行く。九時に授業が始まり、十二時一〇分に終わ

教室、意外と長続きするのかもしない。少なくとも、学校教育が選別の手段となっているあたりだ。

「とにかく現実のき

人生は早いうちから現実のき

でしかない。そうであるならば子供は早いうちから現実のき

ろうが。

原慎太郎氏ならば、こういうだ

いはしおせん、人の一生は競争

でしかない。そうであるなら

びしきに耐えうる精神の強靭さ

を身につければならないの

である。しょせん、進学塾など

というものは、そのひとつ手

段にしかすぎまい▽

『スペルタ教育』の著者、石

合、七時に起きると、八時二〇

分にスクール・バスが来て、寮

がいかなくなると、学校の方で

も困るでしょ』

る。またスクール・バスが来て

会社へ。そのまま、まっすぐ食

堂で食事をすると、一時半から

一〇時まで、六時一五分から

七時までの夕食をはさんで、仕

事。一二時消灯。

先番の場合、朝四時に起きて、五時から一時半まで、八時から八時四十五分までの朝食をはさんで、仕事。昼食のあと、二時二〇分にバスが来て学校へ。

三時に授業が始ままで、六時に終わり、またバスで会社へ。食堂で食事をして、九時まで自由

時間。九時に消灯。

自由時間は、ほとんど無い。

二時間ちょっと。

自由時間は、へやをかたづけたり、洗たくしたりしていま

す。遊びに行く人もいるけれど、そういう人は、バスから降

りないで、一宮駅まで連れていく

つてもらうの。学校さぼる人も

います。上級生になると、

門限は一〇時。でも、頼めば、もう少しおそくなれる。特

別門限一一時半。

「短大を出るまでは」

高校を出て、就職した倉敷の社員は、他の学校には行かれな

い。みんな聖徳学園に通う。

「会社のために、三部制、を作ったんだから、倉敷から生徒

がいかなくなると、学校の方で

植えの時に帰って、そのまま戻ってこなったりします

### ありませんね」 方向を変えられた不満

高卒で就職した彼女たちとは別に中卒で就職してくる人たち

校に通わせる会社に就職させるのは、中学校や高校の就職関係者の、実績のようなものになります。

「今ここでやめてしまつてはなんにもならない。短大は卒業したい。ここでやめではウエイトレスにしかなれない。例えば保育科の学生なら保母さんになりたい」

「あとサラリーからひかれるのは、会社の方でする強制的な積立貯金が、月に五千円。手もとに残るのは一万円ちょっと。

月に七、八千円くらいで暮らしてる人もいる。退職金は三年いで二万円、五年いて三万円くらい

働きながら短大に行ける、そういうことで、遠く北海道や、九州から就職してきた彼女たちは、短大を出るまでは、と思って、あるいは会社に借りた入

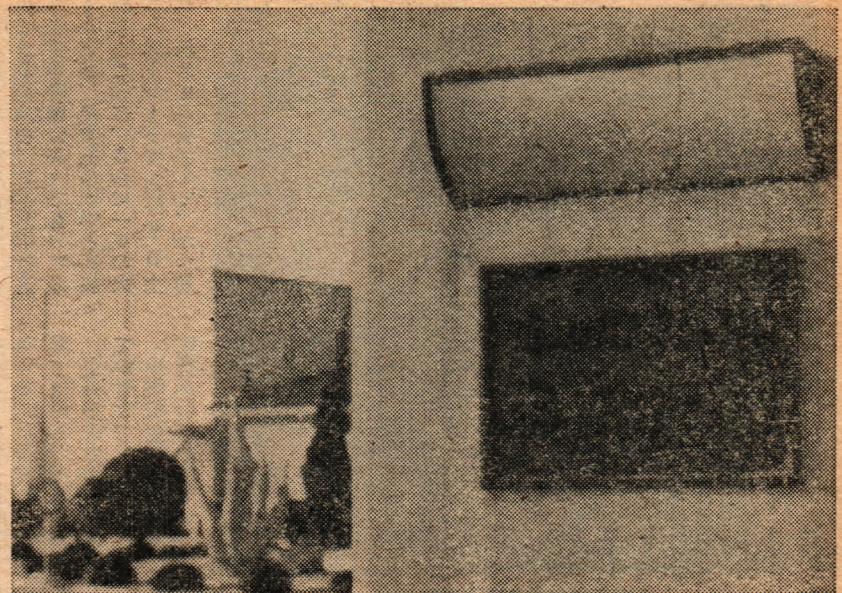
卒業からはみ出さずに、そのわく内におさまって、結局は、企業

と第三日曜、岐阜高校で行なわれる九時から四時半までの授業に四年間出席してやつと、通信高校卒の資格がとれる。高校どは名ばかりである。

「仕事がはやく終わつて、午後がすっかりあくでしょ。その時間に授業をやるの。そうすれば、ボーリングに行つたり、できないわけ」

ここでは、企業にとっては、教育は、若い従業員を確保するための手段にしかすぎなくなつてゐる。従業員の年齢が若ければ若いほど、サラリーは安くなるので、短大の卒業と同時に、ほとんどの人がやめていくことには、一人一〇万円はかかる

い。月謝その他は従業員自身に払はせてはいるので、企業には別に損はない。また働きながら、短大にあるいは、名だけでも高



倉敷紡績木曽川工場・女工哀史は昔だけ?

月謝は五千円。サラリーからひかれる。入学金が五万。会社が払つたことに、つまり入学の時に会社に五万円、借用したことにになっている。月々、千円から二千円、サラリーからひかる。ボーナスの時には、五千円から六千円ぐらい、ひかれる。

「会社をやめる時には、この

入学金の残りを、全部返さないと、やめられない。それに、結婚とか病気じゃないと、簡単にやめられないの。『あなたたちには、一人一〇万円はかかる

いる。今やめられては困る』な

んで言われて。だから、お盆やお正月や、それから農村から來る人が多いから、稲刈りや田

働きながら短大に行ける、そこの岐阜の地方祭の時だけ

「朝は寮で行進曲をかけて、

かしいんです。祭日でお休みなのは、メーデーと一〇月二三日の

ここでは、企業にとっては、教育は、若い従業員を確保するための手段にしかすぎなくなつてゐる。従業員の年齢が若ければ若いほど、サラリーは安くなるので、短大の卒業と同時に、ほとんどの人がやめていくことには、企業にとってはつづきがいい。月謝その他は従業員自身に払はせてはいるので、企業には別に損はない。また働きながら、短大にあるいは、名だけでも高

卒業からはみ出さずに、そのわく内におさまって、結局は、企業にとってつづきのいい、この自分たちをしめつけている状態を、さらにこの先続けていくことになる。抵抗するには、企業はあまりに大きく見えているのかもしれない。卒業したら、退職金が入つたら、脱け出せる時になつたら、わたしたちは脱け出す。そしてただ、後輩には、わたしたちのようないい生活はさせたくない……。その後輩たちは、どうするだろうか。今のところは、企業にぶつけられず、未来の自分の、今とはちがつた生活を考えることで、方向を変えられているこの不満は、やはり、あしたも、あさつても、今と同じように方向を変えられる続けるだろうか。

# ■日常性の 厚い壁をこえて ■座談会・反戦派教師は語る

昨秋、佐藤訪米阻止に、教壇を離れて街頭に出た反戦教師たちへ世間の非難は集中した。しかし彼らが彼らをとりまく日常性を超えて投げかけたものは、「教育」への本來的な問い合わせであったのだ。

(司会・久能 昭)

<出席者>

相川 忠亮 (反戦教師救援会)

金山 芙玖子 (大森四小)

副島 光恵 (大泉一小)

内藤 博 (大森二中)

武藤 啓司 (荻中小)

司会 ここ一・二年、日本のあちこちで、さまざまな矛盾が露出し、怒りも噴きだしているのはご承知のとおりです。

全国を一巡した大学闘争はいうまでもありませんが、最近では、高校生や中学生成までも含めた運動が、大きなうねりとなつて、日本の学校を底の方からゆさぶっている感じです。

昨年の10・11月闘争での反戦派の教師の行動もさまざまな波紋を起こしたわけです。そうした教師の投げかけた問題はいろいろあると思います。

そこで、今日は、いつも現場でいろいろな活動を積極的に行なっている先生方に集まっていただき忌憚のないディスカッションをしていただきたいと思います。

Eさん、いかがですか。

E 私は、逮捕されて、釈放になり、今、自宅研修という処分を受けているわけです。

やはり、10月から、この間、教師といふのは何なのか、今の教育機構と、教育行政といった大きなワクの中で教師がやれる最低のものは何なのかということ

です。私もよくわからないのですが、一休どこまでありうるのか、ありうるとしたらどこまでやれるのか。

もうひとつ、教師というのは、やはり子供に何かを教えるということ、つまり未来にならう子どもに対して文化の伝達をするということ、これが一面的に重要な面がありますね。聖職者意識ですが……。ほとんどの教師がそういうふうに意識しているだろうし、社会的にもだから教師は一定のワク以上のこととはやるべきじゃない。教師に対する作られたイメージというのはすごく根強いです。

だから、私自身には、教師として、参加する、ということよりもむしろ私個人として、参加するという意識があつたわけです。そうすることにより「作られた教師像」を破つて行こうとしたわけですね。

C いま、Bさんが「加害者意識」といっただけ、あの10・11月闘争で、わたしがはたしてそう考えていたか、どうか、そこは問題だと思うのですよ。全身

であの闘争にぶつかっていくという意識が、わたしの場合先行してたんだと思いますね。いろんな「教師像」が問われるけれども、わたしはそういう状況だからこそ、△教師像▽をどううち破つていくか、そのためにはどういう闘争をしなければならないか、6月決戦に戦うため



相川忠亮氏



金山美琴子氏



副島光恵氏

はないんです。それを埋める努力がいる人のぼくの課題なんだけ……。

D その前の話ね。実際問題としてね、教師の社会的地位は低いんじゃないですか。月給の面でもね。

ところが、逆にどんな社会的地位のある人でも、自分の子どもをあざけるぼくたちに「先生」とよぶでしょう。それを素直に受けとめるほうが、教師としては安全なんですね。そういう二つの間の接点に教師はいるんじゃないだろうか。そこから問題がおこると思います。

に、いま何をすべきか、そこに意識を集中しなければ、戦後の教育労働者が歩まされた状況を打破することはできないと思うんです。

一個の労働者として私はどう闘いをすすめるか……そんところが問題なのです。でないと、またものもくあみになってしまふではないでしょうか。わたしたちの闘いを通じてだけさまざまなものを作られた教師像▽をケトバスことができきると思うんですけどね……。

D 獄中からでてきた人に聞きますとね、こんなことがあるのです。つまり、自分を取調べている刑事なり、検事の顔が、自分の顔と二重うつしになってしまふがないというんですね。たとえば「支配者の顔」としてね……(笑)また、若い看守にいい年をした人が「先生、先生」というんですってね、そうすると「自分も学校でああいわれている、それは看守と全く同じ立場ではないか」と思えてしょうがなかったというんです。支配者としての立場を途端に感じちゃうわけですね。

それとね、取調べをしている検事が、

司会 神奈川の事後逮捕では、取り調べがほとんどなく、ただ「説教ばかりだった」と聞いているのですが、Eさん、取り調べは実際はどうだったんですね。たとえば「支配者の顔」としてね……(笑)また、若い看守をを受けましたね。例えば刑事がね、「なんだお前は官費で教育されたじゃないか、そういう立場にあるくせに……」とか、「教師のくせに……」とか、いやみいつも実像と虚像に悩んでいますね。つまり一人の人間としてのぼくと、職業人としてのぼくという関係ね。この二つの像のあいだにはものすごく距離があるんですよ。これを埋めなくちゃならないけれど、その間にいろんなものがあつて

か。たとえば「同じ財源から月給をもら

る人でも、自分の子どもをあざけるぼくたちに「先生」とよぶでしょう。それを素直に受けとめるほうが、教師としては安全なんですね。そういう二つの間の接点に教師はいるんじゃないだろうか。そこから問題がおこると思います。

C Fさんのいう虚像と実像ってことね。そういうふうには考えられない。実像が問題なのだと思います。父兄は、教師を尊敬なんかしていない——私が、東京でも、最も下層地帯にいるせいかもしませんが、絶対に教師を尊敬なんてしていない。また、教師は社会的になんのかと言っているようじゃ駄目なのじゃないかと思うのです。教師だって一つの労働者にすぎないし、いかに自分たちを解放するかが問題ですよね。

D 教師には極端に言うと、真理を教える任務がある。そういうふうにすることにより、子供たちが未来を築いていくてくれる。未来への肥料であり、それに徹するところで良い、それ以上のことをするなんてとんでもない。それは権力もいうカッコつき革新もいうし、そうだけれど自分が教育ゲリラとして何かやることは

ある意味では可能だと思つてゐる。

極論すれば戦争肯定をいかに能率よく教えるかということに、ある意味では相対としてきちやつてゐる。その中で一般として言えば未来に子供たちを、と言つていては駄目だと、自分としてどうしたら良いか、ということにならなければいけない。教育実践にだけかかわったのじやだめだと思ふんですね。いわば職業としてね、世の中の為意識でやつていたらかえってマイナスだと思う。そういうことを自分自身に言いきかせることだ。

広島の人たちがいろいろ書いていることのなかで多少コトバ足らずであつても一人の人間としてやつたことが、もういつべん教師という構造の中でそれとの関係を見いださざるをえない。

今まで教師の自己否定とかということがさかんに言われているわけだけれども、にもかかわらず、日常、口では革命的なことを言う、例えば、ぼくなんか、なんとなく教師の位置にはとっぷりつかつてゐるわけですね。極端に言えば、社会の表向きの姿は成り立っているわけです。象徴的には10・11月闘争に参加した、はむかってく。群馬の人からTELがかかるべきのですけれど、10月に参加した人に、警察から任意出頭がかかっている。それがたまたま新聞に出た、と



内藤 博氏



武藤 啓司氏



久能 昭氏

たんに翌日から、職務命令で本人に休ませるのではなくて、本人の授業を召しあげる、授業をさせない、という形でで

眼で見るでしょ。先生だったらこうして

かく、長男と、従属的関係にある者が教師になるんですな。そうした疎外的具体的な象徴として、胸の病いを持つ教師が

描かれています。これは、いろんな意味

そこには何ていうのかな、そこには戦前

の教師という、独特の地位におかれたものがあつたのだし、それを父兄なり、教師なり、他の労働者なりが、どう、自分

つたわけでしょ。それが、自分のやつたことが公けになつたとたんに、反日常に転化するわけです。今までの日常性であつた職場がはむかつてくるわけです。そ

こで、今までどちらかといえばあたかくつんぐくれてた日常のいろいろなものが反権力という落印をおされたこ

とによつていやおうなく、反戦派教師の眼で摘出されてくると思うんですね、これからいろいろなことが——。

幸か不幸かぼくはまだそういうことになつてないからね、ぼくには見えてないことがEさんには見えているかも知れない、という問題としてあるんじゃないかと思うんですね。

A たとえば、日本文学にあらわれた

△教師像△を例にとりましょうか。それ

はいくつかに類型化できると思う。

まず、権力の鎖につながれた存在として教師、これは言つまでもないでしょ

う。

次に社会にいろんな形で疎外された存在としての教師たとえば、いなかな

どでは、地主の次男とか三男とか、とに

かく、長男と、従属的関係にある者が教

師になるんですな。そうした疎外的具体的な象徴として、胸の病いを持つ教師が

描かれています。これは、いろんな意味

があるでしょ。社会的な地位の低さ、

というのもそのひとつの中です。にもか

かわらず常に教師は人の子を、全人格的に教化する（倫理化する）宿命を持った存在。そうしたもののが家父長的な共同体

中の存在、という像が描かれている

わけです。こうした教師像がとても暗い感じを与えていたし、このような文学にあらわれた教師像がつまりは一般社会人がイメージする△教師像△だと思いま

す。これは、基本的には戦前も戦後も変わらないんですね。それに日本の社会構

造の特徴から言って、よく言われるよう

に、学歴尊重という意識は、まだ根強い

でしょ。だから△未定の子宝△を完成し

てもらうものとして教師を見るのですね。つまり教師を道具化する。利用する

という意識しかないと。教師に親に親のエゴイズムをおしつけるわけです。

こうしたことから教師はただ「教えること」に一生懸命になればいい教師とい

ことになる。だから教師が作られたワク組みからはみ出るとやはりエゴイズムから、得手勝手に、倫理性という日本人の一番弱いところを突くのではないでしょうか。伦理性を武器にして教師をだまらせるのですよ。ところが 10・11 月闘争での教師の街頭行動がショッキンぐニュースとして流されたわけです。非難の声は日本の父兄の通念から言えば、ごく自然なんです。よく言われる日常性なんですね。これを打ち破るのは、やはり教師の日常性をいかにして打ち破るかといふ教師自身の生き方に通ずるでしょう。それが、そうした教師集団内にある日常性を打ち破る闘いを通じてのみ、親たちの△教師像▽を変えていく唯一の方法ではないでしょうか。その意味で Eさん、Cさん、Dさんなどの意見に賛成です。事実いろんな支援運動をやっていると、たとえば Eさんの学区の父兄の意識は少しづつ変わっていってることがわかります。最初は、Eさんの行動を批判してた人たちが Eさんの気持ちもわかるというようになってしまった人が多いですからね。

Eええ、それとまた別の父兄に会ったのですけれどもね。その人は、たしかに私が個人的に街頭闘争にでるのは全く正しいと言ふんですね。正しいという論理です。それに対して、子どものことなんかあるわけですよね。そういう覚悟して出たんですが、どうしても教師という職業にある以上ね、子どものことが残るんじゃないですか。それに対して、子どものことなんとか

一切考へる必要はないというんです、そ  
の父兄がね。子どものことなんか今の時  
代でね、考へてたら何もできないじゃな

れてくる方針や情勢を徹底的に討論する。そのためにはさまざまな運動がでてきますね。毎週出しつづける職場通信も

教育委員会による反戦派教師バージの論理とピッタリなんですね。神奈川の場合には、不起訴でありながら、教壇に立つ教

**A** たしかにそうですね、たとえば、鳥取の国本さんの闘いは、今は国本さんとその周辺だけではないでしょ。点の闘いから線の闘いへ、線の闘いから面の闘い

会としてやろうということが可能になつて、いつたと思います。

に鳥取などではね、そういう所で聞きいを  
拡げていった点をぼくは学びたいと思う  
んです。

の△教師像▽を変えていく唯一の方法ではないでしょうか。その意味でEさん、Cさん、Dさんなどの意見に賛成です。

それをどこで、どのようにして打ち破るものとしての話がちょっとしたのですがこの辺でもう少いいろいろな闇いを紹介していただきたいですね。教壇に帰ってどうするか、ということも含めてですね。

F 私の場合は教壇に帰った場合、どうしても自分が教育を受けた原点が何だっ

たか、から始まるのです。たとえば、わたしの旧制中学時代、戦後の一時期にあつた自由がそのまま教室の中にもあります。拘束とか管理とか、そんなものは一切なかったですね。外には闇市といふ自由の場がありましたしね。結局そこへ帰るんですよ。

そうした原点を持ちながらわたしはずっと職場にへばりついて組合からおろさ

れてくる方針や情勢を徹底的に討論する。そのためにはさまざまな運動がでてきますね。毎週出しつづける職場通信も師への弾圧が自分たち教師全体への攻撃だとスッとわかる——そうした討論にさえられて、反戦派教師全体の救援を分か会としてやろうということが可能になつてといったと思います。

**B** わたしは教育労働者の運動を新左翼のそれとのかかわり合うものとして考えたいですね。いわゆる既成の労働運動の指導では駄目だ、新しい教育労働者自身の自己解放をも可能とするような運動をつくりださねばならないと思う、それがさきに言つたような新左翼の運動とのかわり合いで六〇年代以降も嘗々としてあつた、しかし、そうした一〇年にわたる運動そのものを試練にかけ、同時に質的に転換させたものが、一〇・一月闘争だったのではないかでしょうか。したがって、やはり、直接一〇・一月闘争と、その後の権力による弾圧、処分、という事態そのものを中軸にして運動が全国的に起つてきていることを注目していくことが大切だと思うのです。自民党が二年教育三法のひとつとして提出した、教特法の改悪の延長線上に考えだした「教職特別調整額」を、先取りした形で都の教師のみに毎月千円手当てをだすと、いうものなのですが、この考え方などは

教育委員会による反戦派教師バージの論理とピッタリなんですね。神奈川の場合は、不起訴でありながら、教壇に立つ教師の場合は懲戒免、事務職員の場合は、停職という分断的処分が出された、これなども毎日千円手当てをだす思想を固定化し、エスカレートするものだということです。こうした権力側の全力をあげた攻撃と、ぼくたちの側の闘いが真正面からぶつかったところに、さまざまな闘いが起ってきています。たとえば五人の広島の教師が逮捕・免職されることによって「五人の教師を守る会」が多くの妨害、弾圧の中からつくりだされ、やがて全県にまたがる、大きな組織となり組合の中に浸透してひとつの勢力となっている。静岡では富士地区コンビナート建設反対運動をやっている人たちが「山口教諭を中心とする会」に積極的に参加しているのがひとつ特色です。ともに国家権力と直接に対決しているわけです。その他神奈川での、ユニークな文書活動と職場闘争がさまざまの市民ど、ともに立ちあがる例、Aさんがちょっとふれた鳥取での闘い、それに大泉での市民の会のエネルギー・シミュ校区を中心としたビル入れ、対話路面といふ一本のきずなができるつあると思います。

ほど簡単ではないと思いますが……。私たちが知りたいのは教室でどう闘う

か、教員室でどう活動するかそのへんのところが知りたいのですが、何かないのでしょうか。

E 教室で何かやる、たしかに私自身も、私自身でありたいわけなんだけれども、教室での管理の問題がすぐでできましたね。私自身、教室にいた時には、反戦行動について疑惑を感じるわけですよ、それと教育内容についてどういう内容を教えるかという問題にぶつかる時、今の教育体系そのものを、全面的に考え直す必要があるんじゃないかと思うのです。たとえば、教科別にわけられていて、そういうこともやはりもう一度、検討する必要があるでしょう。また教室の中でも私が教育をするということが、社会的総体を考えてどういう位置にあるのかもう少しゲンミツにはっきりさせる必要があるんじゃないかと思います。教師は、教育をとおして何かができるという意見が総体としてあるわけですよね。ほとんど大半の教師がそう思っているのです。だから教師は教育というものを絶対ぬきにしてはならないんではないか、そういう大前提のもとに、さまざまな制約がでてくるでしょう。わたしはそれ自身をつきやぶる中でしか、まずそこをつきやぶらなきや、という感じが強くするですがねただ、教師がおかれている状態の中でどこまでできるのかちょっと自信がないんですけれど。

司会 わたしが小学校のころを思いだ

して一番楽しかったのは、ある教科書、郷土史の教科書を習ったことでした。それは教師集団が自らが作った教科書だったのですが、考古学の考え方を科学的に入れて、古墳を学ぶという作業だったと思うのです。今、考えてみると唯物史観がその教科書には完徹していたのではないのか、とにかくすごく科学的だったんですね。そういうもの天皇制教育のはなしやかなりしころに教わったのですね、それは、その教師集団が小なりといえども日本帝国の対抗物としてあったのじゃないでしょうか。それはひとつ大きな教師集団の実力がそうさせたのだと考えるんで、私はそういう何かを反戦派の教師に期待したいと思うんですが——。

C 私のはそれほどではないんですけども……。

たとえば小学二年生の教科書に、「おまわりさん」の話がでてくるわけです。そもそも、夜を問わず、私たち市民の安全を守っているのはおまわりさんだ、といふだし方で、でてくるのです。私、しょくだから、一応は読むけれども、一七年のメーデー事件をとりあげて子どもにはなしてきかせるのです。たとえば国民の命を守る人が、逆に国民を殺してしまった。今年になつたら、私に全く関係ない、いろんな事に無関心な教師を全部配属して私を孤立させたつもりでいるんですよ(笑)。だからそれで、やつぱりそれでヘタバってはいけない、どう私の運動を組織化していくか、それが問題です。それから始めなければいくら教科書が良くったって——そんな教科書、今、ありませんけれどね——何も教えられない、Eさんです。

ことですよ、だけど先生そんなこと教われたのですが、考古学の考え方を科学的に入れて、古墳を学ぶという作業だったと思ふのです。今、考えてみると唯物史観がその教科書には完徹していたのではないのか、とにかくすごく科学的だったんですね。そういうもの天皇制教育のはなしやかなりしころに教わったのですね、それは、その教師集団が小なりといえども日本帝国の対抗物としてあったのじゃないでしょうか。それはひとつ大きな教師集団の実力がそうさせたのだと考えるんで、私はそういう何かを反戦派の教師に期待したいと思うんですが——。

たとえば小学二年生の教科書に、「おまわりさん」の話がでてくるわけです。そもそも、夜を問わず、私たち市民の安全を守っているのはおまわりさんだ、といふだし方で、でてくるのです。私、しょくだから、一応は読むけれども、一七年のメーデー事件をとりあげて子どもにはなしてきかせるのです。たとえば国民の命を守る人が、逆に国民を殺してしまった。今年になつたら、私に全く関係ない、いろんな事に無関心な教師を全部配属して私を孤立させたつもりでいるんですよ(笑)。だからそれで、やつぱりそれでヘタバってはいけない、どう私の運動を組織化していくか、それが問題です。それから始めなければいくら教科書が良くったって——そんな教科書、今、ありませんけれどね——何も教えられない、Eさんです。

言っていた「私自身」に帰ることすらできないですよ。

「それに私がいくら体系的に、組織的に、ある事実の正確な認識を教えようとしても、地域を組織化しないかぎり、私の闘いは敗れるわけです。

いくら、教育の帝国主義的再編とか何とか言われても、まず私は、私の日常性を破る闘いとして、私の職場と地域のラジカルな闘いをやらなければ……と思うのですけれど。

A そこでCさんは徹底的に階級闘争までもっていくという言葉を続けたいんでしょ……(笑)

C いや、そういうわけじゃないんだけど……。わりと合法って言つたらおかしいけど、Aさんの思つているようにワタシ、ワルイコトばかりしてるとんではないですよ(笑)たとえばね、沖縄に行ってきたんです、なんとか沖縄を教えようとして学年主任にかけあうわけですね。

事実、一年間、それをやつたんですけどね、結果は、サンタントするものでした。今年になつたら、私に全く関係ない、いろんな事に無関心な教師を全部配属して私を孤立させたつもりでいるんですよ(笑)。事実、五・六〇人の父兄の前で沖縄でとつてきましたスライドを見せながら、現実の沖縄を話していくわけですよ。みなさん笑うけど、こういう闘いを通して、どう全体の闘いへ止揚していくか、そういうことが、私たちの解放とどこかで結びつくと思うのだけど……。

司会 いやはや、話はつきないけれどね。まずはこのへんで一応終りたいと思いま

# 造反学生との対話

去年の秋ごろから、さまざまな形で中学生の運動への参加がめだってきて

——そうすると、安保の年は、何をしていたのだろうか。

**A B**  
あまり、ぼくには記憶ない  
なにも知らされていなかつ

**A** なんといつても、ほくは、安田シヨックだと思う。ぼくは、パリの中へ写真

三十人から五十人の中学生の参加があります。彼らは、いったい何を感じ、

いなかつた。安保反対と自分で言つたのをおぼえている。

脱走とか、佐世保へのエンタープライズ入港なんていうのがあったけど。

編集部は、その中のもっとも戦闘的だと思われる中学生たちに数回にわたつ

いわゆる新左翼関係なんだ。映画の仕事をして、もう六十歳近いんだ。

やないかな、とは思っていたけど、学校へ行つたら、忘れちやう。

みました。ここにあらわれている彼らの感じ方、考え方が、運動に積極的に

——六十七年十月というのは、何年生だ  
ったの。

**A** 事件について。家では、話題になつたの  
何にもならなかつた。

数的なものとは思っていません。またもちろん、運動にまったく関係してい

C テレビを見ていて、全学連って悪い  
いた。

——おととしの十・二一の時は。

ているかもしれません。しかし、彼らの発言のいくつかの部分が、現在の体

って言われたのを、おぼえている。それ  
で、うちの家はほかの家と少しちがうの

た。あぶないからと言つて。  
——本なんか、読む。小説なんか。

事実だと思います。

卷之三

一  
六

**B A** 昭和二十九年生れ。  
昭和二十九年生れで

67

卷之三

C 昭和三十一年。

は、みんなで話し合いをする時間でしょう。それなのに教師が勝手に自分たちに都合のいいように使うので、そのことに抗議した。映画なんかやるので、途中で電灯をつけ、話し合いを始めたり、でも教師に外へつれ出された。そういうことがたびたびあった。

いろんな問題について、前から疑問に思っていたから、ホーム・ルームだけがキッカケじゃないみたいな感じ。

——いろんな問題って具体的にどんな問題なの？

そうだな。おれんとこの学校なんかじゃ、文化祭の発表なんかで、沖縄問題なんかを取りあげると、先公がああだこうだと干渉するんだ。おれなんかが、本を読んで調べたことが、ちょっと“政治的”だとつぶされちゃうんだ。もし発表できたとしても、帝国主義、なんという、単語がでてくると、スッ飛んてきて、撤回を要求するんだ。

E 運動をやっているとは言えないわ。

でも、なんかしなければいけないと思つたのは、ペ平連に刺激されてからね。

わたし、どうしたらいいのかわからな

いのよ。なんとなく中学校生活に不満なもの。ボヤーッとしていて、みんな大人一先生や親に吸いとられていく感じなんだなあ。だから、反発でやっている感じもあるわ。

B ぼくは、沖縄だな、最初すごく「かわいそだな」と思つたんだ。同じ民族

ど、海外旅行のことや、理科の実験發

表みたいのは、なんにも文句をつけないどころか、逆に「彼らを、みならえ」なんていう。

E わたしのところは、みんなの逆なの。（学生運動）のことをやるって、先生のところに言いにいったら。「おもしろいからやりなさい。先生も協力するから。」っていうの。なんていったらしいのかしら……先生となれあいになってしまつて、今のなんとなくフワフワしたブル的生活をかえりみないで、バカみたいに人間になってしまったみたい。

——Eさんは、女子中学なんですよ。運動をはじめた動機はなんなの。

E 運動をやっているとは言えないわ。

でも、なんかしなければいけないと思つたのは、ペ平連に刺激されてからね。

わたし、どうしたらいいのかわからな

いのよ。なんとなく中学校生活に不満なもの。ボヤーッとしていて、みんな大人一

先生や親に吸いとられていく感じなんだなあ。だから、反発でやっている感じもあるわ。

B ぼくは、沖縄だな、最初すごく「か

わいそだな」と思つたんだ。同じ民族

D ポスターや集会については、校長の

として、返還の必要を感じたんだ、中学の頃だった。それから、去年の四月頃から新宿西口のフォーク集会にもいってい

たんだ。五月十七日だったかな。機動隊が来た時、なんか割りきれないものを感じたんだ。それから七月二〇日の週刊アンボのデモに行ったんだけど、すごく「無駄だな」という気がして、ペ平連の集会には行くなかった。ペ平連というよりデモや集会にかもしれない。その後十一月の末までデモに行かなかつたんだけど、十一月闘争を見てやっぱりシックリこなかつたんだ。学校では今まで何もしていないし、おとなしくしているけれどね。

今年の一月に入つてから反戦高協の人達と一緒に読書会をやつたんだけど、そこでも、セクトだけで、運動はできないといふ気がしてきたんだ。

A 親とか、家族との関係はどうなので

すか。

B うちの親父は無口だから、しゃべらない。

A 今は、もうあまり言わない。いろい

ろ派手にやつたから。おふくろは、家の中をあまりごちゃごちゃにしないでくれとか。

——いろいろ派手にやつたって何をやつたの。

A 質問の意味がよくわからなければ

いい。

B ごはん食べるのを拒否したり。うち

検閲許可が必要なんだ。

A 西口のフォーク集会の、ソノ・シートを持ってきて歌を唱つたり、ギターを弾いていると「やめろ」という。「なんでやめる必要があるのか」と言うと、

まるでトンチンカンな返事がもどつてくまじめにやれとかなんとかいうので、「はじめてやる」ということはどうすることなのか」と聞くと、「普通の生活をしろ、君のために言つているんだ。」

じゃあ、「普通の生活ってどんなんですか」と返すと、「変なバッヂをつけたり、歌を唱わないことだ。」といふ。「われたちは、はじめてバッヂをつけているし唱つているんだ」というと、「なまいきだ」ということになる。



の親父はアメ帝だから、良心のかしゃくを感じて、やだって。単純だけれど。

そしたら体に悪いから食つてくれつて。

B いいな、うちなんかすぐ出ていくつて言う。

——会社をやめろと言つもりなか。

A やめろとはいわないけど。アメリカ系の会社だから。抗議行動なんだ。

父は学歴もないし、やめたら食つていけない、それに自分の会社は、戦争目的のための製品を作っているだけじゃないと話した。バリもやつた。ぼくの部屋の戸につくえとかイスをたてかけて、針金でしばって。

——家では、そういう話そんなにしないわけ。

B 一応いろいろなことやつているの知つてあるらしいけれど、ようするに学校へ行つて勉強して家にまじめに帰れば、文句は言われない。

——矛盾しているんじゃないの。さっきまでいってたことと。

G だから、そのぼくらは、いろんな不自由のなかで生きているから、自分をたもてないわけですよ。自分のなかで欲しいと思う規則のなかでこそ、本当に自由にやつていけるんじゃないですか。今、ぼくらのまわりにある規律は、与えられたものとしてあるし、それを無批判にとらえることにこそ問題があるんだと思います。

H ——もっと一般的に聞くと、どんな人が好き?

A 人間解放だな。一番最後の目的は、何をやつていたの、部屋の中で、本とか、マルクスの本とか、それに、少年サンデー。

——それで今、お金をどうしているの。

A やるなら徹底的にやつ。

——それで今、お金をどうしているの。

A やるなら徹底的にやつて親父が言うから。

——少し甘くないのかな。働くということは考えていないの。

A ぼくも労働戦線に入ろうと思つて考えてみたんだけれど、それだけの力量はないし。

B あなたの方は、どうですか。

——あなたは、どうです。

D 今まで以上にきびしい規律——「革命の鉄槌」みたいなもので、労働者階級の再編成をして……。

B どうやってやるのかい。

C どうやってやるのかい。

H だから、そのぼくらは、いろんな不自由のなかで生きているから、自分をたもてないわけですよ。自分のなかで欲しいと思う規則のなかでこそ、本当に自由にやつていけるんじゃないですか。今、ぼくらのまわりにある規律は、与えられたものとしてあるし、それを無批判にとらえることにこそ問題があるんだと思います。

A ——あなたたちは、やはり労働者の武装といふことを考えているのか。

A 彼らが力をを持って弾圧してくるのなら力でもって押し返さなくてはならないと思う。

A あなたたちも銃を持つのか。

A 誠実、な人間——自己に忠実であるといった意味での「誠実」な人が好きです。でも、いわゆる「まじめ」人間つ

——あなたたちも銃を持つのか。

A 銃なら女子供でも打てる。

A だいたい、ふつうの中学生の男が話していること

——あなたたちも銃を持つのか。

てイヤーネ。自己に忠実である人って、すごく革命のニオイがして素適だと思います。どういう風にいったらいいのかわかんないんだけど、エゴを、全體のエゴとして高めることが革命運動だっていう気がするの。エゴって汚い感じじゃない。自分のためにいつていう意識ね。でも、汚いからこそ美しいんだと思う——。

——どうして、革命を起さなくちゃならないのか。

C 今、世界には、支配と被支配があるわけでしょう。そういう階級的対立がっては、いけない。

——他人事として言つてゐるよう感じられるけれど、自分自身にとつて、革命というのは、どういう意味か。少し公式的な感じがするな。

あなたたちは、やはり労働者の武装といふことを考えているのか。

A 彼らが力をを持って弾圧してくるのなら力でもって押し返さなくてはならないと思う。

A あなたたちも銃を持つのか。

A 銃なら女子供でも打てる。

A だいたい、ふつうの中学生の男が話していること

——あなたたちも銃を持つのか。

A だいたい、ふつうの中学生の男が話していること

——あなたたちも銃を持つのか。



とぐらいいだな。

## 親と子の最低限の関係

中学生は、肉体的にも精神的にもまだ子供

まだ早すぎる。今は、もっと勉強せよ。と言われたら、何と答えるのか。

B 一人の人間としてやっているのだから、大人も子供もない、と思う。

A ようするに、そういう人の言う勉強とは、何なんだろうか。高校に入るための、大学に入るための勉強なんだ。

—運動を始めてから、成績はどうなっている。

C いく分、落ち気味だな。

B うちの親父によれば、中学生の時は、一応学校の勉強をやっておけば、基本的な学力は身につくと言うんだ。

A それなら、学校へ行かなくとも出来る。

—高校へ入るのは、高校で運動するためか。

### 日大全共闘へ再び右翼のテロ

二月二五日十時半ごろ、日大商学部

記者会見を行ない、右翼学生のテロに対し抗議した。それとともに、日大闘争の再爆発に向かって、闘いを開始すること

を確認した。

なお中村克巳君の容態は、二六日午後三時現在、左前頭部の三センチ四方のか

んばつ骨折のため、頭は完全に死亡の状態。自発呼吸はなく血圧は六〇、回復の見込みは、きわめてうすいという。証人、医者の証言によれば、警察の発表の、電車との接触によるキズではなく、右翼の一踏切りの側に倒れた。日大全共闘は、この事件について、二月二六日午後、

い。糟谷君の場合と同じように、警察側の発表は、故意に事実を曲げているようと思われる。

テロをかけた右翼学生らからは逮捕者が出ておらず、このことは警察権力との結びつきを一層明らかにした。



Mitau.

子の最低限の関係を自分から放棄したものだと思う。

—親があなたにお金をくれたり、世話をしてくれるのに、当然だと思うの。

B ぼくは当然だとは思わない。自分自身つまり親を食っているんだと思う。一面では、親を食っているのだけれど、やっぱり自分が眞に人間らしく生きたいと思っているから、しかたがないと思う。

—親は本当に心から心配しているんだと思うけれど、そのことにに関して、どう思っているか?

A 悪いことをしているとは思わないけれど、そういう考え方でいくとぼくたちは、今ある体制の中に生きているのだから、こういう運動をしていればすべてに「すまない」ということになつて、川に身を投げて死ななくてはならなくな

る。

としては働く。

—だけど、親としては、金ださないと君が働かなくちゃならないというし、それは、かわいそうだから。

B 当然、ぼくらは、それを利用して闘争を利用したい。

A それは、矛盾でナンセンスだ。

—利用するだけか。それだけか。自分が親の立場に身を置いてみたことなんかはない。

B 当然ある。自分としては、もしぼくが親になつたら、闘争している者の足はひっぱりたくない。

—しかし、今のところ本当は足をひっぱっていると同時に、ずい分、君たちには、それを利用すると言つていては、それは、それを利用すると言つていては、それが単なる甘えかもしれないよ。

かせいでもいないくせに、たいした知識もないくせに、大きなことを言うなと言うわけだ。親は、

A だけど、親がもしお金を出すのがいやなら、ぼく



で先生が「左側通行の駅の階段で、もし右側を通っていいか」って聞いたんです。私は「かまわない」という方に手をあげたんですが、先生は「いけない」って言うんですね。そのとき、私は「規則と人間とどちらが先なんですか」と言ったのを覚えています。その頃は家庭環境のためか、上ぼきで外に出たり、割と無節操だったんです。先生や同級生からHRなんかで非難されて、中学にはいる頃から秩序派になるよう努めたんだけど、それもいろいろ言われるのがめんどくさかったからだと思います。

生徒の自由を規制するな

る教師がいたりして、考えはじめたんで  
す。P.T.A.が校内で宴会をやるのを妨害  
しようとして担任の教師から「立場がま  
ずくなるからやめる」と言わされたのが決  
定的だったんですね。僕たちの中学生では  
中卒で働く人も多かったから「なぜ高

校に行くのか」についても考えてみたけれど、わからないままなんとなく行くことになりました。学校群制度の方は別に意識的にはみなかつたですね。

せんので、自分だけか、小人数のグループで動いていました。それから、ショーンハウエルをかじりましてニヒリストにあこがれましたね。生徒会の役員として、遅刻を取り締まったり、一方では、学校が名札をつけさせようとするのを反対したりしましたのは、まじめで自

を覚えています。その頃は家庭環境のためか、上ぼきで外に出たり、割と無節操だったんですね。先生や同級生からHRなんかで非難され、中学にはいる頃から秩序派になるよう努めたんだけど、それもいろいろ言われるのがめんどくさかったからだと思います。

陽子、附中のみんななれ合いの校舎かい  
やだったの。職員室で教師と話したりす  
る人も多かったけど、私は意識的にそれ  
を避けて二年生のまま一ぱいの先

で社会的意識はなかつたけど奥浩平個人をステキだな、と思つてたの。それから、今も活動しているけど、はつきり学校批判をやる人がいてさ、私も環境に反発を感じてたので、個性的でいいなと思っていたの。学校群に対しては何とも感じなかつたわ。都立に行きたかっただけど、親や教師が勧めるので、なんとなく高校も附属に行つたの。「なんとなく」そんな感じね。

類感に日共の人がいてマルクスとか共産主義についていろいろ教えてもらいました。その後自分で興味をもって「國家と革命」や新書なども読んだり、作文に、人間がお金に使われているのだからお金をなくせばいい』って書いたこともあります。その頃はやっぱり知識の段階にとどまっていたんだけど、それでも『戦争はいけないけど革命はいいんだ』って漠然と考えていました。それに、思想というものは乗り越えられて行くものであって、資本主義と社会主義を並列するのにはおかしい、とか。

ただ、抽象的に考えるだけで、新聞も読まなかつたし、新聞記者に「受験は苦

自主規制委員会みたいなもので、あるときやっぱり教師の指図だったと思うんで  
すが、えりまきをやめよう」ということを  
決められたんです。そのとき先生に  
「生徒の自由を規制するな」って言いに  
行ったら「自治委員会は生徒のためにあ  
るのではない」と言わされました。

「いりれに一生物に一回くらひとんないに苦しいことがあつてもいいんじやないかしら」なんて答えたんです。模擬テストではずっと一番、学校群制度についてもそれほど考えなかつたし。結局、レーニンなんかを読んだのも、まじめない生徒でありたい、しっかりした思想を知りたいというところからきたのでしょう。

う。いやだつたな。姉さんの通つていた  
深沢高校に行けないかも知れない、とい  
う単純な理由だつたんだけどさ。  
日野　学校群制度は失敗が目にみえてい  
ると思つたし、当時の教育長はバカなや  
つだと考えていたヨ。

「旅へ出よー

おとなしい子供でしたし、どういうことがらでも発言したり、行動したりはしませんでした。6年になりましたて東京に転校しましたり、高田馬場の進学塾に通いましたりするところからですね、このままではいけないなと考えまして、中学にはいってからは、わざとたくさんのクラブにはいりましたり、級長に立候補しましたり、とにかく意識的に行動し始めました。福岡の中学へ転校しましたてもそうでした。ただ、人見知りする性格は変わらず、政治的手腕や感覚がないことは、まますますはっきりと意識していました。生徒会の仕事をしても統率力がありま

涼 俊平太を除いては、みんな大きな環境の変化を経験していないことに注目したい。また、附属へ行った人のほかは、中学校までは、学校の存在あるいは学校の中の自分の存在がどういう意味を持つか、といったことはほとんど考えなかつたといえる。むしろ、教科書の内容とか、教育制度とかよりも、環境や人間関係によって、人は“教育される”的ではないか。そうだとすれば、現在のいわゆる“教育問題”は“問題”的所在から考へ直さなければいけない。もちろん、出席した人がほとんど、東京に住んでいるということも、考えにいれなければいけ

ない。地方の狭い地域社会では、小学校から一貫して教科書の知識よりはかに刺激がない、ということも考えられる。この場合も、教科書の内容よりむしろ、環境の問題だ。

それから、僕個人にとって意外だったのは、ほとんどの人が、遠い所へ引っ越したり、転校したり、長い旅行へ出たりあるいは一人で旅行したり、そんな経験を、現在に至るまで持っていないという

ことだ。高校の話は、これからだが、僕のいた地方の高校では、二割ほどは下宿している者がいたし、みんな、よく旅行していた。それは高校としては珍しいケースだったのだろうか。だとすれば、去年の11月末、青高全共闘黒木コ派の「旅へ出よ！」という宣言は、全く正しい方針だった、と思う。なお、念のために言つておけば、全員が公立高校の普通科の生徒だ。

## 知識を行動に移して

陽子 自分も附属へはいったくせに、こ

んな高校へ来る生徒はダメだ、なんて思つて、最初からおもしろくなかったし友達もできなかつた。それに、サボることも覚えて、一年の三学期なんて、20日くらい休んじゃつた。だけど、二年になつてから要領が良くなつたといふか、適当にやつていけたの。

だけど附属って意外とひどいのよ。君が代を歌わせる教師がいたり、倫社の教師なんて、生長の家、だし、それから、学級日誌つてのがあって、それに和歌を書かせて採点するのよ。私は日誌をつけるのは好きだったけど。

それから、二週間に一回、学校が集会をやるの、ちょうど中学校の朝礼みたいだ。生徒は交代で週番になって、風紀とか礼儀とかみてまわって、集会のとき、週番が号令かけたり、成績の悪いクラス

を発表したりするの。

教師に対する反発はすごくあつたわ、反発というか、教師の存在が邪魔になるつて感じね。自分の生活や惰性をひきずつて私の目の前に現われるものがいやだつたのかな。だから、意識的に礼なんてしなかつたし、できるだけ、目を合わせないようにしてた、ほんとに「顔なんか見たくもない」ってわけ。

自分で何かやろうとしたのは、3年になつて新宿のフォーラーク集会に行ってみたところから。教師に土曜日の帰宅時間を調べられて、個人直接に呼び出されたりしたけど……。6・15なんか、個人的に集会に行つたりして、反戦高協にあこがれたり、とにかく、卒業するまでに何かやらなければ、という気がしてきました。

野間 高校に入學して、すぐ社会部に入ったのは、やっぱり中学のときに、そん

なことを考えていました。社会部で現実のいろんな問題を知つて、とても感動しました。砂川闘争で実力闘争を実感して感じたし、交換学生やビラ、ポスター闘争なんかで、はじめて、知識を行動に移して人に働きかけることを知つたんです。

○ 中学まではわりと友達もいたんだけど、高校にはいって環境が変わっちゃつて三年間とうとう友達はできなかつた。2年になるとき、クラスがえがあつたんで、意識的に友達をつくろうとした

んだけど、表面的なつき合いに終わっちやつた。

### 何でもいいから

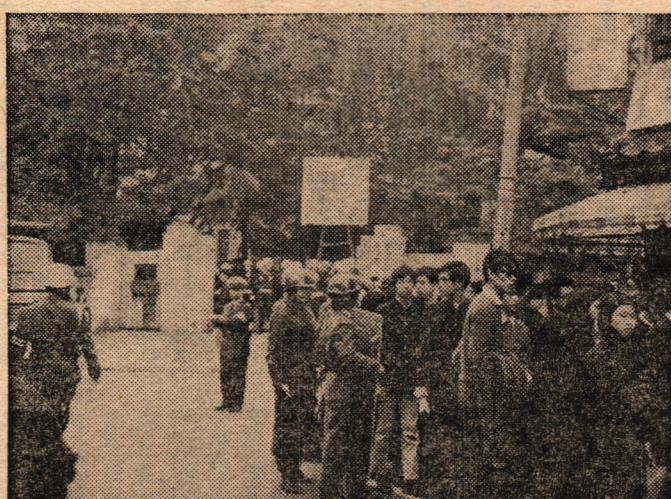
田村 高校に入つてからも二年の中ごろまではクラブだけといった感じでした。城南大会で優勝してそこで剣道部をやめたんですが、運動部だったせいか文化部には反感みたいなものがありました。特に社研、新聞部、演劇部などにものすごい嫌悪感みたいなものを感じていて、佐世保だ、エンプラだ、羽田だなんていつても

感覚的な反発が先にきてとにかくきらいでした。かっこがりみたいな気がして

だから反戦会議ができるも「またあいつらやってるな」といった感じでした。

クラブをやめたあといろいろあって、それから急に勉強するようになります

た。二年の冬の学研の模試で全国で19番になつてそのあと闘争をはじめたんですね。その時は、「なんでもいい、とにかくにかに夢中になりたい」といった感じでした。4・28の街頭闘争の時、僕は大高連や地方の学友と一緒に闘つていたんですが一人ガス弾を腕に受けたんです。そのあとで僕



昨年秋、学芸大附属高正門前の一コマ

も直撃を受けてしばらく失明状態を続けたんですがその時も地方から来た学友のことばかり考えていました。学内で教師や両親、それに級友まで敵にして孤立した闘いを続けてきた僕にとって地方から来た名前も知らぬ友を本当に同志として感じました。

### 感覚的なもの

俊平太 中学のとき、九大生から家庭教師をやってもらいまして、若干の唯物史観を聞かされたりしたのですけど、なるほどそうですね、というだけで自分とどういう関係があるのかわからなかつたのです。高校にあがるときから下宿しまして、その下宿したということ、入学と同時に新聞部にはいりましたことが、だいぶ自分を変えたという気がします。

## 教育問題なんかしらじらしい

一年の冬、新聞部の先輩に誘われましてエンプラ闘争を見に佐世保へ行きましたが、結局、そのときは单なるヤジウマに終わってしまったのです。その後、同じ先輩の誘いで、高校反戦なる運動をなんとなく始めまして、その「なんとかく」というのは、反体制運動を始める契機が自分にとって何なのか、もう一つはつきりしなくて、それは今でもそうなのです。社会がおかしいということはわかりますが、自分自身、ほんとに矛盾を感じていますかどうか、疑問なのです。

日野 高校にはいって一年のときからだな、HR闘争が始まつたのは。そのあと

の経過はもう何度もしゃべって、いやになつた。

ダンボ 高校に入りいろんなことを知りたくて社会部に入ったんです。一年の秋に10・8羽田闘争があつて、山崎君追悼集会に初めていったんです。その後闘争には反戦高協の一員としてほとんど参加し、校内に反戦会議もつくつたりした

が、三年の初めに、科学、というものに対する疑問からセクトからは離れたんです。二年の時、教育問題に関しては義務として政治的に理論化してみたが実感としてはピンとこなかった。階級闘争の中で位置づけは困難ではないでしょうか。理由づけはいくらでもできるかも知れませんが、それは理由づけにすぎない

野間 教育とは何か、なんていうのは全く現実から遊離した発想だと思いませんが、結局、そのときは单なるヤジウマです。現実に校門突撃闘争をやっている者にとって、教育問題云々など、とてもしんどさ、教育の関係と人間関係とは切り離せないとか、そんなことになっちゃって結論はでないのよ。それによると、人間関係にしどころではじめて解放高校のイメージなど、これは個別の一切を認識して、一つ一つの対象に自分をぶつけていくこと。対象は闘争に限らずどこにでもあると思います。

ダンボ 人を個別にみる場合と、普遍性に基づいて行動する個人の行動は一致しないし、運動や集団が個人を越えた権力を握るのが恐いんです。これからやりたいことは、個別的一切を認識して、一つ一つの対象に自分をぶつけていくこと。田村 闘争を経て歴史にしても、重要なことを確認したけど、これまで受けた教育はあまり役に立たないでしょ。大学に行くことを言いわけしようとするが何とでも言えるけど、左翼の公式見解を言ってみたところで、自分にとって、ほんとに言いわけに過ぎない感じがします。青山高校には、教育者になりたい、という人が多かったけど、どういう教育者になつたらいいか、ということになる

野間 はいなかのモヤモヤした感覚的な反発のような氣がするんです。大学にはいかないで家の手伝いをするつもりです。大学にいっても何もないような気がするんです。何か新しいものがあれば別ですが、ただ、いかないということに関しても積極的な理由はありません。そのことに限らず理論的支柱なりバクになりはいまのところみつきりません。いまインド思想や民族学、特に柳田國男等に興味があるんです。体系的にはないが断片的にその中からなにかみつかるのではないかというような気がするんです。

谷山 大学へ行くのは将来ラクにやれるだろうとか、遊べるとか、僕の場合はラグビーをやりたいんだけど、たいした理由はないし、行かないやつにしてもかかるからとかとたいした理由はないんじゃないかな。大学になぜ行くのかなんて、問題にすること自体ナンセンス

けないんであつて、教育そのものを疑うことから始めなければいけない。僕自身は大学へ行くつもりですよ。

とにかく、血のにおいの欠落した論議は無意味だし、僕は血のにおいの復権のために闘つた。それは教育問題のようないくつかは語れない。

0 高校で裏切られたから、大学には何も期待していないけど、絵の技術を身につけるために行こうと思う。それから、高校で何もできなかつたから、大学でこそ何かやってやろうという気持はあるかもしれない。

# 資料別冊

## 此れは高校生の政治活動に関する静岡県教育委員会の見解である。

資料

この資料は、静岡県のある高校で発見されたものである。静岡県では、有名な(?)掛西高アスパック処分をはじめ、藤枝東高、富士宮東高等、悪らつかつ巧妙な処分による闘争虐殺が、昨年より相ついで起こり、そのすべてが、この見解によるものであることは明らかだ。

一般的には、規定のもの以外は身につけることは慎まなければならない旨を説いて、教育的に指導をする。

導することが考えられる。さらに、場合によっては特定の政治団体を支持し、他によりかけることになるので、教育的政治的中立をおかす危険性がある。

6 政治的な募金などをはじめたらどうするか。

生徒からこのようないがでたり行動にてたときには、その生徒に対し教育的立場から説得すべきである。なお、この

8 政治的色彩のつよい団体の主催する音楽会、スポーツの会、ハイキングなどへの参加の許可願の申し出があつたらどうするか。

参加の許可願の申し出があれば、高校生のまだ考へのかたまらない者がそのような催しに参加するのは好ましくない旨を説得して、教育的に指導することが望ましい。このような会を察知したとき何らかの方法で参加者を確認し、事後に個別指導するしか手がないと思われる。

7 政治的にかたよった記事(例えは反戦記事)を校内に掲示したらどうするか。

無許可掲示はいかなる内容のものでも直ちにはぎとる一般原則を適用すればよい。もし掲示承認を求めてきたり、掲示をはぎとった理由を追求してきた場合に

9 政治問題について生徒が報道機関に投書などをしたらどうするか。

投書した生徒が判明してきたときは、その生徒からどんな考え方で投書したかを

### 第二節 生徒の個人指導の方法

#### 1 政治集会参加の許可願を申し出てきたらどうするか。政治集会などに無断で参加したらどうするか。

政治集会参加の申し出があった場合、高校生としてはまず基本的なことを学ぶこと、教育的政治的中立性の立場から指導することがたいせつで、選挙権のない未成年のうちから政治行動にすることは教育上望ましくない点を納得させた上でこのような集会に参加させないようにホールム担任、生徒課職員等何人かの係員をもって、くりかえし根気よく指導することが望ましい。

#### 2 政治的「よびかけ」のピラをもらつた生徒の指導をどうするか。

まず、ピラをもらった生徒を集め、それをどう思ふかを聞く。無関心であつたり、そのような「よびかけ」に批判的な生徒はそのままよいが、それに応じようとする生徒には、未成年のうちはま

#### 3 校内に政治団体ができたという、うわさがある時の处置はどうするか。

その無許可団体を校則違反で解散させる。さらに重要なことは、該当の生徒の言動については注意深く観察し、事後指導を怠らないことである。

#### 4 先輩や社会人がクラブなどの啓蒙をはじめたらどうするか。

出入りの際玄関の受付簿に氏名を記入させたり、クラブ日誌を提出させるなどして、誰が来たか明瞭にすることも一つの予防になると思われる。顧問教師はクラブ活動日誌等により察知したときは、直ちに生徒会役員なりクラブ員とその話をされた内容をただし、感想を聞いて事後の指導をすることがたいせつである。

#### 5 特定の政治的色彩をもつた(例えは反戦バッジをつけた)生徒がいたらどうするか。

政治的「よびかけ」のピラをもらつた生徒の指導をどうするか。

聞き、未成年でまだかたまつていな、これから基本的なものを学ぶ立場にある

生徒がこのようない行動ですることは、厳に慎まなければならないことを説得する必要がある。また投書した生徒が判明しないときは、朝礼もしくはホームルームの際に一般的な発言のしかたで軽率な行動でないよう注意を促すべきである。

10 指導に対し、生徒が憲法上保障されている「表現の自由」（集会・結社・言論・出版の自由）を主張してきたらどうするか。

学校の校則の規制をきかないで、デモをしたりはり紙をしたり、集会をする表現の自由は一般国民より制限されるのであって、その点は明確に指導する必要がある。

高校生はまず基本的なことを学ぶことに専念すべきであり、生徒の本分を逸脱した行動に出ることは早すぎるという論拠で教育指導する。

高校生は義務教育ではないのだから学問を志す者だけが入学するところである。そのため、親に多額な学費を払わせ、働いて家計を助ける義務を免除され勉強をさせてもらえるありがたい身分であることを知らせ、このような勉学中の身で政治的行動にはすることを慎むよう説得する。

たり、指導することができるのか。

学校の管理権にもとづいて行なう生徒

の政治活動の制限がある。学校の管理権は、学校の秩序を維持し教育の自由を達成するため学校の規則を定め、生徒にそれを守るように求め、その限りにおいて生徒の自由を制限できる権限である。

これは、生徒が自由意志によって入学した際に結ぶ契約（入学誓約書）の結果生じた身分関係の秩序を保つために、一般国民より強い制限をうけるものである。

政治に対する基本的事項の理解がないまま、ただその時の時事的な問題に生徒の関心がふりまわされ、直接的な政治行動にはしつたりするような場合は、教育上の立場から教師が学業に専念するように話すことは教育者として当然である。

12 卒業式の送・答辞の原稿に教育上望ましくない内容がおりこまれていたときの指導をどうするか。

卒業式当日そのような事態になれば、直ちに朗読を中止させるという強行措置も考えられる。この場合、式終了後全校生徒に対して適切な教育的指導をほどこすことが必要である。本人に対しても、それが個人の意志で書かれたものか、他に影響されたものであるなどと確認して適切な指導を講ずべきである。

1 演劇部が政治的テーマを取り入れた クラブ

まず予防措置として、(1)クラブの活動

内容を学習指導要項に示された目標・活動内容に限定されていることを熟知させ、(2)顧問教師の人選。(3)演劇としてふさわしいテーマを選ぶように指導する。

顧問教師は、考えのまだかたまつてない高校生が、政治的テーマを演劇で上演するのは政治活動をしたことになり、教

2 学校祭の自主的運営を申し出たらどうするか

高校生は未成年者が大部分なので、謙虚に教師の指導に従い、学校の指導の枠の中では自発的な活動をのばすのが本筋であ

り、生徒だけで完全な自治活動をするのは間違いであると説得して、このよう

な申し出を事前に解消するのが大切である。

3 生徒総会（生徒集会）において緊急動議で意図的に政治問題がでたときはどうするか。

生徒総会（生徒集会）に臨む場合にはまず何よりも顧問教師は議長・生徒会役員との間に事前の充分な「協議」をしておく必要がある。その協議で議事運営の仕方、予想される質問に対する対策を話し合っておけば、その場で混乱を招くことは少なくなるであろう。

1 ホームルーム全員または大多数が学校の方針に納得しないで反対の行動にたたらどうするか。

事前の予防措置として学年当初のホーム・ルーム編成の段階で先鋭な生徒がいそれかのホームルームに集中しないよう注意する。

ホーム・ルーム担任は学校の指導に従わないで、勝手な行動をとった気持を聞きその行動が学校の規則を破った重大さを知らせ、父兄とも連絡をとって事後指導にあたる。

主謀者とそれに追従したもの、傍観者に分けて、その動機や行動を認め、個々にわたって適切な指導をする。

#### 第四節 処分

従来政治的問題にからんだ校則違反の生徒の取扱いは、他の一般の非行生徒の扱いに比較して何か統一的な指導方針に欠け、軽んじられている傾向があるが

違反実績は重くみて、差別することなく厳重な指導を施し、社会のルールに従むべきである。

#### 生徒会

### 第三節 生徒の集団指導の方法

11 なぜ生徒の政治活動を学校が制限し

育の中立性をおかすことになるので好ましくない旨、教育的に指導する。それでも聞きいれないときは生徒課職員が説得し、最終的には上演禁止の措置にでることもありうる。

# アルカトラス島のインディアン

市井三郎

試されるのである。事柄は小さくとも、原則問題としても意義は無限に大きく、黒人運動の要求ともからんで、アメリカ政府としては、放置・自然消滅を待つ手に出づけるかも知れない。

だがこのように、他人事のように評するだけでは間違っている。たとえ百数

十名であれ、かれらが自己の命を賭して、より多数の同胞のほんらい的な権利——そして踏みにじられた権利——と信じるもの、回復しようとしている姿に、ぼくはわれわれ自身につながる人類史の苦闘の象徴を見るのである。

去年の晚秋に、アメリカ・インディアンの青年が數十人でサンフランシスコ湾のアルカトラス島を占拠し、「インディアンの領土」にしたいと声明を発したニュースを聞いた。

その島はアメリカ政府が、凶悪犯の刑務所として使っていたが、建物の老朽化のために使用を廃止したいわば無人島だった。古くからアメリカ大陸に住んでいた原住民として、インディアンたちはヨーロッパの移住者たちに力で奪われた領土を回復するために、謙虚にもこの小島を割譲せよと要求したのである。

その後、続報もないままに、ぼくは忘れるともなしに忘れていた。今日の強大をなしたアメリカ政府が、このささやかきわまる要求にどう反応するか、と強い関心はいだきつづけた。久しぶりに今日報に接して、改めて深く心を動かされている。

（二月二十日）、朝日新聞夕刊でその続報に接して、改めて深く心を動かされて現地取材記事）をもってしてもよくわか

らないことがかなり残る。例えばいまは百五十人にふえたアルカトラス島「占拠」のインディアンたちが、現存する二三百十部族のうち、七十三の部族を代表する人々だそうだが、そもそもかれらは、アメリカ政府の支配を脱して、この小島にインディアンの独立国をつくろうとしているのか。たぶんそうなのだろう、と推測はできるのだが、だとすればかれらはこの不毛の小島でどうやって、部族の他の人々までおしかけてきたときの多数人口を養おうとしているのか。

いや、その前に、インディアンの歴史はじまつていらいという七十三部族もの多數意志を、ともかくもどのようにして結集したのであろうか。このように知りたいことはたくさん残るとしても、これには二十世紀の注目すべき一つの壯舉だとぼくは直観する。

物理力としてかれらがもつものは、現在アメリカ政府がもつ力にくらべて、まことにひどい。あればこそ、ここでネーションとしてのアメリカの思想が

の扱いが概して黒人以下であった、ということ以上にここで説明することはやめよう。ぼくの真の意図は、インディアンのこの種の壮舉を機として、ぼくたち日本人が考えるべきいま一つのことを、指摘したいからである。

## 三

コチラハRGMG 岸根反戦放送局テ.....



撮影した人は岸根のRさん、Mさんです。

ス。ワタシタチハ、アナタガタノ……



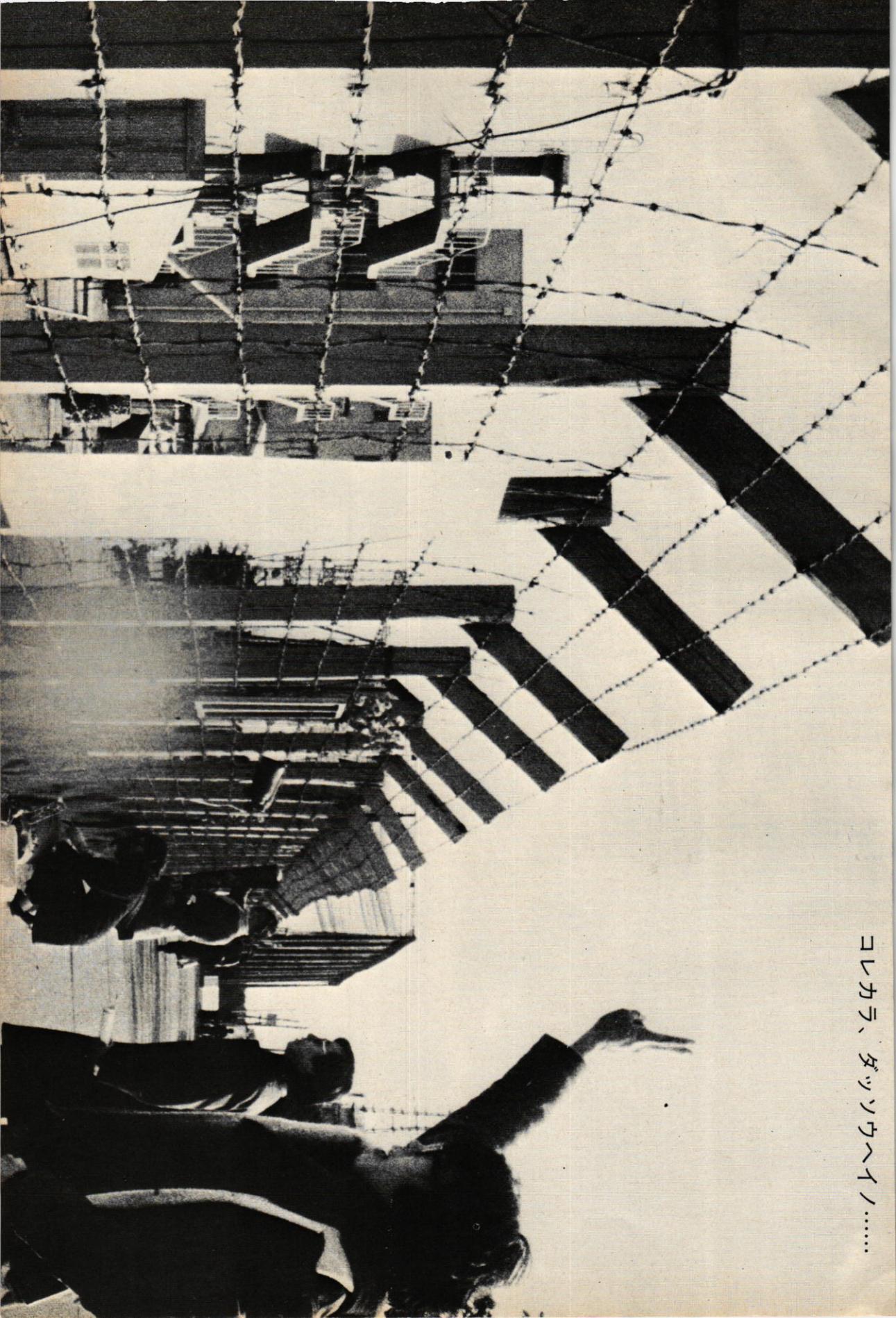
トモダチデス。イマ、シンケンー…



ミミラカタムケ、カンガエテホシイ



コレカラ、ダッソウハイノ.....

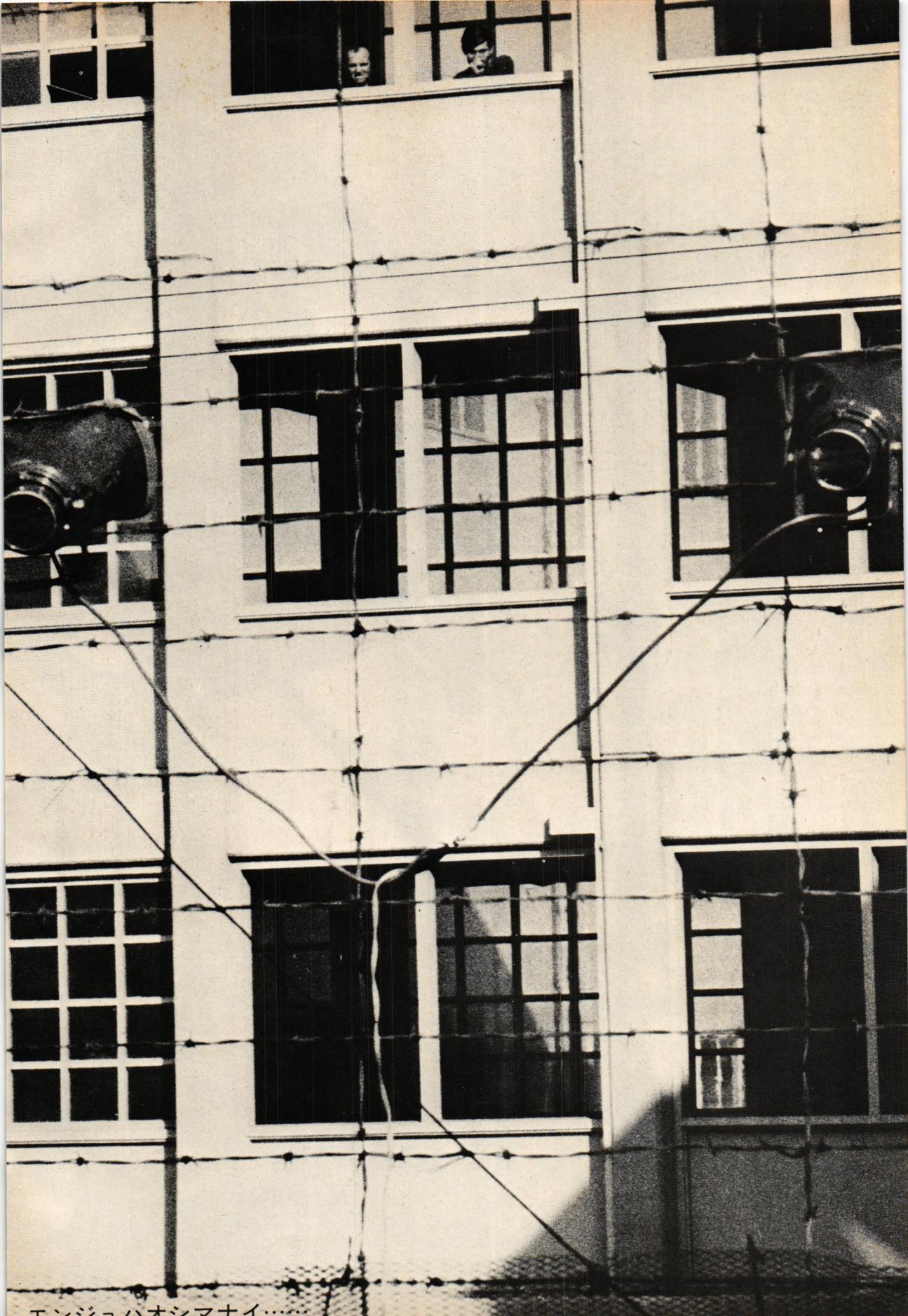


OFF LIMITS

メッセージヲ、ツタエマス。……

ロタシタチハ アタタチヘノ.....

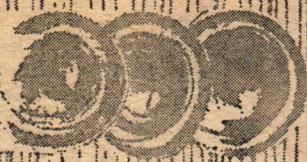




エンジョハオシマナイ……

# 「スバルタ教育」批判

本誌編集部



## タテの教育よりもヨコの教育を！

石原慎太郎の「スバルタ教育」という本が本屋にでている。一種のハウ・トウもので、家庭教育、とくに父親教育はどうあるべきかを、じつに熱心に書いており、その熱心さは同時に、彼の核武装論にまでつながっていく。慎太郎の精神構造をみせてくれる好見本でもある。そこで今週は、「スバルタ教育」をめぐる慎太郎論を、評論家の丸山邦男、鈴木均氏などの意見を中心にまとめてみた。構成は本誌編集部である。

### ■「スバルタ教育」の精神

A この本には、とにかく泣かせる言葉はずいぶん入っているよね。一応。

B 精神としては、戦後の教育はいったいなんだ、チンタラチンタラしやがって、といつて。まあ、教育的政見放送

C この本の表紙裏に、父親復活論の会田雄二が推せん文を書いているわけです。これをみると「戦後日本の精神的荒

A それは、自由と民主を合い言葉にしながら持ちえぬ精神的虚弱児だということに原因する。主体性の回復を叫ぶ若者の反体制運動がハックボーンの固まらぬ幼児の駄々を思わせるゆえんもそこにある」と書いている。これは明らかに学生のことをさしており、この本の意味をみずから教えてくれている。

A それと同時に、「暴力の尊厳を教える」という項の中で「最終的に自分を守るものは肉体でしかなくみずから肉体的存在を主張するすべは個人の暴力だ」というようななことも書いている。

■ 親は早く死ななきゃいけない  
理想の父親像

C 全体を通じて、慎太郎の親父さんと子供がよくでてくる。それがまた慎太郎の論理にうまくはまり込んでいるんですね。はめこんだ末が「父親は夭折することが理想である」ということになる。

A 彼は、芥川賞をもらったとき、たしか二十五歳ちかくだったと思うけど「オトナはオトナは」といつていた。二十五くらいで自分はオトナの感覚をもっていられないというのは、どういうことだろ。いままでに四十歳ちかくなるのに「青年」と自分のことを呼んでいる。いってみれば、トッチャン坊や、みたいなところがあつて、この本にもそれがでている。

B パパコンプレックスじゃないかな。

A それと、「スバルタ教育」というけれどもこの本はスバルタ教育ではないですよ。スバルタ教育というのは、もっとドライで、つきはなしているところがあるはずです。この本は父親セセンチメンタ

廃は、自由と民主を合い言葉にしながらその基盤となる個人が、一片の独立性を

な本をだしたんだろうかという背景も問題ですね。

B それはどうも、三島由紀夫あたりの考え方と関係があるんじゃないかな。たとえば葉隱なんかと考え方としては一脈

通じるところがあるんじゃないかと思うんだ。モラルやなんかをふくめて……。

A 彼は、芥川賞をもらったとき、たしか二十歳ちかくだったと思うけど「オトナはオトナは」といつっていた。二十五くらいで自分はオトナの感覚をもっていられないというのは、どういうことだろ。いままでに四十歳ちかくなるのに「青年」と自分のことを呼んでいる。いってみれば、トッチャン坊や、みたいなところがあつて、この本にもそれがでている。

B パパコンプレックスじゃないかな。

A それと、「スバルタ教育」というけれどもこの本はスバルタ教育ではないですよ。スバルタ教育というのは、もっとドライで、つきはなしているところがあるはずです。この本は父親セセンチメンタ

# Kappa Homes

## スバルレタ教育

石原慎太郎



リズムみたいなものだ。その辺が三島由紀夫に影響されているようでもある。

C 慎太郎は、父親が早くなくなつた。それで父親のイメージをいろいろ描く。ところが実際はいないわけだから、まったくひとりごとをいっていられる。そのうち、彼の父親像というものは肥大していることをつくりあげちゃうわけだ。

A そのコントラクスを子供の教育に反映させるとどういうことになるかといふことですね。要するに本がみたいなものですね。そうすると自分の父親に対する「甘ったれ」の意識を、その心理を子

供に投影させると、慎太郎式「雄々しき父親像」みたいなものができあがるんじゃないかと思うんですよ。

C これを読んでいて、たいへん興味をもつたのは、まったく正反対の父親像をもっている人を思いうかべたからで、たとえば永六輔は「私はオトツアンとか永さんとか、六輔サンとか呼ばれた。娘がオトツアンと呼んでくれるのが最高峰だ」という。そして「オトツアンはお人好しだけど、だらしないからダメだ」と娘にいわれるのが最高だ」ともいっている。つまり、立派な父親ではなくて、だらしないけどきわめて人間くさいんだろうと思う。そこで彼がいたいのは「オレを見てみろ、こんなにも立派な文句をいえないし、娘がほしいものは

B その全身を通して、慎太郎は、男性的家庭における、自分は理想像だということにかなり強烈な自信をもっているね。

B もっているというよりも、はじめから演出してきたということだね。ただ、その演出のしかたが、三島なんかとはちがうね。三島の場合はかなり人工的だけだ。

A 教育と自主防衛論

A 慎太郎は最近とみに、日本は核をつべきだということを、明治維新の志士きどりでいっているけど、そういう体質みたいなものがこの本にはじみでいるんじゃないの。

B その「男らしさ」というのは、彼が参議院に立候補したり、若い日本の会をつくったりしていることつながってくついている。つまり、立派な父親ではなくて、だらしないけどきわめて人間くさいんだろうと思う。そこで彼がいたいのは「オレを見てみろ、こんなにも立派だ」ということなんだろうと思う。

B 核武装に関していえば、慎太郎は

何でもみたしてあげたくなるという。永坂開學童として苦労しているし、野坂は、みずから焼跡、闇市派としてすごしたところから、ある父親のイメージをもち、娘たちに接している。慎太郎の父親イメージは、ほんと正反対だと思う。図式的ないかたをすれば、永坂は、本来の意味で民主的な父親イメージをもっているのに対し、慎太郎はその反対のイメージをもつ。

A 正反対なんだけど、現実には、その正反対のものを、あわせて一本という型で現実的にはあるわけだよね。どんなものわかりのいい父親でもおこればなぐるし。逆にいえばこの本の中で、慎太郎はものわかりのいいところももちあわせている。

B うちに息子がいたり、娘がいたりする、慎太郎みたいに立派なことは書けないということはあるよ。人間だれもダメなところあるもの。彼には書けるところがある。ちょっとおかしいんじゃなかいか、慎太郎は。

C 正確にいえば、慎太郎はこの本の中では、「男らしさの教育」みたいなことをいつてるんじゃないの。

B その「男らしさ」というのは、彼が参議院に立候補したり、若い日本の会をつくったりしていることつながってくついている。つまり、立派な父親ではなくて、だらしないけどきわめて人間くさいんだろうと思う。そこで彼がいたいのは「オレを見てみろ、こんなにも立派だ」ということなんだろうと思う。

B それにもしても、慎太郎は男の子ばかり四人もっている経験にもとづいて、男の子のことばかり書いているけれども女の子の場合はひとつも書いていないね。女のも雄々しく育てるつもりかね。ただ、女の子は弱者であることは最初から前提としているよね。

C いずれにしても、彼の教育論によれば、親は早く死ななければいけないわけだ。この辺で三島とつながるんだろうけど。

B 三島は、うら表紙で慎太郎の紹介をやっている。「石原氏には、強き美しき父に自らを同一化する特権がそなわってゐる」と三島はいう。

A 全体を通して、慎太郎は、男性的家庭における、自分は理想像だということにかなり強烈な自信をもっているね。

B もっているというよりも、はじめから演出してきたということだね。ただ、その演出のしかたが、三島なんかとはちがうね。三島の場合はかなり人工的だけだ。

時期ほとんど、というより、永井陽之助のいっていることをほとんどマネしているってことがある。あのあたりから、おかしくなってきたんじゃないかな。

C 中曾根康弘との接近なんかも関係あるんじゃないだろうか。

党がなんとなく体制内反体制みたいなことになっている時点に、こういう本をだすというのはうまいんじゃないかな。

それが当然ナショナリズムというものと結びつくわけだから。

C そのナショナリズムに結びついための男を育てる教育の本が、「スバルタ教育」ということになりますか。

B 全体がぐにゃぐにゃしているときに倫理的なことを一本通そう、というわけだ。

A だから彼は単なる反体制ではなく、体制内反体制である必要があるわけだ。

やがて首相になると明言している慎太郎としては、体制内反体制から、体制に指向しようとする。てめえの家もちゃんと

A この本の中で、注目すべきなのは、「偉人と成功者はちがうこと教えろ」

B 「狼生きる豚は死ね！」

C 慎太郎のダメなところは、偉人か成功者か、という二者择一きりないわけでしょ。その二者择一でくると、「平凡」というのはダメになるわけですよ。もうちょっとちがった生き方があることを彼は考えられないんだな。また、「平凡」という生き方があることを想像しなければ現状にはあわない。



石原慎太郎

A 彼は、体制内反体制という。あれはインチキだよ。それは、どうってことない、現状がいちばんいいということになっちゃう。

B しかし、現在のように、すべての政

A 彼は、体制内反体制ではなく、体制内反体制である必要があるわけだ。

やがて首相になると明言している慎太郎としては、体制内反体制から、体制に指向しようとする。てめえの家もちゃんと

A この本の中で、注目すべきなのは、「偉人と成功者はちがうこと教えろ」

B 「狼生きる豚は死ね！」

C 慎太郎のダメなところは、偉人か成功者か、という二者择一きりないわけでしょ。その二者择一でくると、「平凡」というのはダメになるわけですよ。もうちょっとちがった生き方があることを彼は考えられないんだな。また、「平凡」という生き方があることを想像しなければ現状にはあわない。

B しかし、彼は政治というの、四捨五入だと思っているわけだから、そのあいだにある部分は切りとってしまう。そ



春です

卒業証書

●海外雄飛ハ大ハヤリ

※海外雄飛トイウ古イ言葉ガゴザイマス。ナルホド、昔ノ人ハウマイコトヲ言ツタモノデ、海ノ外へ雄ガ飛ンデ行ク流行ハ、當分ハビコル一方ノヨウデアリマス。文字通り、雄ガ、台灣、香港、韓國、東南あじあへ、団体旅行

デ飛ビ立ツワケデ、女性ノ海外旅行熱ガうなぎノボリデ四十度ダトカイッテモ、雄飛ノ數ニハトテモカナワナインデゴザイマス。ソソナニ大勢サマ、何シニオ出カケカト申シマスニ、雄ノ雄タル欲望ヲ満タシニ參ル、今二泊メ、「ホンコソだめダカラ、鬼怒川温泉アタリデヒトマズ」ト代案ヲ出シタナ。

様分ノ旅券ヲ紛失スルトイウ事件ガアリマシタ。香港、台灣二行クハズノ地方ノおんじいタチガ多カツタ。旅券ガナキヤ出発デキナイヨ、才立チ合イ。旅行社ハ、アワテタネ、都内ノほて行ナノデス。カツテ大東亞共榮圈ノ旗印ノモト、植民地トシタ

※お×××旅行（おーチンチンハ活字ニシテモ、トクニドウツテコトナイガ、女性ノソレノ標準語ハ、ココニ書イチヤウト、ギョットナル人ガイルソウナノデ、おバツバツデ代用）ノーツ

※東北カラ東京ニ出テキテ、海外雄飛スル前夜旅券ヲ失クセラタ雄タチノ当惑ブリモワカルケド、モット困ッテイタ奴モイルンダゼ。

●うなぎチャンノ変死

※日本一ノうなぎノ産地、静岡県ノ吉田町トイウトコロ、養殖段ヲ高メルタメニ、心ヤサシキうなぎ達ガ、自殺シテ人口增加ヲクイ止メタノカモシリナイ。コノ夏ハ、うなぎ高ウオマッセノ世界ノ人口ガ一

トカ、観光團ヲ組ンデ繰り出ストハ、アマリニモナサケナイ。姦行團ト名称ヲ変エタラドウヤロカ。

※お×××旅行（おーチンチンハ活字ニシテモ、トクニドウツテコトナイガ、女性ノソレノ標準語ハ、ココニ書イチヤウト、ギョットナル人ガイルソウナノデ、おバツバツデ代用）ノーツ

※東北カラ東京ニ出テキテ、海外雄飛スル前夜旅券ヲ失クセラタ雄タチノ当惑ブリモワカルケド、モット困ッテイタ奴モイルンダゼ。

※悲シクハナイカイ、おとつあんヨ。韓國ノ女性ハ、靴下マデハカセテクレテ、歯モミガイテクレル、帰国スル時ハ、ひこ

う場マデ送ツテクレテ、よよト泣キクズレルンダト、団体旅行ノ、中小企業主ノオッサン、眼エカガヤカセ、舌ナメズリシテ話シティカド、すれでないオントナにスルタメニ、視察団

トカ、観光團ヲ組ンデ繰り出ストハ、アマリニモナサケナイ。姦行團ト名称ヲ変エタラドウヤロカ。

あじあノ国ヘ、フタタビ親交ヲアタタメニ出カケルワケ。

※オ客ハ農家ノじいさまや商店主ダッタガ、困リカタガ泣カシタネ。自分ガホンコンヤ台湾ニ行ケナクナツテつまらないトイ

ウンジャナイ。「近所や親類から旅費を上まわるほどのせん別をもらつたのに、温泉一泊だけでは帰つてからどう説明するんだ」「ワカルヨ、ワカルヨ鎮守ノ森ノおんじいヨウ。

※ワカルケンドモヨウ、コレジヤ、『ああ、あの顔であるの声で、手柄たのむと妻や子がハノ歌デ見送ラレタミタイデ、ナンテツタッテカンテッタッテ、決死ノ覚悟デ、香港、台灣ヲ侵略シテコナキヤ帰レナイミタイデアルヨ。

※東北カラ東京ニ出テキテ、海外雄飛スル前夜旅券ヲ失クセラタ雄タチノ当惑ブリモワカルケド、モット困ッテイタ奴モイルンダゼ。

※デモ、うなぎ君ノ変死ハ、コトニヨルト、うなぎノ値段ヲ高メルタメニ、心ヤサシキうなぎ達ガ、自殺シテ人口増加ヲクイ止メタノカモシリナイ。コノ夏ハ、うなぎ高ウオマッセノ世界ノ人口ガ一九八五年ニハ、四十九億ニナルカラ、各国十分注意セヨツテ、國連カラ警戒警報ガ出タトコロデモアル。

（鹿追）

# ギロギロギツちゃんの生活真情

鈴木志郎康

ギロギロギッちゃん、遊び好き

残業稼いで二時まで違法マージャン200円浮き

続いて四時からお約束の早朝ボーリングはストライクを狙え  
真昼のふくろう、眠い眠いとプレス踏む

アッ、という間に四本指は

鉄に喰われる、駆け出すのは卑役の職制に小組合大幹部  
血が流れる、血が流れ

サイレン鳴せ、ああ、マージャンボーリングおさらばか

ギロギロギッちゃん、流れる血液掬い上げ

本当に鉄というものは人の血肉が好きだなあ

ギロギロギッちゃん、しみじみと青空

ギロギロギッちゃん、仕事好き

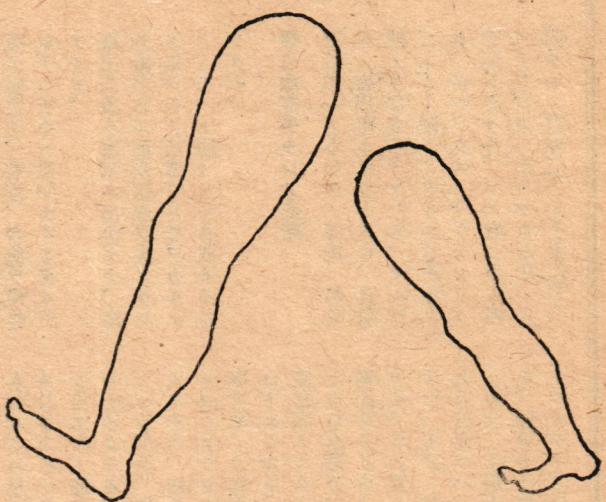
伸びるグラフの面白さ、胸の名札よ

建国記念日休まない

天長節も休まない

憲法記念日休まない

文化の日、あたぼおよ、休まない  
(ひやあ、反国家的、恰好いい)



ナロウ・シンド

秋の日に残されたるは親指一本

男の親指

巨大な親指、パチンコ指

ギロギロギッちゃん、たちまち覚えた得意の手鼻

小顔の富士山ちょい撫でチーン

ギロギロギッちゃん、女好き

かみさん愛して十五年

グラビア女体に二十年

小学校ではスカートまくりの優等生でした

夢中で見たいあばれる太股

まるで高嶺の中の庭の中のルームライトに照らされた部屋の中の見るだけの

家族相愛の清潔洋食白い血

ギロギロギッちゃん、胸に浸み入る女房の乳房

子供と競うオッパイちゃん！

ギロギロギッちゃん、数え好き

一つ、何ごとも自分の手で確めよ

今日もまだまだ日本の空の下には

帰る家庭はあるのか

残された親指はあるのか

おまえの心臓からはトックトックと赤血が流れているか

両手は後ろに針金で縛られていないか

頭蓋骨には穴はあいていないか

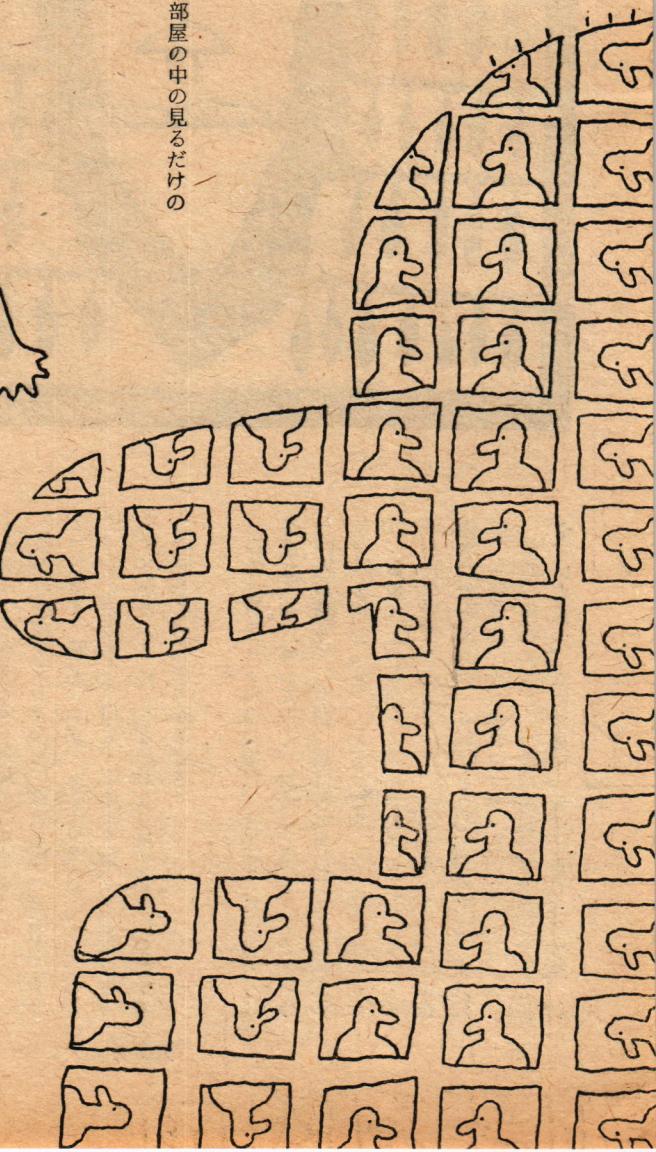
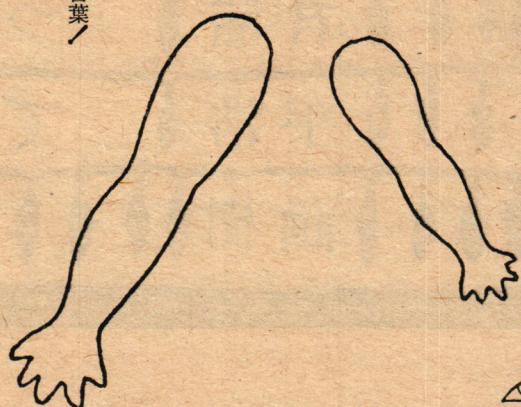
無残の胴体は村道に捨てられていないか

ギロギロギッちゃん、盗られたら大変だぞ

かみさんの好きな真黒な太い男根

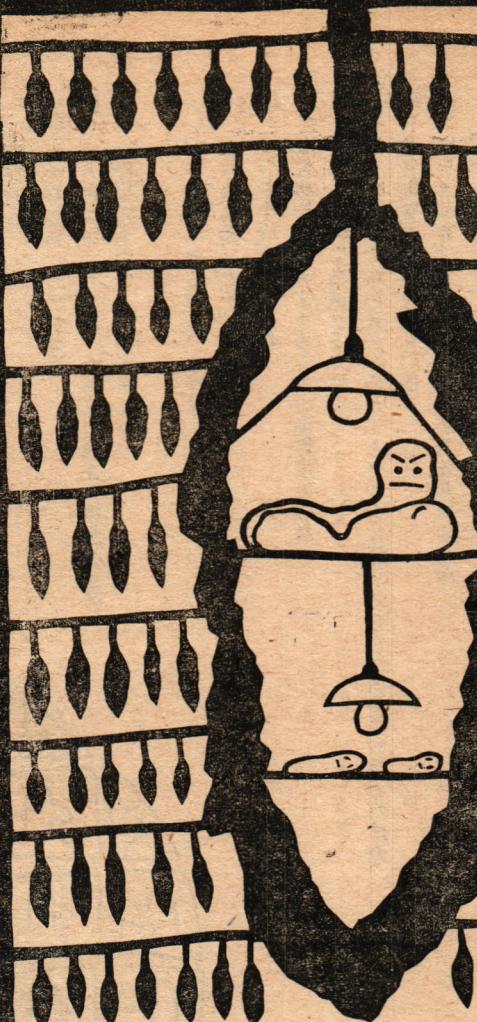
その日の目標はその日に果して、日々新たなり。とは社長のお言葉

日々は毎日旧かった！ ギロギロギッちゃん



蓑

虫は何によつて  
きるか  
東三君浦平浩  
画樹



東京もずっと西のはずれ、まだランプ暮しをしてい  
るような山里に、醜男、みたくなしの、こ穢ない、  
こきたない蓑虫の一家が棲んでいた。

あるじのお父ちゃんみの虫は、あさ暗い色の、どこ  
からみても見映えのしない羽根をもって、そこここの  
茶の葉やミカンの葉など、ひどく貧しいものをかっぽ  
らってきては生計を立てていた。女房のお母ちゃんみ  
の虫は、このろくなしと結婚したために、ろくな羽  
根も買えなかつたので、うじ虫状のぬらりとした裸の  
まま、みの袋にくるまつて外に出ることも出来なかつ  
た。彼らは、みの袋の中で交尾を行なつた。卵を生  
み、育てた。子供は二人いた。雄と雌であつた。

みの虫を知らない読者のために注釈を入れるならば  
みの虫とは、鬼が生んだ子であると、ずっと昔のござ  
かしい女の物書きがいっている。秋に「ちちよ、ちち  
よと鳴く」そうである。衆知の事実である。

我がみの虫お父ちゃんも、はたして「ちちよ、ちち  
よ」と泣く。秋といわす、冬も春ものべつまくなし  
に、泣くのである。何故、このように、奇妙な泣き方  
をするかといえば、ことのおこりは我がみの虫の父親  
の生涯とその死にさかのぼる。

みの虫お父ちゃんの父親は、その昔、このあたりに  
青虫女王が君臨していて、世の中じゅう、いともとう  
とい光が満ちていた頃、選ばれて青虫女王の親衛隊の  
ラッパ手になった。いったいに、その頃の虫の国で  
は、青虫女王の親衛隊に選出されることは、もつての  
ほかに名譽なことであった。そのうえ、ラッパ手に抜  
擢されたとあれば、これはどうしてどうして、友人知  
己、一族眷族、みな鼻高々であったのだ。  
きみ、虫の兵隊というものを思つても見よ。うじ虫  
や、いも虫や、こめつきばつたや、きりぎりすや、は

たおり、といった連中が、りりしく軍服をつけて整列する。青虫の女王と、ごま虫の宰相閣下が、デコルテを旭日につらぬきながら、胸をはってお出ましになられる。みの虫のラッパ手は、朗々とラッパを吹く。ラッパの金メキ真鍮のきらめきを見よ。朱房のたおやかにふるえるさまを見よ。

早合点されては困る。わたしは、この光景を活劇絵本のような深甚なユーモアでもって描いているのではない。この光景を思うとき、わたしは心の中で、紙でこされた小旗をうち振っているのだ。我がみの虫お父ちゃんも同様の心情なのである。

みの虫お父ちゃんの父親であるところのラッパ吹きは、幾多の戦場で高らかにラッパを吹き続けた。彼のラッパは、まことにみごとであった。

女王さまの前で吹ぐときは、このように聞こえた――

ミギムケミギムケミギヲムケー――  
ミギムイテジヨオーサマニレイオシロー――  
すると、虫けらどもみな、女王さまの尊さに打たれて涙ぐむのであった。

彼が、北の国の戦場のあっけらかんとした木造の兵舎で、暁のラッパを吹くときは、

オキロヤオキロヤミナオキロー――  
オキナイトハンチヨサンニシカラレル――  
すると、虫けらどもみな、戦いの庭に飛び出してゆくのであった。その目は、

勝利の予感で妖麗なまでに美しかった。  
そしてまた、彼は、砲声の間をぬって  
ラッパを吹きつのった。

いかっぱらいなどをしてくれぶつてゐる  
というのも、ざつとこのような背景がある  
つたのだ。みの虫のような、ちびた、こ  
きたない生き物でさえ、こうした重い運  
命を首木としている。

たおり、といった連中が、りりしく軍服をつけて整列する。青虫の女王と、ごま虫の宰相閣下が、デコルテを旭日にきらめかしながら、胸をはってお出ましになられる。みの虫のラッパ手は、朗々とラッパを吹く。ラッパの金メッキ真鍮のきらめきを見よ。朱房のたおやかにふるえのさまを見よ。

トモノシカバネコエテユケコエテユケー

すると、虫けらどもは、ただいっしん殺そうとしたのであった。このとき、殺意は、寸断された垂氷のように透明で、鋭く、冷たく、まことに美麗であった。

景を思うとき、わたしは心の中で、紙で  
こさえた小旗をうち振っているのだ。我  
がみの虫お父ちゃんも同様の心情なので  
ある。

みの虫お父ちゃんの父親であるところのラッパ吹きは、幾多の戦場で高らかにラッパを吹き続けた。彼のラッパは、まことにみごとであった。

に聞こえた――

尊さに打たれて涙ぐむのであつた。  
彼が、北の国の戦場のあつけらかんと  
した木造の兵舎で、暁のラッパを吹くと  
きは、

オキロヤオキロヤミナオキロー  
オキナイトハンヂヨサンニシカラレル  
すると、虫けらどもみな、戦いの庭に  
飛び出してゆくのであった。その目は、

いかっぽらいなどをしくすぶっている  
というのも、ざつとこのような背景があ  
ったのだ。みの虫のような、ちびた、こ  
きたない生き物でさえ、こうした重い運  
命を首木としている。

ときには、みの虫の暮しぶりを観察して  
みて、わたしども人の人生の道に何ほどか  
の益やあると考へれば、まったくなんの  
ことはない。ただ、昔の女の物書きが筆  
の走るままに「蓑虫のちちと鳴く」とい  
つたのを、ほんとに、みの虫が泣くか泣  
る。おれはこれまでくだらないかっぽら  
いをして、我が身一つ、家族を養うこと  
ばかりにかかずらわってきた。実に悲し  
い。まったくやりきれない、まったくも  
うつくだらない。みの虫お父ちゃんの心  
にだんだんと影が広がる。ああ、おれの  
一生はこれでいいのか——。彼はせつな  
くなつて叫ぶ。「ちちよ、ちちよ」どう  
すればよいのですか。  
すると奇怪なことに父の声が返ってき

かないと、純粹に文献学的に生物学的に問題を解き明すにとどまる。

みかんの葉っぱさえ家にはないのか」みの虫お父ちゃんは面白くなくなつてくる。おれはこれまでくだらないかっぱらいをして、我が身一つ、家族を養うことばかりにかかずらつてきた。実に悲しい。まったくやりきれない、まったくもってくだらない。みの虫お父ちゃんの心にだんだんと影が広がる。ああ、おれの一生はこれでいいのか——。彼はせつなくなつて叫ぶ。「ちちよ、ちちよ」「どうすればよいのですか。

みの虫の家。夕餉どきである。家族みな渴えている。お母ちゃんみの虫は、食うものがなくてぶりぶりしている。お父ちゃんの方はだれっと寝ころがってテレビを見ている。二人の子供達は物を食うかわりに自分達の指をしゃぶっている。指は、ふやけて、中ほどに歯でほじくりかえた、このようなものができてしまっている。「これ坊や指を食べるのをよしなさい」とお母ちゃんがいう。「指がゲバゲバになってしまいますよ」すると息子は「ゲバゲバなっちゃん」

みかんの葉っぱさえ家にはないのか」みの虫お父ちゃんは面白くなくなつてくる。おれはこれまでくだらないかっぱらいをして、我が身一つ、家族を養うことばかりにかかずらつてきた。実に悲しい。まったくやりきれない、まったくもってくだらない。みの虫お父ちゃんの心にだんだんと影が広がる。ああ、おれの一生はこれでいいのか——。彼はせつなくなつて叫ぶ。「ちちよ、ちちよ」「どうすればよいのですか。

すると奇怪なことに父の声が返ってき  
た。とうに消化したはずなのに彼の胃袋  
の中で死んだ父の殻のかけらがしゃべっ  
ている。「息子よ、息子。せつなくとも  
そのみの袋から出でてはならない。葉っぱ  
をかっぱらってきて、みんなして食い、  
お母ちゃんだ、お父ちゃんだ、それ息子  
だ娘だと、声をかけあいながら暮すこと  
だ。そこはお前のただ一つの、虫が虫で  
あることのさいごのとりでみたいなもの  
だ」父の声は次第に消える。「ちちよ、  
ちちよ」と呼ぶけれども、その声は「ゲ  
バゲバなっちゃん」だとか「びいーば  
ん」だとかの得体の知れないわめき声に  
うち消されてしまう。

う。ゲバゲバへんなの」といってニヤツと笑う。けれども指を食いつづける。娘

みかんの葉っぱさえ家にはないのか」みの虫お父ちゃんは面白くなくなつてくる。おれはこれまでくだらないかっぱらいをして、我が身一つ、家族を養うことばかりにかかずらわってきた。実に悲しい。まったくやりきれない、まったくもってくだらない。みの虫お父ちゃんの心にだんだんと影が広がる。ああ、おれの一生はこれでいいのか——。彼はせつなくなつて叫ぶ。「ちちよ、ちちよ」とうすればよいのですか。

# アルメリット





# の声

北爆開始五周年デモの反響

■ことばのモンタージュ  
グループ海 制作



二月七日、北爆開始五周年のペ平連のデモを立ち止まって見ていた学校帰りの女高生。

「先生だって戦争は反対なのに、生徒が反戦のデモへ行くのは考え方のだんなていうの、何かおかしいわよね。このデモは、私たちも入りやすいデモだと思います。ヘルメットもいらないし。でも制服じゃやつぱり……、学校もバレるでしょう」（二六歳・女高生）

「私は、日本では絶対に戦争なんか起こらないと思います。ベトナム戦争は、週刊誌で虐殺の写真を見たことがあるけどいやだなアと

思います。べつにデモに行こうかなアと自分から思つたことはないわ」（二六歳・女高生）

「べつに大したこと感じないな。やる人もいて、やらない人もいる。こういう政治のことはそれでいいんじゃないですか

三人の女高生のことばです。  
私たちにはこの日、ペ平連のデモコースに沿って、歩道から、あるいは店先から、少しでもデモに関心を示した人たちに徹底的にインタビューを試みた。質問はつとめて短かくし、「デモを見てどう思いますか?」のひとつにしほり、積極的にこたえてくれた人に「反戦運動についてご意見がありますか?」と聞くことにした。ただでさえむずかしい技術がいるといわれているインタビューを、まるで未経験で、豊かな笑顔の持ち合わせもない私たちが行なったせいか、相手は一様にけげんな表情をうかべ、一瞬、とまどったようだったが、デモ隊が横を通過しているという臨場感の支援を得て、私たちの質問がまるで無視されたというケースは、思つていたほどにはなかつた。

以下、私たちのメモ帳に採録された、いろいろな人たちの、いろいろなことは列記してみたいと思います。私たちが意識してみたいたいと思います。私たちが上に多くなった助詞と接続詞をはぶいたこと、あまりにもサイケデリックな文法に出くわしたとき、それをいくぶふたつです。

か。」（二五歳・会社員）「学生時代にぼくもデモに行きました。今?……気持がそんがらないときは、行きませんね。」（二五歳・会社員）「戦争反対っていうけどね、機動隊にだつてひとりひとりきてごらん。戦争に賛成です、戦争やりましょうよなんていうバカはいませんよ。天皇陛下だって戦争反対っていうよ。……とりたてて戦争反対のデモをする意味は、悪いっていってるんじゃないよ、意味がないような気がするね。」（三歳・商店主）「偉いなアって思います。でも自分のことになると、こうやってデモをしても、しなくても同じことのようない気がしてくるんです。戦争はいやなことだと思うわ。」（二十歳・女書店員）「今年はたいへんなんじやないです。安保ですものね。政治の本がけっこう売れるんですね。」（女・書店員）「政府の大連中が見ていないデモなんて意味ないよ。これだってプラカードが少ないので、何のデモか、見たとたんにわかるやうやつでないとダメだね。サトウさんもだね、いばってふんぞり返つていいで、日を決めてだね、国會議員もズラリと並んで、デモを見る日を作りやいいんだ。オリエンピックのマラソンのようにな。交通もストップしてデモ・デーにするんだ。」（四四歳・商店主）「ペ平連のいうことは全部、理解します。よくわかるんです。……だからってどうすりやいいんですか。そのところが……。」（三八

# 「声なき戸」



歳・公務員) 「寒いのに皆さん大変だと思います。……反戦? そりゃ気持のうえではみんなそうなんじゃございません?」(女・無職) 「ベ平連っていいわね。『週刊アンポ』も読んだことがあります。男の子たち、みんな髪の毛が長いの理由があるのかしら。」(女・無職) 「このデモはどうかわからないけど、暴力を使うデモは反対です。方法が悪いと思います。弟は、やむをえないなんていいますけど、それは思いません。選挙だってあるし……なにも火薬弾まで投げなくったって。弟? 中学生です。」(一八歳・女店員) 「オレだってね、新宿の西口で百円カンパしたことあるんだ。……いいんじやないです、賛成だね。」(四〇歳・会社員) 「昔だつたらたいへんだよ、こんな連中は全部、牢屋行きだよ。世の中が甘くなつたね。」(六二歳・無職) 「いいデモですよ。拍手したいね。機動隊は三億円の犯人でもつかまえりやいいんだ。なんでギャアギャアとデモにくつてかか

るんだ。黙つてれば黙つて通り過ぎるじゃないか。」(一八歳・浪人) 「最近、安保とか、いろいろ政治のことも考えたり、きいたりするようになつたわ。デモに興味をもつてからです。」(二二歳・女会社員) 「ベトナム戦争は絶対に反対です。アメリカでも市民がたくさんデモを行つて反対したので、アメリカの政府も考え方直したって新聞かなにかで読んだけど、立派なことだと思います。日本も、そういう傾向があつたら、戦争は起ころなかつたんじゃないかなって思うときがあります。デモは賛成ですが、まだ参加したことはありません。日本のデモは、市民より全学連のほうが熱心なので、正直いっておつかないと思うんです。」(二一歳・女会社員) 「ベトナム戦争っていいたって、きみ、税金でも減らしてほしいと思うのが先に立つのが、人間っていうものじゃないですか。」(四三歳・会社員) 「よくわかんない。戦争はいけないけど……よくわかりません。」(一〇歳・女の子) 「暴力がなければデモは大賛成です。戦争はだれだっていやですものね。私は自衛隊もいやなんです。」(三一歳・主婦) 「今年はアンポですけどね。十年前と同じような気がして、やりきれんですね。」(三六歳・会社員) 「私はそんのうち参加するような気がします。……」(二八歳・会社員) 「べつにデモを見ても、なにも感じません。だいたいいい、なにを見てもあまり感じないんですね。けっきょくやめたんです。みんなでさくてね。……」(二八歳・会社員) 「べつにデモを入れていいか、わからなくなりましてね。けっきょくやめたんです。みんなで……」(二八歳・会社員) 「ベトナム戦争だつて、アメリカがいっぽう的に悪いように思つてるのは、かたよつていて、正確なような気がしません。」(二二歳・女・会社員) 「日大なんか、どうしようもない学校だからね。全部で行つてたたきこわせばいいんだ。戦争よりだいじですね、そっちのほうが

作つたってナンセンスですね。」(二八歳・会社員・日大卒) 「大いにやつてくれと思います。戦争反対? あたりまえであります。今の政府はいいこと考えてないよ。今、デモをやってくれといいたいです。ぼく? やはりいそがしくてね、その辺が無責任なんです。あきらめます。」(二三歳・商社員) 「暇がなくてね。デモにもぶつかったときくらいですね。戦争とか政治とか考えるのは。でも最近は、代々木とか反代々木とか、そっちのほうが新聞を読んでてもめんどうくさくてね。……しつは選挙も、どの党に入れていいか、わからなくなりましてね。けっきょくやめたんです。みんなで……」(二八歳・会社員) 「ベトナム戦争だつて、アメリカがいっぽう的に悪いように思つてるのは、かたよつていて、正確なような気がしません。」(二二歳・女・会社員) 「私はデモには興味があ

でウロウロしてないで、ひとりくらいはなんとか羽田に入れたと思うね。終ったことだけね。まあ、そうはいっても牢屋はいやだと思うし、こういう運動はむずかしいですね。僕も、ときどき、その気になるときもあるけど……勉強してないしね。」（二五歳・商店員）「ベ平連の運動は正しいけど、けつきょく、民主勢力を混乱させている部分もある。戦争反対は、日本人の常識みたいなものです。そうしたものは、やはりきちんと選挙に反映させないと、けつきょくは花火を打ちあげたようなむなしいものになりますよ。」（二二歳・学生）「僕は自民党を支持してますからね、反政府デモには行つたことはありません。デモを見ても、ああ、それもひとつの意見だなあと思うていいです。ただ、自民党イコール戦争とつなげてしまふ論法は、せつからちで時代おくれだと思います。」（二三歳・学生）「新宿のほうがたくさん的人が見るんじやないかしら。」（一六歳・女高生）「だからやります。そういうことでいいんだと思つてますから。」（二〇歳・大学生）「べつにデモをしている人たちが、どうのこうのと思いません。少しくらい、交通妨害してもいいんじゃないですか。交通のじゃまにならないデモがあったら、そりゃデモじゃないですよ。」（二四歳・

公務員）「いつも考るんですけどね。」（男・三十くらい）「アンボのおかげで、日本は経済的に豊かになつたつ戰つてデモをしても本物じゃないです。ときは議事堂でもなんでも、ブッコわしどんなものだか。おれですか。おれは、戦争でも始めますなんていつたら、その行きは議事堂でもなんでも、ブッコわしどんなものだか。おれですか。おれは、まきこまれると、困るなあとと思うんです。どっちもわかるので、けつきょくわからなくなるんです。」（女・無職）「ベトナム戦争は反対ですけど、安保条約は行きますよ。」（三三歳・セールスマン）「はずかしいですね。デモをボカンと見てるのも。でも、こんどデモに入つて道を歩くと、それもはずかしいね、きっと。」（二七歳・会社員）「この辺はデモが多いんで慣れっこですね。でも、最近は、デモもつまんなくなつたね。警察が強くてダメだ……戦争？」（二十九歳・商店員）「もっと、なんのデモで、なにを訴えるか、一目瞭然でやつてほしいと思います。デモはしていけないなんて思ったことはありません。」（二五歳・女店員）「ベ平連を含めて、新左翼といわれている人たちがたくさんいます。世の中を少しでも変えなければまるで希望がないですからね。」（十七歳・高校生）「もう少し、警察に迷惑のかからないデモつて、できませんものでしあうかね。そりゃ氣持はわかりますけどねえ。」（五三歳・主婦）「デモを見るにホッとします。なぜだかわかりません。」（二二歳・女・無職）「よくデモで逮捕され、長い間、警察にとじ込められている学生がいるそうですけど、ちょっと、かわいそうな気がします。デモに行かない人たちより私ははじめて生きている人だと思ひますから……。」（二六歳・女・飲食業）「自

ないね。共産主義っていうのはいやだね。」（男・三十くらい）「アンボのおかげで、日本は経済的に豊かになつたつ形の貢献をしていると思います。とくに若い人たちにね。ひっくり返そうと思えば、ひっくり返るという思想を与えたとて、よく聞くんですけど、アンボのためて、どうしても戦争が始まつて、日本もまきこまれると、困るなあとと思うんです。どっちもわかるので、けつきょくわからなくなるんです。」（女・無職）「ベトナム戦争は反対ですけど、安保条約はまきこまれると、困るなあとと思うんです。どっちもわかるので、けつきょくわからなくなるんです。」（女・無職）「ムシャクシャしてくると、ああ、デモにでも行きたいと思いまます。行つたことはないんです。だってこんな考え方じゃ、悪いでしょ。」（二十九歳・商店員）「もっと、なんのデモで、なにを訴えるか、一目瞭然でやつてほしいと思います。デモはしていけないなんて思ったことはありません。」（二五歳・女店員）「ベ平連を含めて、新左翼といわれている人たちがたくさんいます。世の中を少しでも変えなければまるで希望がないですからね。」（十七歳・高校生）「もう少し、警察に迷惑のかからないデモつて、できませんものでしあうかね。そりゃ氣持はわかりますけどねえ。」（五三歳・主婦）「デモを見るにホッとします。なぜだかわかりません。」（二二歳・女・無職）「よくデモで逮捕され、長い間、警察にとじ込められている学生がいるそうですけど、ちょっと、かわいそうな気がします。デモに行かない人たちより私ははじめて生きている人だと思ひますから……。」（二六歳・女・飲食業）「自

分自身が見当つかないのです。選挙のときもね。初めてなんでも、投票場へは行つたものの、さいごまで自民党か社会党か、いろいろ考えましてね。めんどうくさくなつて、いちばん先に名前前の書いてある人に投票しました。当選しちゃつてね。そのとき、後味が悪くていやでしたね。」（二二歳・大学生）「デモを見てるといつたいどんやアフラやイスラエルは、いっつたいどんなんだ。チエコはどうなんだと思つちゃつてね。まあ、そこまで考えると、たしかにラチがあかないんですけどね。」（二二歳・大学生）



「おしなべて応援でリラックスしてくれた。だれかといっしょにいるということ、つまり連帯の価値を、私たちが奇妙なときには思つたのだ。

「アメリカの青年でなくてよかつたとつくづく思うのは、ベトナム戦争のことを考えるときですね。やりきれないでしょうね。アメリカの兵隊は、ぼくはベトナムのデモを、そつしたぼくの気持を理由に支持しているんです。」（二六歳・商社員）

「他人の身になつて考えるっていうのは、いろいろな事情でむずかしいですよ。ベトナムはベトナムの事情で……とにかく、戦争しなければならなかつたんだらうな気になつてしまふのだ。「声なき声」の卒直な声を採録して、壮大なことばのモンタージュをなしとげ、いかなる論説や論文をも凌駕する迫力を出そうなどといふ意氣は、しばしば線香花火のような状態へ転落しつつあつた。そんなとき、ふたり連れや、三人連れの人たちの受け答えが、私たちを救つてくれる。彼らは、

「われわれは、戦中派というわけですがね……戦争ということばかりで、アレルギー起こして、めんどうになるときが多いんですよ……ベトナム戦争もやつてゐるやつは、やってるやつで、こっちはなんとかやらないように……そんな気持だといえ、正直なような気がしますね。」（四二歳・会社員）

「ベトナム戦争が下火になつたのも、世界中のこういうデモの効果だと思います。立派なことだと思ひます。」（二〇歳・看護婦）

「デモにはだれも反対しませんよ。ただ、もうときどんと指導されたデモをしてないと、弾圧されてしまうんじゃないですか。」（男）

「私たちも、デモに入つて歩けばいいんだって思つときもあるんですけど、いたときは、夢中というか、必死だったしね。しかし、これからは、戦争に反対しつづけることは、大切なことかもしれないね。たしかに。」（四〇歳・農業）

よ。わざわざデモする必要はないと思う。ひとりで思つてれば、それでいいんですね。戦争が始まつても行かなければいけない。日本に原爆がおちたときは、これで世界もオシマイさ。だめなもんだ人間は、と死ぬとき思えばいい。」（十九歳・学生）

「若い人の気持もわかりますよ。でもデモだけじゃね。まじめに勉強をし、そのうえに立つて、デモに来るようであつてほしいですね。戦争については、ふだんあんまり考えませんね。」（四八歳・主婦）

「いつもデモを支持しているんですね。理由は簡単です。警察が大きらいなっています。」（三六歳・男）

「よく学校でもきかれるんだけどね。デモに行かないから、ベトナム戦争に賛成だなんて、思つてほしくないです。デモには行かなくとも、戦争反対と思っている人は、たくさんいますよ。ぼくの場合は、そうしたことなどが、あまり心の中を占めていないんです。だれでも、そうした時期はあるんじゃないですか。」（十九歳・大学生）

「私は行かないけれど、西口のフォーラーク集会は行つたという人だつています。ベトナム戦争反対だって、いろいろな型でできると思うんです。デモに行かないのは、人によつて理由がいろいろあります。私の場合は、なんとなく悲劇っぽくて抵抗があるのです。」（十九歳・女子学生）

「デモにはべつに意見はありませんね。たしかに。」

(四八歳・公務員)「労働組合のデモより、こちらのほうが本気ですね。デモっていう感じがでます。」(女・会社員)「このデモはよくわかるけど、全学連のデモは、つぎの日に新聞で読むまで、なんのデモなのか、わからないというのがありますね。ああいうのは、全学連が損していると思います。」(十九歳・女・会社員)「年をとっちゃったなーと思っていやになる。それだけです。」(二十九歳・会社員)「いいかげんしてくれっていいたくなる。遊び半分にやられちゃかなわない。」(中年の男)「週刊アンポという本、お茶の水の駅のところで買って読んだんです。ずいぶんためになるところもあって、たけど、なにかピシッとほっきりしてないところもあります。こうやってデモを見ていると、ベトナム戦争はいけないんだと思うけど、デモがないときは、あまり関係ないなあって、ほっきりいって忘れてしまいます。」(二五歳・女・公務員)「美しいなって思います。ほんとうにそぞろに立ってみれば、早い話、戦争もへったくれもないですね。生きるか死ぬかですかからね。」(五五歳・無職)「まじめなデモだと思います。政治つたって、



えている人たちが、ただ安保反対っていい  
つても、それだけじゃだれも相手にしな  
いんじゃないですか。もっと現実を見き  
わめて、デモならデモに加わるべきです  
ね。ぼくは佐藤政府の現実的な政策に、  
ほぼ満足しています。(三一歳・男・会社  
員)「よく気持がムシャクシャするだけ  
で、全共闘に入つて石を投げてくる学生  
がいるってきんだけど、だから、くだ  
らないとは思いませんね。その辺がむし  
ろよくわかっちゃうんです。日本は戦争  
しないっていうけれど、実際に戦争して  
いる国と仲よくなりたり条約むすんだりし  
ているんですけど、ナットクできない  
のがあたりまえだと思います。」(二二歳  
・会社員)「最近はデモを見てもおもし  
ろくない、東大闘争、テレビで中継した  
あれ、最高だったな。結果は負けたけど  
スカーッとした。おれ? 賛成すること  
とか反対することとか、こまかくはある  
けど、考えてみると、デモへ行ってかけ  
足するほどにはないんだ。」(十九歳・家  
業)「なんでもかんでも反対、反対って  
いうのもどうかと思いますね。そういう  
ところが賛成できません。」(四十歳ぐら  
い・主婦)「考えていることを実行する  
のが正しいことですよ。ベ平連は、そう  
いう点が好きです。ほかのデモはまったく  
見世物みたいだけど、ベ平連のデモは  
ヒョックと入つてみたくなる。今までしか  
……用事もあるしね。」(若い男)「どう  
してデモっていうと、学生が多いのかし

ら？ 昔からそうだったらしいけど卒業してから、どうなっちゃったのかしら？ 私は友だちから誘われても、デモには行かないわ。理由はべつにない。(若い女) 「もっとミニスカートのかわいい子ちゃんを先頭に並べてさ、かっこよくやらなくちゃ。これからはデモだって派手にやらないと……そう思うね。」(若い男) 「こういうデモをしながら、反戦運動以外に、いろいろな悪い習慣や、つまらない制度を改めていこうとする態度が、いいと思います。私はデモは見るだけですが、ほかの面ではとても勉強になりますよ。デモも、ちゃんと合法的にやって、むしろ安心して参加するはもうむりですよ。機動隊ひとつ見ても体制は強いですよ。デモも、ちゃんと合った。」(二十四歳・女・無職) 「日本では革命はもうむりですよ。機動隊ひとつ見ても反対ですっていうけど、いっぽう、自民党も支持してますからね。なにしろ、夢みたいに革命を叫んでる連中は、熱しやすくてさめやすいみたいなところがあるて、現実には信用できません。」(四六歳・教師) 「へ平連は、テレビで番組をもてないんですかね。そうか。金がないですね。金を握ってるところがなにやっても強いですな。テレビでだれかが演説するほうがデモを何百回やるより効果があるように思うんですけどね。」(三七歳・教師) 「戦争反対デモは、文句ないでしょ、だれだって。でも最近は、うかつに反戦っていえなくなつたムードもありま

すね。うちの会社なんかまざいですよ。変ですね、やっぱり。昔は戦争反対っていわないほうが、ばかりたいだったんですけどね。」(三歳・会員)「どちらが悪いってことではなしに、機動隊とデモ隊の衝突は、やめてもらいたいね。世の中がすさんでくる。大げんかは映画だけでたくさんですよ。けんかしているかぎり、警察もデモ隊もいやになってしまいますからね。」(二六歳・会員)「現実にはなにもできないけど、ペ平連や全学連のいっさいを支持しているんです。

ゲバールトも賛成です。ねむっている大衆に対するショック療法です。」(二六歳・会員)「デモで交通が止まつたておこる人たちは、個人主義者だと思います。西口のフォーラム集会だって、歩く時間が一分や二分おくれたからって、文句をいう人は、心の貧弱な人だと思います。そんなに時間がないほどに忙しいのなら、忙しくした自分の状況に腹を立て

るべきで、歌をうたっている若い人たちに、やつあたりすべきではないと思うと、最近の新宿はつまらなくなつたつです。まだデモに入つたことはないのですが、少なくとも、デモや反戦運動に迷惑顔をするような人間にだけは、なりたくないよう気持でいるんです。」(二三歳・洋裁店員)「ぼくは、このデモに、心から拍手を送っている、なんていうとうそになるけど、まだ一度もデモに行こうと思つたことのない、自分の性格とか、人間性とかが、ちょっと気になってきた

のひとつでした。なぜなら安保フンサイを、人間の渦巻きにするためには、少なくとも、こうしたデモ隊の一員として加えなければならないからです。そのためには、彼らの気持を、少しでも謙虚に知る必要があると私たちは考えました。その結果はこちらのとおりです。このことばの多くは、けつしてスラスラと語られたものではないし、もしかしたら、語った當人にとつていいたりなかつたり、ちょっととした氣分で、日常思つても

デモは、いつの場合も、いかなるデモであろうとも、参加者の意志の確認と連帯の強化という側面とともに、見る人への効果的な反響を期待するという、もうひとつ重要な側面をもつてゐる。したがつて、熱い連帶のデモが、熱い連帶の拍手に迎えられるのが、もっとも効果的で、あわせなデモだと、私たちは考えます。そうした意味で、デモを見送る人たちの卒直な感想は、いつも気になるものひとつでした。なぜなら安保フンサイを、人間の渦巻きにするためには、少なくとも、こうしたデモ隊の一員として加えなければならないからです。そのためには、彼らの気持を、少しでも謙虚に知る必要があると私たちは考えました。

私たちには今回、このことばを再検討して、結論めいたものを出す作業をあえてやめました。このさまざまのことばの群はとらえかたによっては、ひじょうにアナーキーな不協和音かもしれないが、逆にその不協和音をきいてもらって、読者の皆さんに、それぞれ十人十色の結論を出していただいたほうが、いくぶん、このことばに対して誠実であるような気がしたからにほかなりません。(投稿)

## 音の単行本

# 疎外の構造 羽仁五郎

◆討論  
'70年安保を前にして鋭く自らを問う前衛たちの告発!!



### 【録音内容】

LPソノシート両面盤8枚

- 新しい市民運動像
- 戦後民主主義の亀裂
- 日本の裁判
- 状況からの脱皮

【本文記事】本文24ページ

- 激動の中の知性-羽仁五郎  
針生一郎著

●用語解説

好評発売中！ 價850円

株式会社朝日ソラマ

〒104 東京都中央区銀座4-2-6

☎(563)6021~9 振替東京40311



# 日米反戦共同行動はなぜ必要か

## フランツ・シャーマン

反戦キャラバンで来日した筆者が透徹した東洋研究家の目を通して70年アジアの現状と、アメリカにおける反戦行動の展望を語る

### 一、ベトナム戦争はどうなっているか

今日、二月七日はアメリカが北ベトナムの爆撃、つまり北爆を開始して五周年にあたる。今から約二年前の一九六八年三月三十一日、私はハノイにいた。その時、当時のアメリカの大統領、ジョンソンは北爆停止を発表した。そしてベトナムの人も他の国々にの人びともベトナム戦争はまもなく終ると考えた、北ベトナムの高官は私にこういった。「今や戦争を終らせる機械が動き出した」と。ベトナムへ平和を（）もたらす車輪がころがり出したと思ったのである。しかし、今日、ベトナムに平和はない。その

反対に戦争は拡大してきている。

さらにラオスに対する爆撃は南ベトナムに、匹敵するほど、強化されてきている。米空軍は、シアヌーク殿下の抗議にもかかわらず、カンボジア領内で戦闘をつづけている。さらに偶発的だといつてタイ北部を爆撃している。一方、ベトナム化の結果、アメリカの南ベトナムにおける戦闘部隊の損害は、実際上へってきている。反面、サイゴン政権の軍隊の損害は増大してきている。つまり、ベトナム兵士たちが余計殺されれば殺されるほど、彼らが自由を守るという戦闘精神を示しているとうけとつていて。だが、サイゴンにいるアメリカの軍人たちは、解放戦線および北ベトナムが、サイ

もっていることをしつてている。

そのことは、アメリカ軍の撤退を遅らせるし、サイゴン政権の軍隊が単独では、戦えないことを意味し、もっと多くの新しい血が流れることをしつていている。

### 二、ベトナミゼーションの意味

アメリカの支配者は、南ベトナムにおける戦闘部隊の損害は、実際上へってきている。反面、サイゴン政権の軍隊の損害は増大してきている。つまり、ベトナム兵士たちが余計殺されれば殺されるほど、彼らが自由を守るという戦闘精神を示しているとうけとつていて。だが、サイゴンにいるアメリカの軍人たちは、解放戦線および北ベトナムが、サイ

もっていることをしつていている。彼らは、南ベトナムにおけるアメリカの陸上部隊の十パーセントだけが実際に戦闘にくわわっていることをしつていている。ついで勝利するという彼らの望みを決してあきらめてはいないのだ。彼らは、南ベトナムにおける敗戦が東南アジア、さらには、世界におけるアメリカの力とその影響を減じて革命勢力を勇氣づけると考えている。彼らは、熱烈にドミニオ理論を信じてきだし、信じつづけているの

敗戦は、その戦術転換を余儀なくされた。また、この戦術転換の理由の一つには、戦争の高価さがある。アメリカの支配者たちは、この事実からアメリカがすべての力をもっていないことをさとり、いまや他の力をたのみとすることに気づいた。

彼らは、南ベトナムにおけるアメリカの陸上部隊の十パーセントだけが実際に戦闘にくわわっていることをしつていている。ついで勝利するという彼らの望みを決してあきらめてはいないのだ。彼らは、南ベトナムにおける敗戦が東南アジア、さらには、世界におけるアメリカの力とその影響を減じて革命勢力を勇氣づけることを信じてきだし、信じつづけているの

敗戦は、その戦術転換を余儀なくされた。また、この戦術転換の理由の一つには、戦争の高価さがある。アメリカの支配者たちは、この事実からアメリカがすべての力をもっていないことをさとり、いまや他の力をたのみとすることに気づいた。

彼らは、南ベトナムにおけるアメリカの陸上部隊の十パーセントだけが実際に戦闘にくわわっていることをしつていている。ついで勝利するという彼らの望みを決してあきらめてはいないのだ。彼らは、南ベトナムにおける敗戦が東南アジア、さらには、世界におけるアメリカの力とその影響を減じて革命勢力を勇氣づけることを信じてきだし、信じつづけているの

敗戦は、その戦術転換を余儀なくされた。また、この戦術転換の理由の一つには、戦争の高価さがある。アメリカの支配者たちは、この事実からアメリカがすべての力をもっていないことをさとり、いまや他の力をたのみとすることに気づいた。

軍部隊の徹底的破壊力をますます頼りにしてきている。たとえば、あるアメリカは、新しい戦術を考えたのだ。アメリカが空軍力をうけもって敵の攻撃力をおおはばにへらせば、これで対抗できる。陸上は現地軍、空はアメリカ軍という分担こそである。これは、一見すばらしいやり方にも見える。つまりアメリカの損害はへり、本国にいるアメリカ人たちは、喜ぶ。また、経済も今よりは、らくになる。サイゴン、バンコック、ソウルのカイライ政権は、すでに喜んでこの政策に加担している。彼らの権力は、アメリカのドルと武器に依存しており、このドルと武器をもらうかぎり、その加担をやめないであろう。

しかしアメリカは、他の援助も必要としている。もっと金持ちの国からの援助をさがしもとめている。たとえば、アジアにおいてはもつとも金持ちの国、日本である。ワシントンの日は、東京に釘付けにされている。昨秋、佐藤首相がワシントンでニクソン大統領と会談したとき彼らがこのことを話しあったにちがいない。佐藤氏はオキナワの本土返還を要求し、ニクソン氏はお金持ちの佐藤氏にオキナワ返還の代価を払うように要出し。この代価が何であったかは、最近の

日本の国家予算が答えていた。アメリカが国防費を減額したのに対し、佐藤氏は「今までの予算で防衛費をおおはばに増大させている」と警告している。事実、陸軍複合体が日本にも復活し、日本の東南アジアに対する進出が拡大し、対外援助費もおおはばにふえてきていた。これもまた、ベトナム化政策の一端にはかならない。アメリカの新しい考え方によれば、南ベトナムをはじめ韓国、タイ、フィリピン等は、兵隊の位をいえば二等兵の役割をはたし、アメリカは指揮者として将軍の位を維持する。そして日本は、尉官および佐官の位をはたすよう期待している。佐藤氏がこれに合意し、この政策に加担しようとしていることは、火を見るよりあきらかである。

### 三、アメリカの反戦運動はどうな

ぶ。また、経済も今よりは、らくになれる。サイゴン、バンコック、ソウルの力イライ政権は、すでに喜んでこの政策に加担している。彼らの権力は、アメリカのドルと武器に依存しており、このドルと武器をもらうかぎり、その加担をやめないのであろう。

等は、兵隊の位でいえば二等兵の役割をはたし、アメリカは指揮者として将軍の位を維持する。そして日本は、尉官および佐官の位をはたすよう期待している。佐藤氏がこれに合意しこの政策に加担しようとしていることは、火を見るよりあきらかである。

新しい戦術を考えたのだ。アメリカが空軍力をうけもって敵の攻撃力をおおはばにへらせば、これで対抗できる。陸上には現地軍、空はアメリカ軍という分担こそベトナミゼーション—ベトナム化—政策である。これは、一見すばらしいやり方のみえる。つまりアメリカの損害はへ

朝日新聞は、「予算の軍事化が懸念される」、「自衛隊の役割が陽をあびるであろう」と警告している。事実、産軍複合体が日本にも復活し、日本の東南アジアに対する進出が拡大し、対外援助費もおほばにふえてきている。これもまた、ベトナム化政策の一端にはかならない。アメリカの新しい考え方によれば、南ベ

たい、「声なき多数派」とは、誰たちなの  
か誰もしらない。世論調査のときだけ数  
のうえで勘定されているだけだ。ワシントンの又成デモに参加した人々とはどう

たい、声なき多数派」とは、誰たちのか誰もしらない。世論調査のときだけ数のうえで勘定されているだけだ。ワシントンの反戦デモに参加した人々をはじめ“声ある少数派”は、反戦の運動をやめてしまつたわけではない。彼らは小集会を開き、小さいデモを行ない、小さな共同社会で労働者に、教師に、家庭の主婦たちに話しかけている。科学者や技術者は、軍拡競争に反対する運動を組織しており、高校や大学の学生たちは、アングル支配者は、ファシストでもなければミリタリストでもないかも知れない。彼らは、自動機械の操縦者であり政治や戦争のチエスの盤面で冷静にその駒を動かしている。彼らは、アメリカにある平衡状態をうみだせるものと考え、軟らかいタッチのP.R.作戦でアメリカ人の恐れをなぐすようにつとめている。したがつてフランス人やミリタリストは、ニクソン氏一派が失敗することを望んでおり、ベトナム戦争の終結など信じてはいない。

ラの反戦紙を発行している。黒人たちも差別撤廃に力をそいでいる。ニクソン氏およびその仲間たちが、"声なき多数派"とよぶ連中がテレビを見ている一方で、"声ある少數派"つまり、私たちは少なくとも行動している。そしてその行動は私たちの日常生活に深くくいこんでいる。

その理由はかんたんだ。ミリタリズムとファシズムは日ましに育成され、右翼の軍国主義者たちは、ワシントン牛耳っている。アメリカの多くの都市では、警察力が政治力となり、貧民区域はまるで警察の占領下同様である。アメリカの

数年前よりも今日の状況は、平和よりもとうがかつていて、危機がせまっていく。数年前の最大の危機はベトナムだけであり他の世界は、基本的に安定していた。しかし、今日世界の多くの地域で危機は増大している。ベトナム戦争が拡大する一方、軍拡競争が再開され、資本主義諸国のインフレは高進し、経済破綻がせまってきている。私たちは、まずこれらのファシストやミリタリストたちが権力を握らないようにしなければならないし、同時にニクソン氏や佐藤氏が自分勝手にチエスの盤上で生命ある駒を動かさないよう努力しなければならない。

で警察の占領下同様である。アメリカの右翼はじっさいには、「声なき少數派」であるが、「声なき多數派」とはちがつてきわめて行動的であり、権力を握るための努力をつづけている。あたかも一九三〇年代初期のドイツにおけるヒトラーのやり方に類似しているといえるだろう。一方、ニクソン氏およびその仲間の

#### 四、ベトナム戦争は日本の問題なのだ

アメリカ人にとって日本人としても、私たちの敵は共通しているはずだ。たとえばオキナワと安保の問題は、日本の問

題であると同時に日本の問題である。アシストとミリタリストは、私たちにとって共通の敵であるにちがいない。日本のある人びとは独立した日本の軍事力を夢みているかもしない。しかし実際は、アメリカの帝国主義の手先でしかありません。もし、アメリカがファシストの手におちれば日本もその中におちいるより他に道はないだろう。ということは、もし日本におけるファシズムやミリタリズムの勢力が増大すれば、アメリカのファシストやミリタリストは力づけられ、帝国主義は国をこえてひろがるだろう。しかし、もしペンタゴン（アメリカ国防省）がベトナム人との戦いに絶対に勝てないことを認識し、外国からのいっさいの援助が得られないと認識し、また、アメリカの国民が外国での戦争に加担することを拒否していることを認識すれば、ベトナム戦争は、終結せざるを得ないだろう。

健在だが一九七〇年のこんにち、困難な時期にさしかかっている。ベトナム戦争は拡大し、核武装や軍備は拡大し、軍事予算は増進している。ニクソン氏がいう生活の質の向上どころか、へたをすれば韓国のように警察と軍隊によって支配される独裁国になる恐れは十分にある。私たちの戦いの目標は共通しているし、行動も共同しなければならない。

## 五、日米両国反戦の連帶を

おける反戦運動は、成長してきている。徴兵拒否の運動をはじめ、軍内部の反戦活動、軍拡阻止への科学者たちの戦いなど、アメリカ国民への直接のおよびかけがけが行われている。その反面、アメリカ国民の直接の関心事でない場合、反響は必らずしも大きくない。たとえば、オキナワ問題や安保問題はそれほど大きくとりあげられてはいない。

阪にやって来る外国人に外国语でベトナム問題、オキナワ問題、安保問題は語れないものだろうか？ そしてアメリカと日本で反戦運動の連帯をはかるように努力できないのだろうか？

現在ほどアメリカの日本への関心が高まっているときはない。寺さえまだがえり

ればこの間のモラトリームやモビリゼーションの時のように何十万という多くの人びとを動員できる力をもっている。したがってローカル化し、分散化した反運動は弱化したとはいえないし、むしろ強くなっているといえるかもしれない。ローカル化したことば、イデオロギーのちがいをこえ、さらに多くの人びとでいるといえる。少なくともアメリカ文化

か！　日本の基地にいるアメリカ人に直接によびかけて反戦グループの存在を知らすことができないだろうか？　また、アメリカにおける反戦グループによびかけて安保やオキナワ問題に対する特別委員会の設置をすすめないのだろうか？　あるいは、アメリカの反戦活動をしているリーダーたちを夏休みに日本によべるのだろうか？　もっと直接的に大阪の万博会場付近に反戦運動の存在をしらすこと

トナーカあることをアメリカ大にかしてある。今やアメリカの反戦運動と日本反戦運動は、共通した目的で展開している。アンボ、フンサイ！ という言葉は世界のいずれにおいても、ファシズムとミリタリズム反対！ という叫びにむすびついているのだ。ニーポンと米国の反戦運動を共同させなければならぬいという理由は正にここにある。(七〇)

## 法案提出の背景

昨年の国会で審議未了のまま廃案となつた出入国管理法が今年の国会でふたたび審議されることになったと新聞が報じている。その立法趣旨は「1、現行出入国管理令は昭和二六年十月まだ占領下にある時、いわゆるポツダム政令として制定され、平和条約発効後も法律としての効力を有しているが、このような措置を長期間続けていることは、国際的にも国内的にも好ましいことではない。そこで、ここに装いを新たにして出入国管理の立法化を国会に求めることとされた。2、現行令制定後十七年を経過する間に、：出入国者が飛躍的に増加し、またこれに伴い時には好ましからざる外国人の入国する事例の存することも否定できないところであるので、現行制度を全面的に改善して、出入国手続を簡素化するとともに在留管理制度の合理化を図り、現行の国際的要請及び国情に応じた出入国管理制度を確立する必要があるとされた。」

（法務省入国管理局参事官辰巳信夫　出入国管理法案について）

ける国民はその眞の狙いを知られず欺されてしまつものだ。この法案が国会における多数決により正当化され、法として具体的に私たちを拘束する前に、眞の狙いを知り、叩きつぶすことが、私たち憲法を実現擁護し平和を築くものの義務である。出入国管理令はいうまでもなく外国人および日本人の出入国を管理する行政の基本法である。しかしながら私たちはこの法律を見るとき、たんに出入国という手続を管理するものではなく、じつは外国人および日本人を、人間を管理するものであるということに気づくであろう。「外国人の出入国管理の本質は、自國領域内に外国人を入国又は在留させることから受ける利害得失を勘案し、国家社会に不利益となる外国人はこれを排斥するとともに、利益をもたらす外国人の入国はこれを助長する目的のもとに、外国人個々につき自國に対する価値を検討して、その入国又は在留の可否を決定する行政処分である。」

（外国人の出入国管理に関する各法の法制について）

法律はすべて憲法に基づくといわれる。しかし同じ法律の中にもいろいろのものがある。道路交通法は交通秩序の安全と円滑を目的とし、車両どうし、あるいは車と人との相互のルールを定めるものである。この法律は運転者が歩行者が誰であるかによって区別はしない。金持ちも貧乏人も、公務員も民間人を等しく互いに共通のルールによって縛られる。ところで刑法にある公務執行妨害罪はどうか。ここには公務という国家的立場にある人とそうでない立場とに明瞭に差別がある。一般国民に成立するが公務執行妨害罪は成り立しない。公務員に対して暴力を加えれば暴行罪は成り立つ。公務員に対する暴力を強化する治安立法性をそなえている。以下その内容を概観してみよう。

現在日本に在留し外国人登録をしていてはその在留者である。法律による支配を受けたのが政府の説明である。法律の眞の狙いを一番よく知っているのはいつの時代にも支配者である。法律による支配を受けたが、それを執行するものにとつて、その外国人が有害であるか否かによって外国人の入国の可否を決定し、あるいはその在留

を制限するというのがこの法律の本来の趣旨なのである。けれどもその立場を相互に交換できなければ、いかであります。しかし公務執行妨害罪は、その成立要件を明瞭に示すことに對して人権侵害をさせないと、国家を制約する方向での法律ではないのである。「外国人は煮て食おうと焼いて食おうと自由である」と法務省出入国管理局参事官池上努が言つたのはあまりに正直である。

## 政府の恣意が人権侵害

法律はすべて憲法に基づくといわれる。しかし同じ法律の中にもいろいろのものがある。道路交通法は交通秩序の安全と円滑を目的とし、車両どうし、あるいは車と人との相互のルールを定めるものである。この法律は運転者が歩行者が誰であるかによって区別はしない。金持ちも貧乏人も、公務員も民間人を等しく互いに共通のルールによって縛られる。ところで刑法における公務執行妨害罪はどうか。ここには公務という国家的立場にある人とそうでない立場とに明瞭に差別がある。一般国民に成立するが公務執行妨害罪は成り立つ。公務員に対する暴力を強化する治安立法性をそなえている。以下その内容を概観してみよう。

四三年十二月末現在、朝鮮乃至韓国人五九八、○七六名、二番目に中国人五五〇、四五五名、三番にアメリカ人一七、二八六名以下イギリス、ドイツ、カナダ等の順序で総数六八五、○七五名である。また昭和四三年度の正規入国者はアメリカ人一九九五八一名、韓国人三九、六三四名、中国(台灣)人二五、一一五名以下イギリス、フィリピン、カナダ等合計四一八、五五二名(法務省 入出国管理局審判課違反調査係長 下野博司、出入國管理の現況についてである。日本における在留外国人の九〇パーセント近くが朝鮮乃至韓国籍を持った人たちである。しかもそのほとんどすべては戦前から日本に在住し、あるいはその子供として日本に出生した人たちである。

十五日「出入國に関する覚書（S C A P I N一一二二号）」は日本政府に対して不法入国者の逮捕送還につき國家警察ないし自治体警察とはまったく関係のない行政機構を設置し、入國者の身元状況につき完全な情報を得ること、そしてその情報はただちに連合国最高司令官に提供するべきことを「至上命令」として要請した。日本政府はそれにより出入國管理庁を設置し、さらには「不法入國者退去強制手続令」を制定した。そして、この手続令を実行容易にし、出入國管理全般にわたるものを作るべき総司令部の勧告により現在の出入國管理令が生まれたのである。

このよきな管理令の内容はアメリカの移民法の特質がそのまま採用されている。

その他の団体を結成し、若しくはこれに加入している者「左に掲げる政党その他の団体を結成し、若しくはこれに加入し、又はこれと密接な関係を有するも(1)公務員であるという理由に因り、公務員に暴行を加え、又は公務員を殺傷することを勧奨する政党その他の団体(2)公共の施設を不法に損傷し、又は破壊することを奨奨する政党その他の団体(3)工場事業所場における安全保持の施設の正常な維持又は運行を停廃し、又は妨げるような争議行為を奨奨する政党その他の団体「右に規定する政党その他の団体の目的を達成するため、印刷物、映画その他の文書図書を作成し、頒布し、又は展示した者」をすべて退去強制該当者として掲げている。

た東京高等裁判所の裁判官をして、入管行政がこのような法令の下に治安機関として機能してきたことは最近新聞で報道された。昭和四年二月一日第二民事部決意を「いわゆる不法入国」不法滞留にも人によって事情が異なる、退去の即時強制によって人の被る損害にもいろいろある。これらいっさいの事情を無視し、たんに法定の手続、条件に違反していることの一事をもつて、機械的にすべての不法入国者、不法滞留者を即時に強制退去せしめようとすることは、本来、人の福祉に奉仕することを目的とする行政の態度ではない。およそ法にも涙がある。いわんや法の枠内において自由裁量により、ことの当否を判定することを主眼とする行政には涙がってよいのではあるまいか……」と言わしめたことに端的に示されている。

は、新たに日本に来る外国人には、さまざまなもの条件を付し、とくに社会主義国との自由な交流を規制制限することであり、その二つは外国人の在留活動の規制を強化し、「好ましからざる」人物の退去強制を徹底していくことである。

現行出入国管理令になかった二、三の制度を取ってみよう。

法第八条には遵守事項の規定が新設された。現行令でも外国人はその来日目的にそって在留資格が定められており、その在留資格外の活動を専ら行っているものについては退去強制事由とされているが、さらに法案では在留資格のほかに法務大臣が適当と認める条件を付すことができ、在留するについて言動規制が自由にされることとなつた。

条件に違反したものに對しては行為命令、中止命令が出され、これに従わないものは刑事処罰を受けるほか、退去強制の対象となる。「外国人の在留管理を合理化する規定」(前出、辰巳參事官)として説明するが、法務大臣が付する適当な条件とは「わが國の利益に反するおそれのある活動の禁止制限、一定の事項についての届出義務」(前出、辰巳參事官)を主眼においていることは明らかであろう。

法案第七十三条はいわゆる行政

安保フンサイへ・人間の渦巻を.

調査権なるものを新設した。出入国管理に関する法務大臣、主任審査官の権限を行使するにつき事実調査が必要と自ら認めるとき入国審査官或は入国警備官は「関係人」に対し質問権、文書物件の呈示権を持つことになる。昨年の国会審議中に世論を怖れてか削除はしたが、この調査に對して陳述しないこと、または虚偽の陳述をすること、文書物件の呈示をしないことはいずれも犯罪になり三万円以下の罰金刑さえ課されることになっていた。これほど明瞭に憲法無視の法案を国民の前に出した例は他に見当たらない。「関係人」とは外国人のみならず外国人と交際を持つすべての日本人がそれにあたることとなる。

日本の反戦平和運動はアジア諸国を初めとして広く世界の人

民との連帯なくして推進できな

い。反戦平和運動を支えるもの

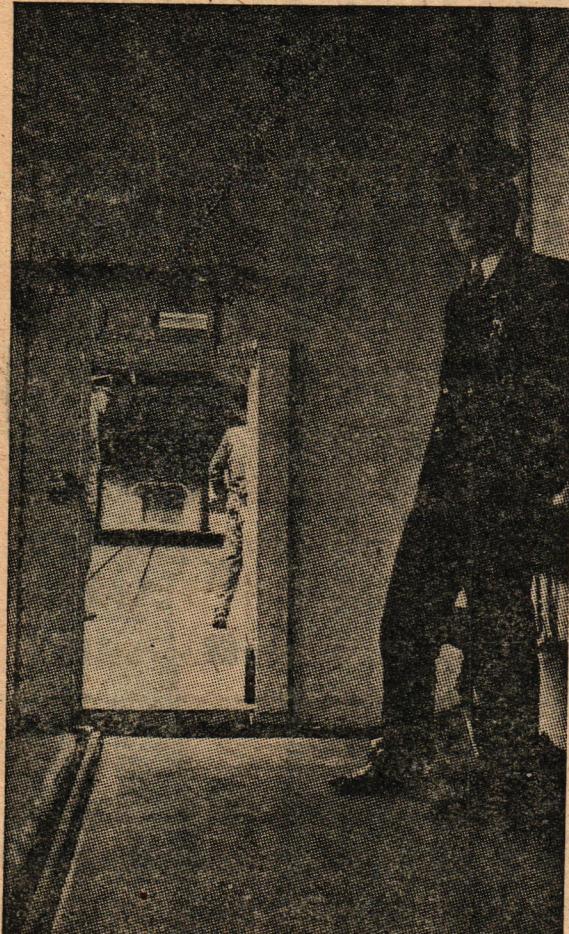
はすべて「関係人」として調査を受けるべき保障はどこにもない。

法案が現行入管令の装いを新たにして、直接入民に挑戦しはじめたというのは過言であろうか

まして黙秘することも許さない

という規定はまさに憲法の基本的

的人権を否定しましていくものにほかならない。法案第六章は退去強制の手続を規定しているが、違反調査に対する行政手続



刑務所よりもいかめしい大村収容所入口

上の異議の機会を従来の三段階から二段階までに簡略化し、退去命令発布の手続と法務大臣による特別在留許可の手續をきり離した違反事実があれば即時退去命令が出て、その間に従来あつた法務大臣の裁量の機会はなくなつた。いったん退去命令が出てからべつに出願という手続で法務大臣に特別在留許可を願い出ることになる。

法務省入国管理局辰巳参事官は「人道主義の見地から」法務大臣に対する特別許可の出願を認めることとしたが、特別許可の制度をおく國にあっても、当該外国人にその出願を認めていた。

法案が退去命令と出願手続という二つに分離したことは、現在あまた行なわれてゐる非人道的退去強制の執行に対する行政訴訟を不可能にするものである。法案はいっさいの行政訴訟を不可能にすることを企図したことになるといわれる由縁である。

法案が退去命令と出願手続という二つに分離したことは、現在あまた行なわれてゐる非人道的退去強制の執行に対する行政訴訟を不可能にするものである。法案はいっさいの行政訴訟を不可能にすることを企図したことになるといわれる由縁である。

日本にわたり、その外国人の在留を事実上認めざるを得ない事態となるのを免れない。(法務省入国管理局「出入国管理とその実態」)と嘆く卷返しとも受け取れる。

以上のほかに仮放免制度の廃止、面会禁止条項、本人の意思により、米軍関係者は一切出入国管理令の適用を受けない。何故ならば日本国にとって「好ましい」外国人とされているからである。在日朝鮮人も韓国人忠誠を誓い韓国籍を取得したものは日韓条約に基いてきた出入国管理特別法により協定永住権を取得でき、退去事由は緩和されれる。これも「好ましい」外国人だからであろう。これ以外は「好ましからざる」外国人として出入国管理令の対象となる。

法案は安保体制の強化の国内治安立法としての性格を如実に示すものと言えよう。

法案はまさしく私たちの日本憲法の下に、私たちが選挙した国会により、日本人の名で作られようとしている。「他民族を抑圧するものは自らも解放されない」という真理を新たに認識しなくてはならない。

# 三島由紀夫

そのVI



真継伸彦

「天皇は、われわれの歴史的連續性・

文化的統一性・民族的同一性の、他にかけがえのない唯一の象徴だからである」

三島由紀夫氏の「反革命宣言」なるもの的内容を紹介しつつ問題点を列挙して

いる今は、右の主張こそ氏の防衛論の骨子であることを、もう一度念を押してお

いて、さきに進もう。私はもちろん氏の日本文化論にたいしては、私自身が日本

文化論を対決させて、氏の天皇論にたいしては、私自身の天皇論を対決させ、デ

タラメきわまる相手の論旨を、正面から批判するつもりである。挙げ足ばかりを

とる気は毛頭ないのだが、ただし、後述するように、私と氏の視点は、文字どおり月とスッポンほどに異なるのである。こ

れまでにも若干ふれてきたことだが、私は仏教という世界文化的な視野に日本文化を置いて観察している。三島氏はそれ

にたいし、日本文化という辺境文化を、しかもそのうちの神道文化のみを強調して、それを防衛しようとする。私はイン

た儒教や、老庄思想なし道教と、我国

本来の神道との複合体としての日本文化を、そのままに見ようとする。三島氏は

そのうちのごく一部に偏執し、盲愛する。

私は客觀主義的であり、相手は主觀主義者であり、それも狭隘きわまる主觀主義

者である。私は鏡のように相手の蛙の面を映したい。どんな

井戸のなかで、ギャロギャロわめいてい

るのかを、ありのままに示したいのだが今はそのためには、相手のわめき声をます

披露している次第なのである。

さて、三島氏は「反革命宣言」の四に

おいて、氏が共産主義に反対する理由と

して、天皇制否定のほかにもうひとつ、言論の自由の否定ということをあげる。

「もちろん言論の自由は絶対的価値で

私と氏の、共産主義にたいする見方は大いに異なるのだが、しかし、現実の共産主義社会ないし社会主義社会に、言論の自由が存在しないという、一般的な認識、および、言論の自由にたいする要求は、当然のことながら共有する。ただし、言論の自由の要求の内容は、やはり大きいに

異なるのである。

「われわれは天皇の真姿を開題するた

めに、現代日本の代議制民主主義がその長所とする言論の自由をよしとするものである。なぜなら、言論の自由によって

最大限に容認される日本文化の全体性と

文化概念としての天皇制との接点にこそ日本が発見すべき新しく又古い「國體」

が現われるであろうからである」

というのだが、三島氏の言論の自由要求の内容であるが、冒頭の文章に注意されたい。天皇主義者である氏は、天皇主義のためには言論の自由を要求する。すなわち、絶対主義者である氏は、自己の絶対

政治制度は、理想主義と指導者を欠く欠点を有するが、言論の自由を守るには最適であり、これのみが、言論統制、秘密警察、強制収容所を必然的に随伴する

全体主義に対抗しうるからである。従つて、第二に、われわれは、言論の自由を守るために共産主義に反対する。

われわれは日本共産党の民族主義的仮面、すなわち、日本的方式による世界最初の、言論自由を保障する人間主義的社会主义という幻影を破碎するであろう。この政治体制上の実験は、(もしそれが成功すれば忽ち一党独裁の怖るべき本質を

ども、相対的にはこれ以上よいものは見当たらず、これ以上、相手方に対する思想的寛容という精神的優越性を保たせるものはない)

と、三島氏は主論文「文化防衛論」のなかでもくりかえすのだが、今度は最後の文章に注意していただきたい。いかにもエリート意識にかたまたった絶対主義者らしい台詞ではないか。この蛙はおのれがどんなに偉いかをみせびらかしたいために言論の自由が必要だと言っているのである。このような言論の自由要求論を、まあ一度、氏の共産主義と対比して検討いただきたい。

「言論の自由を保障する政体として、現在、われわれは複数政党制による議会主義的民主主義より以上のものを持っていない。この『妥協』を旨とする純技術的政治制度は、理想主義と指導者を欠く

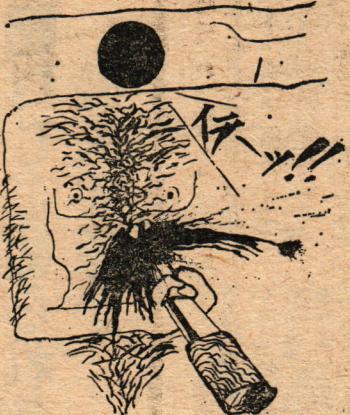
欠点を有するが、言論の自由を守るには最適であり、これのみが、言論統制、秘密警察、強制収容所を必然的に随伴する

全体主義に対抗しうるからである。従つて、第二に、われわれは、言論の自由を

守るために共産主義に反対する。

われわれは日本共産党の民族主義的仮面、すなわち、日本的方式による世界最初の、言論自由を保障する人間主義的社会主义という幻影を破碎するであろう。この政治体制上の実験は、(もしそれが成功すれば忽ち一党独裁の怖べき本質を

あらわすことは明らかだからである」



私はキューバなどごく少数の例外をぞき、現存する代表的な社会主義国家がナチス、ドイツと同様に「言論統制、秘密警察、強制収容所を必然的に随伴」した全体主義国家であることを認める。なぜ、もともと人間の全体的な解放をめざす共産主義の理念が、現実には人間を全体的に抑圧する国家しか生みだせないのか、というのは、私にとって最も切実な問題の一つである。私はスターリニズムに至らぬ社会主義への道を、ずっと考えつづけているのだが、共産主義が全体主義に至ってしまう根本的原因は、実は三島氏の天皇主義と同様の絶対主義、すなわち、ある思想なり政策のみが、絶対

に正しいとする硬直した信条にある。

ところが、絶対に正しい思想なり政策はもともとあります。政治とはたゞさる試行錯誤でしかなく、それも、殺人をともなう試行錯誤であることがおそろいである。硬直した絶対主義が政治という実現過程にはいれば、かならず抹消されずにつぶされる。

私の共産主義にたいする疑義は、その思想の絶対主義性にかかる。とすれば、私の見地からみれば天皇主義者も一つ穴のムジナである。三島氏の天皇主義も、それが絶対主義的であるかぎりは全体主義にいたらざるをえない。三島氏が日本共産党を批判するときは、偽善者が偽善者にたいし、テメエは偽善者だとののしっているのと同じである。氏の言論の自由尊重論は、

日本共産党の自由尊重論（ただし氏のレンズを通っているところ）と同様に欺瞞的なである。

相対主義者である私の言論の自由への要求の根拠は、彼ら絶対主義者とはゼッタイに異なる。だれもが自分の意見なり要求を言語が表現し主張する権利があるという、ただそれだけの、最も一般的かつ原初的根拠なのである。同時に、人とい

うものがもともと相対的な思想である。私はキューバなどごく少数の例外をぞき、現存する代表的な社会主義国家がナチス、ドイツと同様に「言論統制、秘密警察、強制収容所を必然的に随伴」した全体主義国家であることを認める。なぜ、もともと人間の全体的な解放をめざす共産主義の理念が、現実には人間を全体的に抑圧する国家しか生みだせないのか、というのは、私にとって最も切実な問題の一つである。私はスターリニズムに至らぬ社会主義への道を、ずっと考

えつづけているのだが、共産主義が全体主義に至ってしまう根本的原因は、実は三島氏の天皇主義と同様の絶対主義、すなわち、ある思想なり政策のみが、絶対

に正しいとする硬直した信条にある。

ところが、絶対に正しい思想なり政策はもともとあります。政治とはたゞさる試行錯誤でしかなく、それも、殺人をともなう試行錯誤であることがおそろいである。硬直した絶対主義が政治という実現過程にはいれば、かならず抹消されずにつぶされる。

私の見地からみれば天皇主義者も一つ穴のムジナである。三島氏の天皇主義も、それが絶対主義的であるかぎりは全体主義にいたらざるをえない。三島氏が日本共産党を批判するときは、偽善者が偽善者にたいし、テメエは偽善者だとののしっているのと同じである。氏の言論の自由尊重論は、

日本共産党の自由尊重論（ただし氏のレンズを通っているところ）と同様に欺瞞的なである。

相対主義者である私の言論の自由への要求の根拠は、彼ら絶対主義者とはゼッタイに異なる。だれもが自分の意見なり要求を言語が表現し主張する権利があるという、ただそれだけの、最も一般的かつ原初的根拠なのである。私はキューバなどごく少数の例外をぞき、現存する代表的な社会主義国家がナチス、ドイツと同様に「言論統制、秘密警察、強制収容所を必然的に随伴」した全体主義国家であることを認める。なぜ、もともと人間の全体的な解放をめざす共産主義の理念が、現実には人間を全体的に抑圧する国家しか生みだせないのか、というのは、私にとって最も切実な問題の一つである。

私はキューバなどがもともと相対的な思想である。私はキューバなどがもともと相対的な思想である。

私が、たとえば原爆被災者救援等の、博愛的な事業に献身したという話は、聞いたことがない。自分が何もしないで、他人のアラバカリをあばきたてるのは、卑鄙なぐらいだ。しかし、当り前の要求が抑圧されようとしているときは、当り前のことを書きつづけるべきだろう。

そういえば、つい先日、沖縄の全軍労働組合で行なわれたとき、三島氏の大好きな右翼の手によって、またまた妨害された。あなたはこの行為をどう評価するのですか。あなたがどういう評価をしようと、その評価を言語表現だけではなく、実践でもって示すこと私は要求する。あなた自身が、自分の思想を実践でもって、すなわち、人斬り包丁をふりまわして示すと誓っているのだから。

三島氏はこの「反革命宣言」の補註において、原爆問題や在日朝鮮人問題に言及している。それは、こういう問題を政治的に利用する、日本共産党その他の左翼を批判するという形で、刺身のツマ的に言及されているのだが、私は、こういう類の文章を読むと吐がたつ。テメエが原爆問題、在日朝鮮人問題を解決するために、今まで何をしてきたのかと言ったくなる。私は三島氏自身が、どこかの雑誌で、自分が何億円かの財産家であると誇示した文章を読んだり、バタクサイその豪邸の写真をみたことはあるが、

私が、たとえば原爆被災者救援等の、博愛的な事業に献身したという話は、聞いたことがない。自分が何もしないで、他人のアラバカリをあばきたてるのは、卑鄙なぐらいだ。しかし、当り前の要求が抑圧されようとしているときは、当り前のことを書きつづけるべきだろう。

そういえば、つい先日、沖縄の全軍労働組合で行なわれたとき、三島氏の大好きな右翼の手によって、またまた妨害された。あなたはこの行為をどう評価するのですか。あなたがどういう評価をしようと、その評価を言語表現だけではなく、実践でもって示すこと私は要求する。あなた自身が、自分の思想を実践でもって、すなわち、人斬り包丁をふりまわして示すと誓っているのだから。

三島氏はこの「反革命宣言」の補註において、原爆問題や在日朝鮮人問題に言及している。それは、こういう問題を政治的に利用する、日本共産党その他の左翼を批判するという形で、刺身のツマ的に言及されているのだが、私は、こういう類の文章を読むと吐がたつ。テメエが原爆問題、在日朝鮮人問題を解決するために、今まで何をしてきたのかと言ったくなる。私は三島氏自身が、どこかの雑誌で、自分が何億円かの財産家であると誇示した文章を読んだり、バタクサイその豪邸の写真をみたことはあるが、

## ■封じこめられるか 侵入するか

なぜなんのためにどうする  
これからどうしてゆくかの  
自問・他問を断つま...

一昨年の九月三〇日、神田で逮捕された日大生一四人の第一回統一公判が、二月一八日、東京地裁であった。

検事は起訴理由として、児器準備集合と大学校舎侵入の共同謀議をあげ、侵入する目的で児器（火薬ビン、コンクリート塊、棒など）を用意して多数の学生が集つて神田路上を走ったがゆえに、池田某以下一六人の警視庁機動隊員が一、二週間の負傷を受けたと述べた。

ところが、弁護人側から、機動隊はいったい何の目的で、いつどこに出動したのかその「特定」をたずねられ、ほとんど答えられない。

また、学生が、いつどこで何の目的で警察に傷を負わせたかの理由の「特定」も返答できなかつたのであった。

上の機動隊員は、朝から何も起

を打つたのは、冒頭の人定尋問のさい、現住所はという質問に對し多くの学生が拘置所の所番地をいい、現在きみは日大生ですね、という念押しに対し、何

人かが、革命家ですと答えたことである。

もちろん学生はユーモラスな決意をこめ答えたのだが、は

い、日大生ですという返答と、もちろん学生はユーモラスな決意をこめ答えたのだが、は

い、日大生ですという返答と、

革命家ですという返答と、少しも矛盾せずに廷内に響き、日本一大生＝革命家という総体的人間がそこにあつてきわめて論理的に裁判そのものを告発し、釈放後の大学における闘いを宣言していた。

被告団長、田村正敏（日大全

共闘書記長）は、「傍聴人は一人でも多く明日から三里塚へ行ってください」と後向きのまま叫んで護送警官の人垣のなかへ消えた。

さて、今年も何十万もの大学生が誕生する。

いくつかの国立大学は、入試方法の改革案を示し、カリキュラムをいくらか改革した。

裁判長は、検事のしどろもどろを当日全面的に弁護し、弁護人の積み要求を、検事の盾となつて懸命に防いだ。

たまりかねた被告席学生の一人が「裁判長はいつ検事の助手の繰り返し、この力学を大学内になつたのですか」と叫んだ。

それよりなにより傍聴者の胸

かば永久に安泰である。

彼らは「何とか切り抜けよう」としている。いつさいの拘置所内学生は彼らの視野外にある。

裁判のルールは大学の制度手

なおしとともに、殺された学生の屍を越えて進む。

新入社員にも  
チャンスはある

### アンボ 就職

## 新入社員にも チャンスはある

せっかく会社が「集中教育」という形で用意してくれたオルグのチャンスを見逃すのはもったいない次第だ

スターは試用期間に  
年度がわりの四月が近づいてきた。

そこで「新人社員造反法」。

まず条件として、教育期間は

「試用期間」で、労組員の資格

もない、ということがある。だから、会社としては、容易にクビ切りができるわけだ。その実例も決して少なくはないのである。もったいない次第だ。

そこで、提案を二つ、三つ出していく。まず、新入社員教育＝合宿のときに、労組とコネをつけ、できれば労組幹部にしておこう。まず、新入社員教

育＝合宿のときに、労組とコネをつけ、できれば労組幹部に

「闘争史」でも特別講義をさせること（既成労組など信用できない、と反論する人もあるだろうが、まずは向うの話を聞いてみようじゃないか）。

次に、同期の新入社員で、大

70年春、すでに大学生となつた青年は、なぜなんのためにどうにして学生になり、このようにして学生になり、これからどうしてゆくのか、この自問と他問が断たれるなら、

それからどうしてゆくのか、この自問と他問が断たれるなら、

それからどうしてゆくのか、この自問と他問が断たれるなら、

それからどうしてゆくのか、この自問と他問が断たれるなら、

学卒も、高卒も、中卒もひらく  
るために、親睦会を組織しよう。  
少なくともそこでは、何をしゃ  
べっても会社側に洩れないよう  
な集りとして、である。そうじ  
た集りがつくれば、後に労組  
革新でもぶち上げるとき、有力  
な拠点となるに違いない。

## ミドル層を分解せよ

新入社員教育の終りころ、感想文を書かせたり、ペーティであいさつをさせたりする会社が多い。これには注意深く対処したい。あいさつでも、テーブルで録音をとつておくところが多いからだ。気楽に「頑張ります」などと妥協的なタテマエでしゃべるのも、後で困るし、張切りすぎて、聞き手の状況も知らずに反戦演説をぶつのも得策でない。

具体的な行動開始は、教育が終了して、現場に配属されてからだ。ネラいは、まずスタッフ（人事課・社長室など）とライソ（生産・営業などの現場）との矛盾である。求人募集から教育期間を通じて、スタッフはきちんと甘い約束をバラまいていたことだろうが、ラインに入ると、とてもその通りにはいかない。そのとき、「約束がちがう」という攻撃を、ラインに向けるのではなく、スタッフのほうに

向けるのがたいせつである。  
勤務内容についてあれ、残業についてあれ、約束と違うからといって、ラインのなかでだけケンカするのでは、「造反」としてもモノが小さいのだ。もう一歩すすめて、ラインとスタッフの矛盾を拡大し、深刻化す

ところまで、造反の渦を巻き起していこう。

よに暮そう」となると、これはまた異質な、法的、社会的な制度としての「結婚」がでんとし、て横たわっていて、役所に届け出したり、親類、縁者を招いて、お金のかかる結婚式を挙げたりするはめになります。

て、花ヨメ花ムコとも一言も口をきかない、かたくるしい宴をやめて喫茶店でも借りて気楽なパーティを開いたらいいが。

# アンボ 結婚 努力して式をやめる方法

いますぐできること

すげて、聞き手の状況も知らずに反戦演説をぶつのも得策でない。

終了して、現場に配属されてからだ。ネラいは、まずスタッフ（人事課・社長室など）とライン（生産・営業などの現場）との矛盾である。求人募集から教育期間を通じて、スタッフはきちんと私たちに甘い約束をバラまいていたことだろうが、ラインに入

豪華な花嫁衣裳も、盛大な宴席も、「オレたち」のためではなく、「御両家」のステータス・シンボルなのです。「×男くん、

ところが、現実には、「好い  
て好かれて」までは、ひとりの  
男とひとりの女のプライベート  
なことでありえても、「いらっしゃ

をかねて二人の写真でも貼った  
カードを送ったらどうですか。  
どうしても友人を呼んでおめでたがってほしいときは、せめ

自分の身のまわりから、不自由な絆を一つ一つ切り離していくことを、七〇年にはじめようではありませんか。

れもけっこう。ただ、もし子どもが生まれた場合、やっかいになってしまいます。

そこで、届け出の問題はさておき、いますぐできることとして提案したいのは、結婚式をやめることです。

結婚式をするならせいぜい自分で酒でもだして、「オレたちは幸せなんだ。まあ酒でも飲んでくれ」というのが礼儀というものでしょ。

せっかくのキンランドンスやウェディング・ドレスをできるだけ多くの人に披露したい花月

×子さんご結婚式」と書かれて  
いる式場はどこにもなくてそれ  
はいつも「××家御結婚式」で  
あり、招待状さえ、いまだに本  
人からでなく、「御両家」から  
いませんぐできること

十七年は第一歩を  
受験、就職、がんじがらめの  
社会のなかで、せめて、結婚ぐ  
らい、好きなようによつてみた  
らいいがでしよう。

メさん、勇気を出して、その衣装の今まで反戦デモをしてみませんか。さすがの鬼の機動隊も、ウェディング・ドレスには手が出ますよ、三百円です。

お金が無駄です。一〇万円に  
しろ、五〇万円にしろ、たった  
二時間の披露宴のために使って  
しまうのは、もったいないはな  
いです。「結婚式、やらないわ  
けにいかないだろ。オレたちは  
それだけのことです。いってみ  
まへ

「御両家」とか「祝詞」とか、しらじらしいスピーチなど、非人間的なものを、人間的としかいいようのない結婚にまでもちこむことは、あまりにもナンセンスです。

出ないかと思います。それは質問の一つ、みんな振りかえるから、デモの効果は満点です。

「親が  
れば、結婚はまつたくプライベ  
ートなことです。  
どうでもいいんだけど」  
うるさいもんな

結婚したことを友人に知らせたかったら、新しい住所と、紹介

にすること、これはできることです。結婚式だけじゃなくて、

豪華な花嫁衣裳も、盛大な宴も、「オレたち」のためではなく、「御両家」のステータス・シンボルなのです。「×男くん、ところが、現実には、「好いて好かれて」までは、ひとりの男とひとりの女のプライベートなことでありえても、「いっし

をかねて二人の写真でも貼った  
カードを送ったらどうですか。  
どうしても友人を呼んでおめで  
たがってほしい向きは、せめ

自分の身のまわりから、不自由な絆を一つ一つ切り離していくことを、七〇年にはじめようではありませんか。（市民C）



## ●CB兵器討議と日本

No. 9

連載

# アライ・スクリプト・ディ・エクス・バイ

蔵をも含めた「全面禁止」を討議しようというわけである。

ベトナム戦争で、大量のこの種兵器を使うという犯罪行為を続けてきた米国は、今度の討議でも、CB兵器のうちB兵器だけをまず禁止すべきだといい、

CB両兵器を一括して同時に禁止すべきだというソ連と対立している。さらに米側は、全面禁

止が遵守されていることを確認するためには検証が必要だと立場をとり、一方、ソ連側は、検

証は不必要だと態度を示して

いる。

ことしの国連軍縮委討議は二月十七日から、ジュネーブの国連歐州本部ではじまつた。

核軍縮問題が昨年ヘルシンキで行なわれた米ソ両国間の戦略兵器制限交渉(SALT)予備会談を受けて、四月十六日からウイーンで開始予定の本交渉の成行き待ちという事情もあって、ジュネーブ軍縮討議の当面の焦点は、化学・生物(CB)兵器禁止問題だとされている。

日本は未批准

CB兵器については、一九二五年のジュネーブ議定書(戦

争における窒息性、毒性又はその他のガス及び細菌学的戦争手段の使用禁止に関する議定書)で、その使用禁止が一応規定されているが、こんどはCB兵器の開発、実験、生産、貯

じめとする約七十カ国が加わっており、主要国で批准手続きを済ませていないのは、日本と米国などにすぎない。CB兵器禁止が国際的に問題化したのは、

最近だけでも、六八年のジュネーブ軍縮委の主要議題となつたし、これより先の六六年には国連総会で、議定書の尊重を要請する決議が採択された。昨年七月、ウ・タント国連事務総長は

「化学生物兵器の効果についての報告書」を発表した。これは六十八年二月の国連総会決議に基づき、加盟十四国の専門家たちの調査をまとめたもので、わが国からは、川喜田愛郎・前千葉大学長が参加した。

昨年八月の軍縮委で、当時の朝海代表は「議定書の批准を考慮する」と述べながら、いまだに所定の手続はとられていない。もとより四十四年前の議定書は完全なものではない。それだからこそ軍縮委で全面禁止問題が討議されるわけである。さ

るといわれ、約二千トンずつ船で五回に分けて米国西海岸に運び、専用列車でオレゴン州ウマチラの陸軍兵器庫に貯蔵される

計画だというが、通過地のワシントン州当局、議会、住民などから猛烈な反対の火の手があがり、撤去はのびのびになつていい

る。米軍当局は、危険防止に万全の措置を構てるといつてお

り、この一月二十一日にもレアード国防長官が一月中に撤去の

方針を再確認しながら実施できている。国防総省には、

反対の手紙が続々と寄せられ、

器を現在、戦争で使っているのは未批准の米国だけであることからも、一定の効果があること

も明らかだからである。

## 沖縄からの撤去進ます

次に、沖縄の米軍基地に配備されている致死性毒ガス兵器の撤去問題である。

昨年七月、米国ウォールストリートジャーナル紙が漏洩事故を暴露したことから、その沖縄配備が明らかになった。米國防省は直後の七月二十二日に撤去の方針を明らかにし、さら

に十二月二日にも「同月中か今年一月には撤去を開始すると発表しながら、依然として配備されたままである。この毒ガスは、容器ともで一万トンに達す

るといわれ、約二千トンずつ船で五回に分けて米国西海岸に運

び、専用列車でオレゴン州ウマチラの陸軍兵器庫に貯蔵される

計画だというが、通過地のワシントン州当局、議会、住民などから猛烈な反対の火の手があがり、撤去はのびのびになつていい

る。米軍当局は、危険防止に万全の措置を構てるといつてお

り、この一月二十一日にもレアード国防長官が一月中に撤去の

方針を再確認しながら実施できている。国防総省には、

反対の手紙が続々と寄せられ、

「沖縄に置いて危険なものをどうしてわが州に持込むのか」と息巻くものもあるという。

政府は、米本国で、それほど危険視されているものを百万同胞のいる沖縄に無断で持込んだことを糾弾し、一刻も早く撤去させるよう申入れてしかるべきである。CB兵器の製造、貯蔵、使用が「悪」であるから禁止しようというのであり、禁止協定がつくられてはじめて、「悪」となるものではあるまい。

もう一点。昨年八月、社会党議員が「米軍のCB兵器が本土にも配備されているのではないか」と実例をあげて政府に質問書を出したのに對し、政府は「日本本土に致死性化学生兵器は配備していないと米国は言明しており、これを十分信頼している」と回答した。自國領土にCB兵器が配備されているかどうか

検証もできない状態で、違反容疑国に対する検証制度を提唱しても、その結果は、果して眞面目なものといえようか。

ジュネーブ議定書も批准せず、沖縄の毒ガス兵器に一言の抗議もせず、国内にCB兵器があるかどうかの検証もできず、

あるが加わっているジュネーブ議定書を批准して、まず基本的態度を国際的にも明確にしておくべきである。ジュネーブ議定書が

はるばるジュネーブまで出かけ、米ソの中間、第三の道を唱えて、それでも、その声は虚ろに響きはしまいか。

金沢

な  
がいな

“お上”の軍事上の必要性重要

本をまわろう・新日本案内・デモで日本をまわろう・新日本案内・デモで日本をまわろう  
本をまわろう・新日本案内・デモで日本をまわる  
心

金沢がいな  
陸トンネルを抜けた金沢へたどり着いた日、金沢は雨だったのです。この日、一年前の丁度この日、金沢の近くにござります小松の航空自衛隊のF-104とか申す。『じえつとせんとうき』が金沢の人々の頭の上へ降り落ち、尊い人命を奪っていたのでござります。そりやあ、あなた昔から、加賀の前田様の時代から『お上』はひどいことをなさってまいりましたが、この世に至っても同じだということをございます。たとえば金沢の古い街並長町・長土堀の街の三差路にも見られるところ、また寺町などへ戦略上の都合から寺社を集中させたことからも分かるように、まったくの街並は『お上』の都合ではなくござります、ところで今の都市計画は『お上』の都合ではないかと申しますと、とんでもなく、パリコンミューーンのあと、パリの街並は太い道の見通しよろしく改造成され、『パリケード』なんぞを作りにくくいたしました。たり、東京の街の幹線道路も、高速道路も、東名も中央高速も

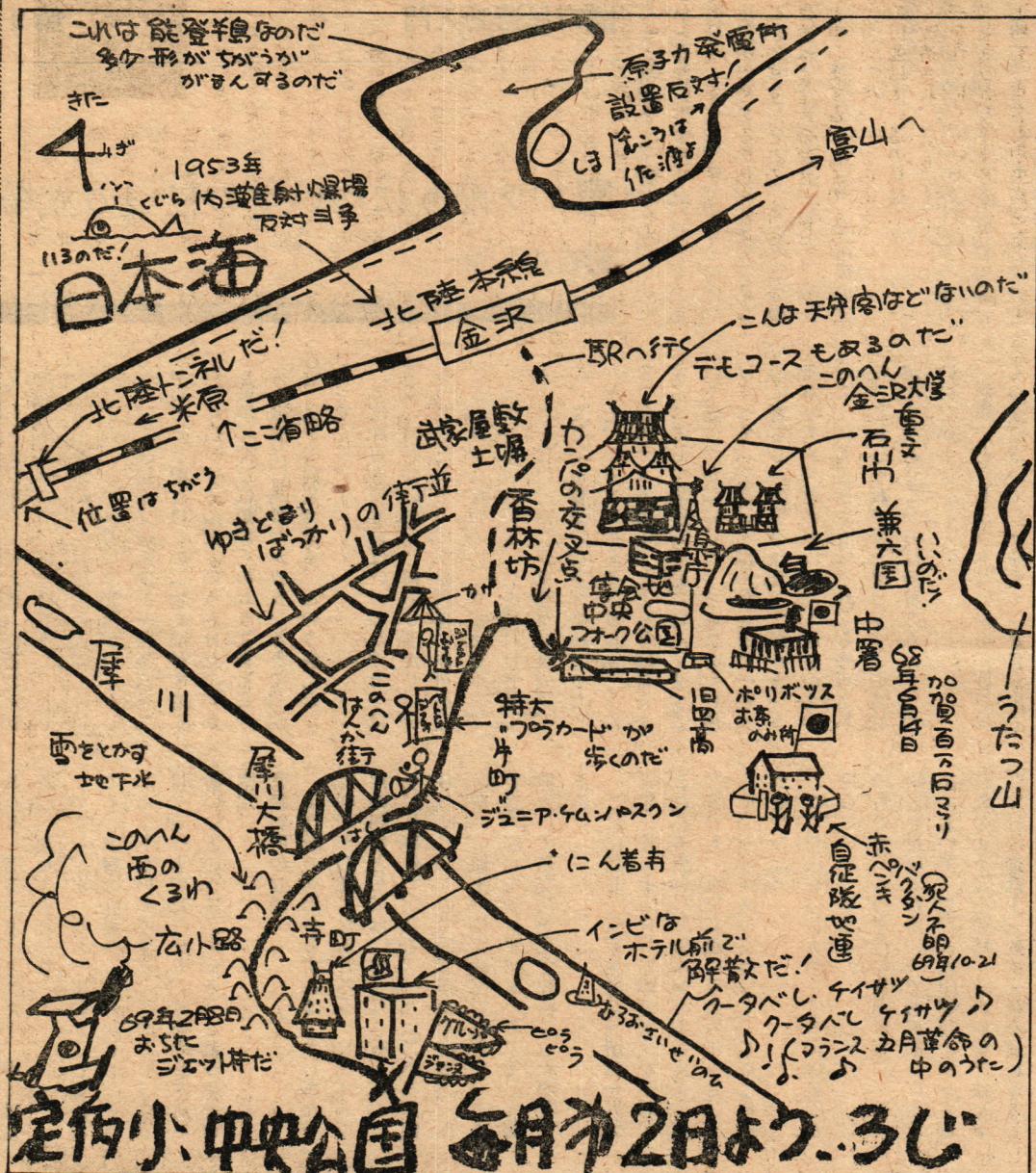
お上の軍事上の必要性重要な視いたしてるのでございまして、決してわれわれ「しもじ」のためにあるのではないません、ただただ「お上」のためのみなのでございます。今まで見通しの悪なってみますと、見通しの悪い三叉の道も、白い土塀からぬいている跡眼も、要塞と化す、「忍者寺」も当時の殿様の趣味だけが多くの「しもじも」を苦しめて作った。兼六園も更には金沢城跡もみんな過去のものとして観光の資源としかなっていないかのごとく見えても、今はあのころよりずっと良い時代なのだと思ったとしても、管理された文明の、束縛された文明人なんて当時のしもじもと同じく「しもじも」なのでございましょう。

のでございます。水雨にけぶる  
旧制第四高等学校の赤レンガの  
建物を右目で見ながら、左目で  
金沢べ平連の人々の努力の作で  
あるところの、特大・特製のブ  
ラカードを見るのでございま  
す。写真でもおわかりのことと  
思いますが今や全国的な傾向と  
いたしまして、デモとは旗とア  
ンボンサンサイ・トーソーショー  
リノの声だけになりつづける  
のでございますが、ガゼンここと  
は抵抗しているのでございま  
す。水雨の中央公園も、夏秋と  
はセーラー服の高校生女の子の  
前では金沢フォーレー・モグラの  
面々が、友よ、とかモグラ・  
オリジナルを唄い、解放広場と  
化した時もあったそうでござい  
ます。そのモグラ氏は沖縄全軍  
労カンパの先頭に立ちまして多  
額のカンパを集めたのでござい  
ますが、なにせこの水雨・デモ  
は唄なしなのでござります。  
さて金沢の町を金沢べ  
平連のデモはゆっくり、  
おっとり出発いたしたのでござ  
います。公園を出まするとはる  
かむこうに金沢の中署が見えま  
する。ここは68年6月14日、加  
賀百万石まつりの折に、作家い  
いだも氏の講演会の終了後の  
デモの弾圧に抗議いたしました

人々が、堂々と署の中にまでデモをいたしまして、挙句のにはてには署長の所まで到着したという。由緒ある警察署なでござります。さらにその先には自衛隊地方連絡本部がござります。昨年の10月21日には、地方権力の中枢、粉碎のビラがまかれたのでございますが、自衛隊の人々はまさか何もスルメエと信じていたらしいのでございますが、ナント赤ペンキの封入されたタマゴバクダンが投げこまれ、次の日にはビックリした自衛隊が武装して門番を立ったとか、気の小さい人々は多いものだと私は思わずおかしかったのでござります。またしても横道にそれてしまつております間に、デモは香林坊をすぎております。この交差点は金沢でも最もにぎわいを見せているところでございまして、さきほどのかンパもここで行なつたのでございました。このあたりが街行く人々に呼びかけ、残りの面々は一列になりまして間隔



これはプラカードなのだ。



ところでデモの前方の旗と  
が、これが愉快なものな  
のでございまして、三角形が二  
つづいた旗におまけにビラビ  
ラまでついた旗におまけにビラビ  
ラの旗が出色なのでございま  
す。手に手に持つ特大プラカーネ  
ド同様に人々の目をひくには十  
分なものと思われます。デモは  
左折いたしまして、おどろくな  
かれ、「ナントカホテル」の前で  
解散なのでございます、デモの  
最後方からノコノコ・ノロノロ  
マイクロバスで着いてまいりま  
した機動隊のヤツラへデモ隊一  
同捕いまして、セーノ「クータバ  
バレケーサツ・クータバレーケ  
ーサツ・クータバレ・ケイサツ  
！」と叫うのでござります。そ  
して解散、そののち、うたいつ  
つ、ジエット機のおっこちた野  
町までノタリノタリとまいった  
のでござります。このようなデ  
モのことを、金沢のベ平連の諸  
君の弁では、ヒワイでインビな  
デモなのだ。そうなのでござ  
います。なにせここは公安条例  
のない土地の故に便利なのでは  
ございましょが、ユメユメご  
油断なさいませぬなど思いしの  
びつつ、私は金沢の町をあとに  
したのでございます。

## ■市民運動入門

## ■ ビラ配りについての三つの立場

■ 吉川 勇一

最近よく街頭でビラ配りをしたいのだがどうしたらいいかという問合せの電話を受ける。とくに警察や法律との関係のことを聞かれる。これが一言で答えられないから困ってしまう。そこで三つの立場からこの問題を考えてみよう。  
 ① 警察の立場  
 警察の立場からすると路上のビラ配りに關係する法律はさしあたり道路交通法

第七七条一項とそれにもとづく各都道府

県のきめた条例や規則ということになろう。たとえば東京でいえば「交通ひんぱんな道路において、寄付を募集し、若しくは署名を求め、又は物を販売若しくは交付すること」は署長の許可がいるとしてある（都道路交通規則第一四条八号）。そしてビラ配りはこの「物を交付すること」と該当するのだというわけだ。だから警察に聞けば無許可のビラまきはまったくの違法行為でケシカラントで、逮捕、処罰の対象である、という答えがかえってくる。

では許可を受ければいいのか。そうは簡単にいかないのだ。何のビラか？ 今もってたか？ ビラの内容の許可を受けるわけでもないのに、ますまこうとするビラを出さないと、届けを受けさえしようがない。内容が反戦だの反安保だの、ましてや警察の弾圧非難のビラなんかだと、トタンに彼らの態度は固くなる。親のカタキにあつたような顔付きをする。そして場所が問題になる。ますこれで話はつかない。こっちのまきたい所はすべて「交通ひんばんの場所で一般交通に著しい影響を与える」からという理由でダメだといわれる。人通りのまつたくない裏通りや街はずれなら許可されると。しかしそれでは元来ビラまきの意味がなくなる。こっちは多勢の人によきたいのだから。

結局、どうしようもないから、許可なんか受けないでビラをまく。警官が出て

## ② 裁判所の立場

裁判所の立場からすれば、さしあたつて判例が問題になるだろう。ビラまき事件の判例としては、有名な「有楽町駅ビラ配り事件」がある。一九六二年五月四日の朝、三人の労働者が東京の国電有楽町駅前の路上で核実験反対などのビラを警察の許可を受けずに配った。そして逮捕され、道交法違反で起訴された事件である。

これに対し、東京地方裁判所は一九六五年一月二十三日、無罪の判決を下し、これを不服とした検事側の控訴による第二審でも、東京高裁は翌六年一月二十八日、一審判決を支持して、ここに無罪が確定した。

この判決を詳しく紹介するには紙面が足らないが、要するに「一人または少数のものが、人の通行の状況に応じ、その妨害を避けるためいつでも移動しうる状態において、通行人に印刷物を交付する行為のようものは、その態様方法において社会通念上一般に一般交通に著るしく

くる。追いちらされたり、ビラを没収されたり、交番へ連行されたり、中には留置場へ放りこまれたり……。つまり、どうしたらよいか、と聞かれても、警察の立場からするかぎり、どうしようもない。つまりビラまきはやるべきではないし、やらないのが一番いいという答えになる。これが警察の立場。

さて最後にわれわれ市民の立場だ。われわれにとって、さし当っていちばん関連する法律は何か。憲法第二二条と第一条だろう。「集会、結社及び言論、出版その他一切の表現」行為は、憲法が国民に保障する基本的人権であり、侵すことでのきない永久の権利なのである。土台、許可制なんてことが憲法違反なのである。

二月七日の北爆五周年デモの時、出てきた機動隊に向かって、デモの責任者の福富節男さんは、スピーカーから大声でどなった。「警官の諸君、デモの邪魔をするのはやめなさい！」私たちは今、とても大切なことをやっているのです。」そ

うなのだ。デモも、ビラまきも、それは、とっても大切なことなのだ。正しいことをやっているのだという確信をもつてビラまきをすることが、そしてそれは市民の侵すことのできない権利なのだと

いうことが、私たちにとってのすべてなのだ。

# 全共斗フルース・全共斗フル 共斗ブルース・全共斗ブルース に なをと作詞 作曲・たに なをと



あーあたいはいだア たいはいだア おいらのせかいはくさってるー



いいたいこともいえないじゆうといつしょくそくはつのへいわとー



ブルジョワぎかいのみんしゅしうぎーおれはだんこきよひするぞー

1. ああ頬廃だア 頬廃だア

おいらの世界は腐ってる

言いたいことも言えない自由と

一触即発の平和と

ブルジョワ議会の民主々義

おれは断固拒否するぞ

2. ああ しらけた しらけた

大衆団交は しらけた

良識だらけの専門バカ

ガチガチ頭の老いぼれ教授

いつまでたっても堂々めぐり

おれは断固やんなった

3. ああ 日和見だ 日和見だア

一般学生は日和見だ

ストを始めたときは賛成して

単位が危なくなれば騒ぎだす

非暴力といいながら石を投げてくる

ああ 民主化とは恐ろしい

4. ああ ギマンだ ギマンだア

ブルジョワ議会はギマンだ

独占資本にあやつられた

悪意に満ちた代議士が

大学を思うように変えていく

おれは断固粉碎するぞ

5. ああ 弾圧だ 弾圧だア

デモでウロウロしてパクられた

機動隊にさんざんドつかれて

デカにじっくりいびられて

無理やりゲバ棒持たされて

写真を撮られたよ みじめだなア

6. ああ ぶっこわせ ぶっこわせ

くさった世界をぶっこわせ

機動隊の弾圧は恐ろしい

催涙ガスはモーレツ

だけど新しい世界を創るため

おれは断固たたかうぞ（左むけ 左！）

© Copyright 1969 by 「20世紀の谷間」社 OSAKA

うたが欲しい・うたが欲しい・うたが欲しい・うたが欲しい  
ギマンに満ちたオレたち自身の・ギマンに満ち  
つくってくれ・うたってくれ・つくってくれ・つく  
おしえてくれ・おしえてくれ・おしえてくれ・お

